



公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

出土した古代の木製馬鍬
(陣谷遺跡 館林市楠町)

山王赤生田線バイパスの建設に伴い、平成29年度から陣谷遺跡の発掘調査が実施されている。これまでに、台地では古墳時代から平安時代の竪穴建物、低地では大溝や古代の大規模な造成工事の痕跡である盛土状遺構が発見され、館林地域の古代史解明に寄与する遺跡として注目されている。

平成30年度の発掘調査では、平安時代の天仁元(1108)年に浅間山の噴火によって降下した火山灰(As-B)の下約1mのシルト層から、多数の自然木とともに古代の木製馬鍬が完全な形で出土した。この木製馬鍬は、平安時代以前の古代のものと考えられる。台木の横幅が約1.5mと大型で、台木には13本の木製歯(長さ約45cm 1本は欠損)が装着され、さらに馬鍬を操作するための柄(長さ約50cm)が2本装着され、両端には引き棒を差し込む穴が穿孔されていた。このように完全な形で古代の大型の馬鍬が発見されたのは、群馬県では初めてで、全国的にも類例は少なく、馬鍬の構造や製作技術、水田耕作の実態を解明するための貴重な手掛かりとなった。発掘調査は令和元年度も実施され、さらなる発見が期待されている。



序

当事業団は、昭和53年7月に創立されて以来、群馬県内における埋蔵文化財の発掘調査および研究を行うとともに、埋蔵文化財保護思想の涵養と普及を図りつつ、県民文化の振興に寄与してまいりました。

昨年度当事業団は、創立40周年の節目を迎えるとともに、今年度は平成から令和となり、新たな1年として、更なる躍進を目指して踏み出しました。

平成30年度の発掘調査事業は、ハッ場ダム関連で12遺跡、その他公共開発関連で31遺跡の合計43遺跡の発掘調査を実施いたしました。これらの発掘調査では、長野原町石川原遺跡の天明泥流で倒壊した建物、館林市陣谷遺跡の古代の馬鍬など、重要な遺構・遺物の発見が相次ぎました。

整理事業はハッ場ダム関連で15遺跡、公共関連で16遺跡、合計31遺跡で実施し、13冊の発掘調査報告書を刊行いたしました。「甲を着た古墳人」の発見で、全国的な注目を集めました金井東裏遺跡の古墳時代編も刊行いたしました。

普及啓発事業では、群馬県が主催する歴史遺産活用・発信事業で実施されたイベントでの体験学習、発掘情報館での最新情報展、日曜開館での体験学習、夏休み親子宿題教室の実施、調査遺跡発表会や公開考古学講座の開催、『研究紀要37』や広報誌『埋文群馬』、創立40周年記念誌『40年の歩み』・同記念出版『古墳人、現る』の刊行をいたしました。また、ホームページでの最新発掘・整理遺跡情報の発信などによって、当事業団の発掘調査・研究の成果を広くお伝えしております。

これからも発掘調査事業、整理事業および普及啓発事業の実施によって、県民文化の発展に寄与してまいりたいと考えております。今後とも変わらぬご理解とご協力をいただきますことを心からお願い申し上げ、序といたします。

令和元年12月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理 事 長 中 野 三 智 男

例 言 目 次

1. 本年報は、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の平成30年度の事業概要をまとめたものである。
2. 付篇は、県及び県内各市町村教育委員会の協力によって作成された資料に基づき、当事業団年報紀要委員会が編集した。
3. 本年報の編集は、当事業団年報紀要委員会が行った。その構成は以下の通りである。
委員 長：木津博明(調査部長)
編 集 長：高島英之(資料部資料2課専門員(総括))
年報座長：平方篤行(資料部資料2課主任調査研究員)
年報座長：小原俊行(資料部資料1課専門員(主任))
紀要座長：谷藤保彦(資料部資料2課専門調査役)
要覧座長：板垣泰之(資料部資料1課専門員)
委 員：鈴木真理子(総務部経理課主任)
山本直哉(ハッ場ダム調査事務所
調査資料部調査課調査研究員)
関 晴彦(資料部普及課専門調査役)

凡 例

各遺跡の調査概要中に記載する火山噴出物の名称と年代は以下の通りである。

- ・天明泥流：1783(天明3)年の浅間山噴火に伴う泥流
- ・As-A：1783(天明3)年降下 浅間Aテフラ
- ・As-Kk：1128(大治3)年降下 浅間粕川テフラ
- ・As-B：1108(天仁元)年降下 浅間Bテフラ
- ・Hr-FP：6世紀中葉降下 榛名二ツ岳伊香保テフラ
- ・Hr-FA：6世紀初頭降下 榛名二ツ岳渋川テフラ
- ・As-C：3世紀末降下 浅間Cテフラ
- ・As-YP：1.6万年前降下 浅間板鼻黄色テフラ
- ・As-BPGroup：2.4～2.8万年前降下 浅間板鼻褐色テフラ群

序	
I 事業団の概要	
1 設立の趣旨	1
2 目的	1
3 沿革	1
4 組織・名簿	2
5 理事会及び評議員会等の開催状況	4
6 平成30年度主要行事	6
7 会計経理の状況	6
II 事業概要	
1 発掘調査事業概要	7
(1)幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査	7
(2)公共開発関連埋蔵文化財発掘調査	7
2 整理事業概要	9
(1)幹線交通関連埋蔵文化財整理事業	9
(2)公共開発関連埋蔵文化財整理事業	9
3 普及事業概要	10
(1)資料と施設の公開	10
(2)指導者の派遣	16
(3)情報誌等の刊行	17
(4)資料の保存	20
III 研究活動概要	
1 職員自主研究活動指定研究	20
IV 各遺跡の発掘調査概要	21
V 付篇	
1 平成30年度群馬県内発掘調査一覧	65
2 平成30年度群馬県内整理事業一覧	71
3 平成30年度群馬県内発掘調査報告書一覧	76
4 平成30年度群馬県内発掘調査現地説明会 ・関連行事等一覧	80

I 事業団の概要

1 設立の趣旨

歴史的に古代東国文化の中心であった本県には、著名な古墳を中心に多くの遺跡が存在する。特に、我が国の旧石器文化の研究の端緒になった岩宿遺跡、榛名山噴火に被災した金井遺跡群など、本県文化の特徴を物語る遺跡の存在は県民にとって大きな誇りであり、これら文化財を共有の財産として保護し、後世に伝えていくことは、我々の責務である。

しかし、一方では、県民生活の安定向上をはかるための施策として、各種の開発や交通網の整備などが昭和48年度以降急激に増加し、その結果、開発と文化財保護が大きな社会問題となり、その対応が急務となった。

こうした背景の下で、文化財保護法の理念にのっとり、開発と文化財保護の調和を図るための施策の一環として、昭和53年度に財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が設立された。

平成24年度には「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づく公益財団法人へ移行した。

2 目的

県内の埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想の醸成と普及を図り、もって地域の文化の振興に寄与する。

3 沿革

- 昭和53年7月15日 財団法人法人設立認可(事務局を前橋市に設置、業務開始)
- 昭和55年4月8日 事務局を勢多郡北橋村に移転
- 昭和59年4月1日 分室を勢多郡北橋村に設置
- 昭和61年4月1日 関越道上越線調査事務所を多野郡吉井町に設置
- 平成5年3月30日 分室を移転
- 平成6年3月31日 関越道上越線調査事務所を閉所
- 平成8年7月1日 発掘情報館開館
- 平成13年4月2日 東毛調査事務所を伊勢崎市に設置
- 平成14年4月1日 八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡中之条町に設置
- 平成15年6月1日 八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡長野原町に移転
- 平成17年4月1日 岩神分室を前橋市に設置
- 平成18年2月20日 市町村合併により住所表示変更(渋川市北橋町下箱田)
- 平成18年3月31日 東毛調査事務所を閉所
- 平成19年1月28日 岩神分室を閉室
- 平成24年3月31日 分室を閉室
- 平成24年4月1日 公益財団法人設立・移行
- 平成28年12月21日 八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡東吾妻町に移転
- 平成30年7月14日 創立40周年記念式典を挙行

4 役員(理事・監事)・評議員・特別顧問名簿

(1) 理事・監事

平成31年3月31日現在

平成30年6月26日就任

役員	定款上の理事は5人以上10人以内 定款上の監事は2人以内
任期	平成30年6月26日から令和2年定時評議員会終結の時まで

役員名	氏名	役職等	備考
理事長	中野三智男	学識経験者	再任
常務理事	高草木方孝	学識経験者	再任
理事	笹澤武	群馬医療福祉大学社会福祉学部長	再任
理事	曾我孝之	県商工会議所連合会会長	再任
理事	石川克博	学識経験者	再任
理事	新井良明	一般財団法人群馬経済研究所専務理事	再任
理事	神保侑史	学識経験者	再任
理事	右島和夫	県歴史博物館館長	再任
	計8名		
監事	荒木伸夫	公認会計士	再任
監事	秋池武	下仁田町歴史館館長	再任
	計2名		

(2) 評議員

平成28年6月28日就任

評議員	定款上の評議員は5人以上10人以内
任期	平成28年6月28日から令和2年定時評議員会終結の時まで

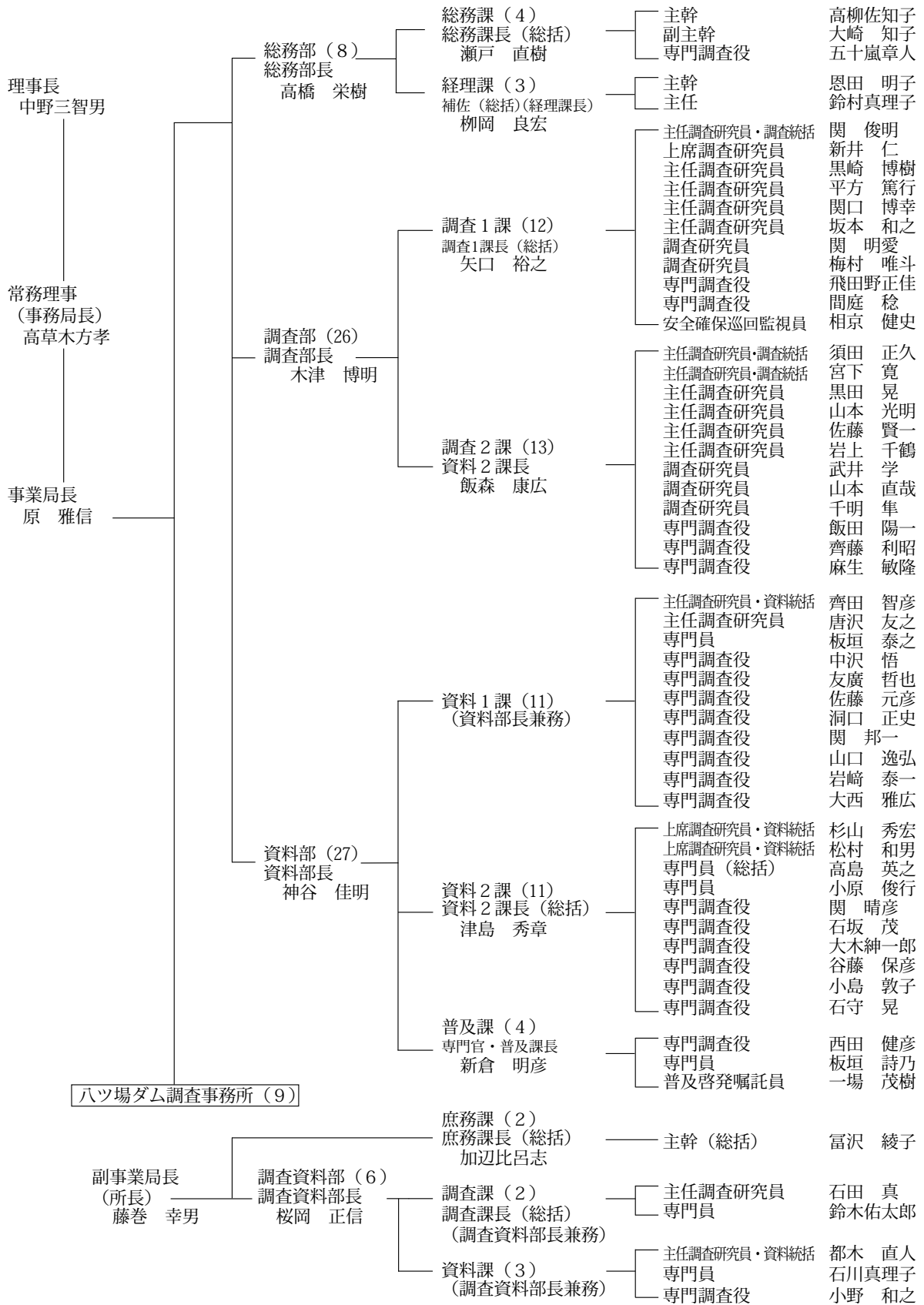
評議員	氏名	役職等	備考
評議員	吉田学	群馬テレビ報道製作局報道部次長	H30.6.26就任
評議員	井上唯雄	前橋市文化財調査委員	
評議員	小田川浩道	上毛新聞社編集局文化生活部長	H30.6.26就任
評議員	関戸明子	群馬大学教育学部教授	
評議員	田部井俊勝	ぐんま共済協同組合理事長	
評議員	西野壽章	高崎経済大学教授	
評議員	松本浩一	県文化財保護審議会専門委員	
評議員	古澤勝幸	県教育委員会文化財保護課長	H29.6.22就任
	計8名		

(3) 特別顧問

役員名	氏名	役職等	備考
特別顧問	松島榮治	前理事	H27.4.1再任
特別顧問	佐藤信	前理事	H27.4.1再任
特別顧問	小野宇三郎	元理事長	H27.4.1再任
特別顧問	高橋勇夫	元理事長	H27.4.1再任
特別顧問	森田秀策	前理事	H29.4.1再任
特別顧問	峰岸純夫	前理事	H29.4.1再任
特別顧問	須田榮一	元理事長	H30.7.1再任
	計7名		

(4) 事務局 総数73名 (派遣職員34名、法人職員38名、嘱託員 1名)

平成31年3月31日現在



5 理事会、評議員会及び特別顧問会議の開催状況

会議名	開催日 開催場所	現在数 出席者	議案
第129回 定例理事会	平成30年6月8日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 7 監事出席 2	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について 2 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について 3 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 4 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について 5 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 6 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について 監査の報告について 7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団と外部役員との責任限定契約の締結について 8 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団特別顧問の委嘱について 9 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第60回定時評議員会の招集について 10 報告事項 (1) 専決処分の報告について 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正2号)について
第60回 定時評議員会	平成30年6月26日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 6	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について 2 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 3 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について 4 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 5 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について 監査の報告について 6 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団評議員の選任について 7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団役員を選任について

会議名	開催日 開催場所	現在数 出席者	議案
			8 報告事項 (1)平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について (2)専決処分の報告について 平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正2号)について
第130回 理事会	平成30年6月26日 書面決議	現在数 8 出席者 8 監事出席 2	1 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)の選定について
第131回 理事会	平成30年10月19日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 7 監事出席 2	1 報告事項 (1)第128回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況について
評議員・理事 監事・特別顧問 合同現地視察	平成30年10月19日	参加者 14	1 唐堀遺跡発掘状況 2 平成30年度上信自動車道吾妻西バイパス建設工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査状況
第132回 理事会	平成31年3月1日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 8 監事出席 2	1 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正(補正1号)について 2 平成31年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 3 平成31年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 4 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団就業規程の一部改正について 5 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第61回評議員会の招集について 6 報告事項 (1)第131回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況について
第61回 評議員会	平成31年3月11日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 6	1 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正(補正1号)について 2 平成31年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 3 平成31年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について

6 平成30年度主要行事

4月2日	辞令交付式・雇用書交付式
6月14日～15日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会(兵庫県)
6月22日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会(群馬県)
7月14日	創立40周年記念式典・講演会(前橋テルサ) 第1部 記念式典 第2部 記念講演「群馬の古墳と日本の古墳－私が群馬の古墳から学んだもの」 講師 大阪府立近つ飛鳥博物館 名誉館長 白石太一郎
7月15日～9月30日	創立40周年記念展示開催 「奇跡の発掘 金井東裏遺跡のすべて」
7月20日～8月26日	夏休み親子宿題教室開催
8月7日～9日	埋蔵文化財専門講座(教員コース)開講
9月4日～13日	埋蔵文化財専門講座(埋蔵文化財担当者コース)開講
10月14日	群馬古墳フェスタ2018(藤岡歴史館他)
10月25日～26日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会(千葉県)
11月3日	長野原町民文化祭参加(八ッ場ダム調査事務所)
11月22日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会(埼玉県)
12月1日	関東甲信越静地区埋蔵文化財行政担当者会議(長野県)
12月2日	野焼き体験教室開催
12月2日	調査遺跡発表会(長野原町山村開発センター)
2月23日	公開考古学講座(前橋テルサ)
3月29日	退職辞令等交付式

7 会計経理の状況

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

ア 決算額

(単位：円)

	当年度	前年度
経常収益	2,971,340,376	3,314,109,392
経常費用	2,921,797,194	3,270,985,135
経常外収益	0	4,487,556
経常外費用	0	42,019,760
当期一般正味財産増減額	49,543,182	5,592,053

Ⅱ 事業概要

1 発掘調査事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺物の年代・種類	コンテナ数	面積㎡	調査期間
委託者 国土交通省							
八ッ場ダム	1	東原Ⅱ遺跡	長野原町林	縄文時代、平安時代、中近世の土器・陶磁器・石製品等	1	1,581	平30.7.1～平30.8.31
	2	下田遺跡	長野原町林	縄文時代、平安時代、中近世の土器・陶磁器・石製品・人骨等	28	14,841	平30.4.1～平30.9.30
	3	尾坂遺跡	長野原町長野原	なし	0	398	平30.11.1～平30.12.31
	4	林中原Ⅰ遺跡	長野原町林	縄文時代、平安時代、中近世の土器・陶磁器・石製品・人骨等	2	711	平30.5.1～平30.6.30
	5	町遺跡	長野原町長野原	なし	0	607	平30.9.1～平30.10.31
	6	横壁中村遺跡	長野原町横壁	縄文時代、平安時代、中近世、近現代の土器・陶磁器・石製品等	1	1,796	平30.11.1～平30.11.30
	7	中棚Ⅱ遺跡	長野原町林	縄文時代、平安時代、中近世の土器・陶磁器・石製品等	5	4,911	平30.4.1～平30.5.31 平30.9.1～平30.10.31
	8	石川原遺跡	長野原町川原湯	縄文時代～近世の土器・石器・石製品・木製品・金属製品・人骨等	970	8,467	平30.4.1～平31.3.31
	9	西宮遺跡	長野原町川原畑	縄文時代～近世の土器・石器・石製品・木製品・金属製品・人骨等	12	9,282	平30.4.1～平30.8.31 平30.11.1～平31.3.31
	10	東宮遺跡	長野原町川原畑	縄文時代～近世の土器・石器・石製品・木製品等	130	5,921	平30.4.1～平30.9.30
	11	三平Ⅰ遺跡	長野原町川原畑	縄文時代、平安時代、中近世の土器・陶磁器・石製品等	4	7,802	平30.4.1～平30.6.30
	12	石畑Ⅰ岩陰	長野原町川原畑	縄文時代の土器・石器等	11	376	平30.4.1～平30.5.31 平30.8.1～平30.10.31
一般国道17号(渋川西バイパス)	13	金井下新田遺跡	渋川市金井	縄文時代～古墳時代の土器、古代の鉄滓、中近世の陶磁器	59	1,234	平30.11.1～平31.3.31
一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業	14	柳田遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代、中近世の土器・石等	20	5,800	平30.12.1～平31.3.31

(2) 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺物の年代・種類	コンテナ数	面積㎡	調査期間
委託者 群馬県土木整備部							
(都)中央大橋線街路事業	15	前橋市0149遺跡	前橋市問屋町	平安時代の土器等	1	409	平30.12.1～平30.12.31
(主)前橋玉村線バイパス社会資本総合整備(活力・一般)	16	前橋市0635遺跡 前橋市0946遺跡	前橋市下佐鳥町 前橋市朝倉町	古墳時代、奈良・平安時代の土器、石等	6	1,711	平31.2.1～平31.3.31
(一)南新井前橋線二期工区道路改築事業(地方道・連携)	17	前橋市0107遺跡	前橋市池端町	古墳時代の土器・平安時代の土器・中近世の陶磁器	2	1,025	平30.12.1～平30.12.31
社会資本総合整備(活力・重点)西毛広域幹線道路(高崎西工区)	18	本郷鶴楽遺跡	高崎市本郷町	縄文から近世の土器・石器・金属製品等	132	8,940	平30.8.1～平31.2.28
社会資本総合整備(活力・重点)西毛広域幹線道路(高崎西工区)	19	下芝内出畑遺跡	高崎市箕郷町	平安時代～中近世の陶磁器・土器・鉄滓	61	587	平30.8.1～平30.9.7
	20	本郷満行原遺跡	高崎市本郷町	土師器、須恵器ほか	5	4,926	平31.3.1～平31.3.31
社会資本総合整備(活力・重点)(主)前橋長瀬線現道拡幅事業	21	綿貫41遺跡	高崎市綿貫町	縄文・古墳時代の土器、石器、鉄製品、近世の陶磁器等	31	6,869	平31.1.1～平31.3.31
榛名南麓2期地区農山漁村地域整備	22	中室田岩城遺跡	高崎市中室田町	縄文時代の土器・石器、弥生時代の土器、中近世の陶磁器	7	3,187	平30.10.1～平30.11.30

(国)353号金井バイパス(上信自動車道)道路事業改築(国道・連携)	23	金井東裏遺跡	渋川市金井	弥生時代の土器片、近世の陶磁器片	1	709	平30.6.1～平30.7.31
補助公共社会資本総合整備(広域・長野)(一)下高尾小幡線庭谷工区	24	T007遺跡	富岡市後賀	縄文時代・弥生時代・古墳時代の土器・石器・金属製品等	44	2,169	平30.9.1～平31.1.31
(一)宇田磯部停車場線補助公共社会資本総合整備(活力・重点)	25	下高田白山遺跡	富岡市妙義町	縄文時代、弥生時代の土器、古墳時代、平安時代の土師器・須恵器、近世の陶磁器	26	6,446	平31.1.1～平31.3.31
西毛広域幹線道路	26	安中市0334遺跡	安中市安中	古墳時代から近世の土器・陶磁器	245	4,877	平30.4.1～平30.11.30
	4,700					平30.12.1～平31.3.31	
	28	安中市0201遺跡	安中市下秋間	古墳時代、奈良・平安時代、中近世の土器、陶器、磁器、石製品等	11	5,651	平31.1.1～平31.3.31
主要地方道桐生田沼線の電線共同溝事業	29	桐生新町水路跡	桐生市本町	近現代の陶磁器ほか	6	30	平31.1.1～平31.2.28
社会資本総合整備(活力・重点)道路改良事業	30	阿左美遺跡	みどり市笠懸町	縄文土器、須恵器、石器、石造品、骨片、鉄製品等	113	2,392	平31.1.1～平31.3.31
(一)山王赤生田線バイパス社会資本総合整備	31	陣谷遺跡	館林市楠町	縄文時代、古墳時代、古代、中近世の土器・石器・木製品	62	2,818	平31.1.1～平31.3.31
単独道路改築(一)下栗須馬庭停車場線(下栗須工区)	32	藤岡市22包蔵地 藤岡市27包蔵地	藤岡市中栗須 藤岡市下栗須	古墳時代～平安時代の土器・石製品	8	1,246	平30.9.1～平30.10.31
上信自動車道吾妻西バイパス建設	33	新井遺跡	東吾妻町厚田	縄文時代、弥生時代、古墳時代の土器・石器	13	959	平30.4.1～平30.5.18
	34	四戸遺跡	東吾妻町三島	縄文時代、弥生時代、古墳時代、古代の土器・石器	2	963	平30.5.1～平30.5.31
	35	唐堀遺跡	東吾妻町三島	縄文時代、中近世の土器・石器・木製品等	752	3,168	平30.6.1～平30.12.31
	36	四戸の古墳群	東吾妻町三島	弥生時代の土器・石器、古墳時代～平安時代の土器・石製品・鉄器、中近世の陶磁器	51	5,731	平30.4.1～平30.9.30
	37	唐堀C遺跡	東吾妻町三島	縄文時代、古墳時代、平安時代、江戸時代の土器・石器・金属製品等	17	9,677	平30.7.1～平30.11.30
	38	根小屋城跡	東吾妻町三島	縄文時代、奈良・平安時代、中近世の土器・陶器・陶磁器等	2	8,808	平30.9.1～平30.11.30

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺物の年代・種類	コンテナ数	面積㎡	調査期間
委託者 産業経済部							
コンベンション施設整備事業等	39	高崎競馬場遺跡 岩押町遺跡4 上中居荒神遺跡5 上中居平塚遺跡4 双葉町2遺跡	高崎市岩押町 高崎市岩押町 高崎市上中居町 高崎市上中居町 高崎市双葉町	弥生時代の土器・石器・木器・植物遺存体、古墳時代～平安時代の土器・石製品、中近世の陶磁器・金属製品・木製品	10	14,740	平30.4.1～平31.1.31

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺物の年代・種類	コンテナ数	面積㎡	調査期間
委託者 群馬県教育委員会							
県立太田高等特別支援学校普通科棟(重複障害)増築整備	40	条里制水田想定地	太田市藤阿久町	古代の土器	1	505	平30.6.1～平30.6.30

コンテナ数 2,852箱
調査総面積 166,970㎡

2 整理事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財調査整理

委託者	事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
国土交通省	ハツ場ダム	1	石川原遺跡	長野原町川原湯			平30.4.1～平31.3.31
		2	東宮遺跡	長野原町川原畑			平30.4.1～平31.3.31
		3	林中原Ⅱ遺跡	長野原町林	第650集 林中原Ⅱ遺跡(3)	平31.2.15	平30.4.1～平30.7.31
		4	川原湯勝沼遺跡	長野原町川原湯			平30.8.1～平30.12.31
		5	林宮原遺跡 林中原Ⅰ遺跡	長野原町林			平31.1.1～平31.3.31
		6	中棚Ⅰ遺跡	長野原町林	第648集 中棚Ⅰ遺跡	平31.2.15	平30.4.1～平30.8.31
		7	下田遺跡	長野原町林			平30.9.1～平31.3.31
		8	下原遺跡	長野原町林	第647集 下原遺跡(3)	平31.2.15	平30.4.1～平30.9.30
		9	西久保Ⅰ遺跡	長野原町横壁	西久保Ⅴ遺跡と合本		平30.4.1～平30.5.31
		10	前原遺跡	長野原町川原湯			平30.4.1～平30.4.30
		11	西宮遺跡	長野原町川原畑			平30.4.1～平31.3.31
		12	二社平遺跡	長野原町川原畑			平31.2.1～平31.3.31
		13	西ノ上遺跡	長野原町川原湯	第651集 西ノ上遺跡(2)	平31.2.15	平30.4.1～平30.7.31
		14	西久保Ⅴ遺跡	長野原町横壁	第655集 西久保Ⅰ遺跡(2) 西久保Ⅴ遺跡	平31.3.14	平30.8.1～平30.12.31
		15	川原畑の宝篋印塔	長野原町川原畑			平31.1.1～平31.3.31

(2) 公共開発関連埋蔵文化財整理事業

委託者	事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
県土整備部	社会資本総合整備(防災・安全)(一)伊勢崎新田上江田線(大國神社東交差点)交差点改良事業	16	下刈名遺跡	伊勢崎市境	第645集 下刈名遺跡	平30.10.4	平30.6.1～平30.8.31
		17	武井峯岸Ⅴ遺跡	桐生市新里町	第649集 武井峯岸Ⅴ遺跡	平31.2.28	平30.10.1～平30.11.30
	一般県道笠懸赤堀今井線社会資本総合整備事業	18	前畑Ⅱ遺跡	桐生市新里町	第656集 前畑Ⅱ遺跡	平31.3.20	平30.9.1～平31.3.31
		19	大島田Ⅱ遺跡 沼田遺跡	安中市安中 安中市下秋間			平30.6.1～平31.3.31
	(主)前橋安中富岡線社会資本総合整備(活力・重点)事業	20	下芝内出畑遺跡 和田山天神前2遺跡	高崎市箕郷町			平30.4.1～平31.3.31
		(国)353号金井バイパス(上信自動車道)道路改築事業(国道・連携)	21	金井東裏遺跡	渋川市金井	第652集 金井東裏遺跡 《古墳時代編》	平31.3.15
	22		金井下新田遺跡	渋川市金井			平30.4.1～平31.3.31
	上信自動車道 吾妻西バイパス建設事業	23	四戸遺跡	東吾妻町三島			平30.4.1～平31.3.31
		24	唐堀遺跡	東吾妻町三島			平30.7.1～平31.3.31
	25	厚田中村遺跡	東吾妻町厚田	第644集 厚田中村遺跡	平30.10.16	平30.5.1～平30.6.30	
上信自動車道 祖母島箱島バイパス建設事業	26	宮貝戸遺跡	東吾妻町箱島	第646集 宮貝戸遺跡	平30.11.21	平30.4.1～平30.9.30	
県産業経済部	コンベンション施設整備事業	27	高崎競馬場遺跡	高崎市岩押町			平30.4.1～平31.3.31
管理課(教)	県立学校施設整備事業(館林特別支援学校改築整備)	28	台遺跡	館林市上三林町	第654集 台遺跡	平31.3.20	平30.10.1～平31.1.31
		29	七日市陣屋遺跡 七日市古墳群	富岡市七日市	第653集 七日市陣屋遺跡・ 七日市古墳群 小原遺跡	平31.3.20	平30.9.1～平30.11.30
		30	小原遺跡	中之条町中之条			平30.8.1～平30.8.31
		31	前橋市0934遺跡	前橋市上佐鳥町	上佐鳥明神前遺跡 (前橋市0934遺跡)	平30.12.1～平31.1.31	

刊行報告書 合計13冊

3 普及事業概要

(1) 資料と施設の公開

ア 資料の利用と貸出

当事業団では、群馬県埋蔵文化財調査センターが所蔵する考古資料の貸出や利用に係る事務を群馬県教育委員会より受託している。資料の貸出は、各種の学校や博物館等の公的機関による展示公開や教育への利用を目的とした資料借用申請を受けて行われる。また、資料の利用とは、学術研究目的で、考古資料の実見、観察、写真撮影、実測等を当センター内において行うことをいう。

平成30年度の実績は以下の表のとおりである。

(ア) 資料の利用と貸出数

内 訳	貸 出			利 用		
	件 数	写真等	遺 物	件 数	写真等	遺 物
1 博物館・資料館等	29	47	975	4		95
2 学 校	19	9	124			
3 地域社会	1	5				
4 公的編纂事業	3	50				
5 埋蔵文化財行政	17	64	1,268	11		951
6 委託者						
7 民間事業所						
8 研究者	13	79	43	23	654	8,018
9 報道関係	4	8				
10 出版社	17	78				
11 行 政	6	11	31			
小 計	109	351	2,441	38	655	9,064
合 計	貸出・利用＝ 147件、写真等 1,006点、遺物 11,505点					

(イ) 資料の主な貸出先

貸 出 先	期 間	企 画 等	主な貸出資料
藤岡市立美九里西小学校	平30. 4. 15～ 平30. 4. 25	6年生社会科の授業で使用	三原田遺跡他出土資料
長野原町教育委員会	平30. 5. 30～ 平30. 5. 30	(仮称)長野原町水没文化財保存センター展示実施計画における展示候補資料の実見・選定のため	東宮遺跡他出土資料
群馬県立歴史博物館	平30. 6. 1～ 令元. 5. 31	常設展示資料借用のため(更新)	下触牛伏遺跡他出土資料
上毛新聞社	平30. 7. 8～ 平30. 7. 8	「週刊風っ子」(7月8日)に掲載のため	下郷天神塚遺跡写真データ
NHK前橋放送局	平30. 9. 10～ 平30. 9. 12	「ほっとぐんま640」(9月12日放送)で使用後、ホームページに上げる	今井白山遺跡写真データ
早稲田大学文学学術院	平30. 11. 5～ 平30. 11. 25	早稲田大学文学学術院オンデマンド授業にて考古資料として提示	清里陣馬・糸井宮前遺跡遺物写真データ
岡山県古代吉備文化財センター	平31. 1. 4～ 平31. 2. 28	郷土史学習教材『岡山の弥生時代1 弥生の村と暮らし』(平成31年2月刊行予定)に掲載するとともに、岡山県古代吉備文化財センターのホームページ上でPDF公開するため	日高遺跡写真データ
群馬県生活文化スポーツ部文化振興課	平31. 3. 1～ 平31. 4. 1	「東国文化副読本」に使用	有馬条里遺跡写真データ
かみつけの里博物館	平31. 4. 1～ 令2. 3. 31	常設展示室『王の館』に展示	三ツ寺遺跡出土資料
川場村歴史民俗資料館	平31. 4. 1～ 令2. 3. 31	川場村歴史民俗資料館で常設展示する。	門前橋詰・舛海戸・生品西浦遺跡出土資料

イ 施設の利用

(ア) 施設の見学等

平成30年度における発掘情報館の見学や研修等の来館者総数は14,020人を数え、うち日曜開館時の来場者は4,500人を数えた。

毎年開催している「夏休み親子宿題教室」は、30年度も7月20日から8月26日の間に開催され、5,016人の来場者があり、例年通り、連日多くの親子連れを迎えて盛況であった。

月別の来場目的別来場者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
見学	805	445	621	1,662	3,628	1,471	805	592	335	264	298	419	11,345
資料調査等	4	12	9	13	14	16	2	15	5	8	19	4	121
行政視察	10	0	4	29	0	0	0	0	6	0	2	6	57
研修	0	0	75	199	18	116	0	0	55	52	16	63	594
学校・教委	128	135	55	131	72	160	18	43	19	12	16	39	828
図書	65	93	110	100	77	103	119	114	78	74	68	74	1,075
計	1,012	685	874	2,134	3,809	1,866	944	764	498	410	419	605	14,020

(イ) 図書室の利用

図書の利用状況は、貸出数4,076冊、利用者数1,018人であった。新規図書受入数は2,437冊であり、蔵書総数は124,733冊となった。安定的な図書の受け入れ及び利用が継続しているところであるが、図書室の配架状況は徐々に限界に近付きつつあるのが現状である。

貸出状況

内部貸出	511件	1,974点
外部貸出	507件	2,102点
貸出総数	1,018件	4,076点

図書等登録状況

新規登録数	2,437点	
登録内訳	移管	153点
	寄贈	2,029点
	購入	255点
収蔵量	124,733点	

図書室収蔵量の推移

事業年度	累計点数	増減分
平成26年度末	125,803点	2,931点
平成27年度末	116,647点	-9,156点
平成28年度末	119,624点	2,977点
平成29年度末	122,296点	2,672点
平成30年度末	124,733点	2,437点

※平成27年度、新規登録3,154点－除籍(長野原町教委・昭和村教委へ) 12,310点＝-9,156点

新規収蔵資料の概要

埋蔵文化財発掘調査報告書	60.76%
市町村誌等	0.16%
一般文化財・民俗関係	0.44%
埋蔵文化財・考古学に関連する雑誌類および各機関の紀要・年報・ニュースレター等	31.76%
埋蔵文化財・考古学および歴史等に関連する単行本・全集・展示図録等	6.52%
辞典・図鑑・地図等	0.36%

計100.00%

ウ 行事

(ア) 最新情報展

期 間	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
主 催	群馬県教育委員会	
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館資料展示室	
展 示	第1期 「甲を着た古墳人の武器・武具」 (創立40周年記念展示 奇跡の発掘 金井東裏遺跡のすべて 平成30年7月15日～) 期 間：平成30年5月20日(日)～平成30年9月30日(日) (来場者9,113人) 関連講座：平成30年7月1日(日) ギャラリートーク 講師：杉山秀宏 (参加者103人)	
	第2期 「出土遺物にみる古代人の顔」 期 間：平成30年10月7日(日)～平成30年12月23日(日) (来場者2,046人) 関連講座：平成30年10月28日(日) ギャラリートーク 講師：大木紳一郎 (参加者15人)	
	第3期 「古代の装身具」 期 間：平成31年1月13日(日)～平成31年5月12日(日) (来場者3,243人) 関連講座：平成31年2月3日(日) ギャラリートーク 講師：松村和男 (参加者16人)	



平成30年度 最新情報展ポスター

(イ) 埋蔵文化財専門講座

期 間	平成30年8月7日(火)～9月13日(木)	
主 催	群馬県教育委員会	
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター、発掘調査遺跡(万木沢B遺跡)	
対 象	①県内公立学校に勤務する教員 ②市町村教育委員会の文化財関係職員	
内 容	①埋蔵文化財の調査成果を年間の学習指導計画の中に取り入れて学校教育の展開に幅を持たせ、地域の身近な教材を活用する視点の育成と基礎知識の充実を図る。 ②埋蔵文化財の知識と技術を研修し、市町村の埋蔵文化財と調査体制及び学校教育と生涯学習の資質向上に資する。	
教員コース	8月7日(火)	開講式・オリエンテーション 講義：「授業で使える埋蔵文化財Ⅰ」「発掘情報館の体験学習」
	8月8日(水)	講義：「『東国文化副読本～古代ぐんまを探検しよう～』を授業に活かす」 「授業で使える埋蔵文化財Ⅱ 県内の遺跡」 「授業で使える埋蔵文化財Ⅲ 金井遺跡群」
	8月9日(木)	「発掘体験実習」 高崎市 本郷鶴楽遺跡
埋蔵文化財担当者コース	9月4日(火)	講義：「群馬県の文化財保護行政」「出土文字資料」
	9月5日(水)	講義：「脆弱遺物の取扱」「水田跡の調査」
	9月6日(木)	講義：「近世集落と建物跡の調査」「金井遺跡群の調査成果」
	9月11日(火)	講義：「補助金事務の取扱い」 特講：「今後の埋蔵文化財保護体制について」
	9月12日(水)	実習：発掘調査実習 高崎市 本郷鶴楽遺跡
	9月13日(木)	実習：発掘調査実習 ドローンによる空中写真撮影 高崎市 本郷鶴楽遺跡



埋蔵文化財専門講座 教員コース



埋蔵文化財専門講座 担当者コース

(ウ) 夏休み親子宿題教室

期 間	平成30年7月20日(金)～8月26日(日)
主 催	群馬県教育委員会
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館
対 象	小・中学校 児童・生徒及び保護者
内 容	夏休みの自由研究の学習相談や土器・埴輪製作などの体験学習および学習支援
参加者	5,016人

夏休み親子宿題教室チラシ



みんなのハニワコンクール



群馬古墳フェスタ2018

(エ) 古墳情報発信事業

主 催	群馬県、群馬県教育委員会、群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
事 業	群馬古墳フェスタ2018
期 間	平成30年10月14日(日)
場 所	藤岡市白石 藤岡歴史館及び毛野国白石丘陵公園
内 容	カラー粘土勾玉づくりコーナーの運営
来 場 者	400人 (イベント来場者総数 14,000人)

(オ) 埋蔵文化財講座

期間・時間	平成30年6月10日(日)～平成31年3月10日(日)、全6回、各回とも13:00～15:00	
主催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館研修室	
内容	6回連続の有料講座(定員120名)	
テーマ	ぐんま発掘発掘玉手箱シリーズ5	
第1回	6月10日(日)	保存科学の世界-腐食を止める 講師：関 邦一(参加者75人)
第2回	7月8日(日)	ユネスコ「世界の記憶」上野三碑-多胡郡に住んだ人々- 講師：松田 猛(上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会)(参加者74人)
第3回	9月9日(日)	これから中世城館をどう考えるか-戦と城館のあり方をめぐって- 講師：飯森康広(県教委文化財保護課)(参加者57人)
第4回	12月9日(日)	古代の食を追う 講師：洞口正史(参加者55人)
第5回	平成31年1月20日(日)	下触牛伏遺跡の環状ブロック群を考える 講師：岩崎泰一(参加者52人)
第6回	3月10日(日)	ぐんま古墳探訪-古墳の歩き方- 講師：川口 亮(県教委文化財保護課)(参加者63人)
参加者	延べ376名	



埋蔵文化財講座



調査遺跡発表会

(カ) 調査遺跡発表会

日時	平成30年12月2日(日) 10:00～15:20	
主催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会場	長野原町山村開発センター	
テーマ	「発掘された八ッ場の軌跡」	
内容	基調報告「八ッ場を掘ってわかったこと」 藤巻幸男	
	発表1 「八ッ場に栄えた縄文のムラと列石-東宮遺跡の調査-」 小野和之	
	発表2 「縄文人のくらしを探る-石川原遺跡の調査-」 石川真理子	
	発表3 「平安時代の狩人たち-何を求めて入ったのか-」 石田 真	
	発表4 「八ッ場に暮らした中世の人々-谷間の支配者像-」 飯森康広	
	発表5 「天明泥流に埋もれた寺院-石川原遺跡の調査-」 齊藤利昭	
	発表6 「天明泥流に埋もれた村-西宮遺跡の調査-」 宮下 寛	
	発表7 「長野原町から見た八ッ場調査-長野原町にいてわかったこと-」 長野原町教育委員会文化財保護対策室長 富田孝彦	
参加者	181人	



公開考古学講座(講師 井上洋一先生)



縄文土器をつくる・焼く

平成30年度 群馬県埋蔵文化財調査センター 発掘情報館

大人のための冬の古代体験教室

教室名 費用・定員	実施日	応募締切日
トンボ玉作り 1回 2,000円 (定員3名)	第1回	12月11日(火) 12月4日(火)
	第2回	12月20日(木) 12月13日(木)
	第3回	1月17日(木) 1月10日(木)
	第4回	1月29日(火) 1月22日(火)
銅鏡レプリカ作り 1回 1,200円 (定員3名)	①	12月6日(木) 11月29日(木)
	②	12月13日(木)
	③	1月15日(火) 1月8日(火)
	④	1月22日(火)
アンギン編み 1回 150円 (定員10名)	第1回	2月5日(火) 1月29日(火)
	第2回	
ミニチュアレプリカ 1回 1,900円 (定員6名)	第1回	12月18日(火) 12月11日(火)
	第2回	1月31日(木) 1月24日(木)
	第3回	2月7日(木) 1月31日(木)
	第4回	2月26日(火) 2月19日(火)

■実施回数：一時的
■実施時間：午祝10時～午後1時 (定員から1時間前後休館となります。開催は各自ご確認ください。)
■申込方法：電話、電子メール、または来館により、要予約が必要です。
■定員に達しましたら受付を終了いたします。お早めにお申し込みください。
■場 所：群馬県埋蔵文化財調査センター 発掘情報館3階 体験学習室
■申込先：公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団 庶務課
〒377-0806 群馬県北群馬郡下館町764-2 電話：3374-51-11(直通線直通)
電子メール：gyma@chokushin.or.jp
■注意事項：電子メールで申し込みの際は、〒の自治体情報(住所)・電話番号(※要領)・希望、希望日時、お申し込みの件名「冬の古代体験教室」と必ず書き添え1回確認、また、住所・氏名・連絡先・電話番号、参加人数を忘れずに記載してください。

大人のための冬の古代体験教室 チラシ

(キ) 公開考古学講座

日 時	平成31年 2月23日(土)13:30~15:00
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	前橋テルサ ホール
講 師	井上洋一(東京国立博物館副館長)
演 題	東京国立博物館を彩る群馬県出土の考古資料
参加者	250人

(ク) 大人のための古代体験教室

日 時	平成30年12月6日(木)～平成31年3月7日(木)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館体験学習室
内 容	トンボ玉作り：平成30年12月11日(火)、12月20日(木)、 平成31年1月17日(木)、1月29日(火)、2月12日(火)、3月7日(木) 銅鏡レプリカ作り：平成30年12月6日(木)、12月25日(火)、 平成31年1月15日(火)、1月24日(木)、2月14日(木) アンギン編み：平成31年2月5日(火) ミニチュアレプリカ作り ：平成30年12月18日(火)、 平成31年1月31日(木)、2月7日(木)、2月26日(火)
参加者	56人

(ケ) 縄文土器をつくる・焼く

日 時	平成30年10月1日(月)～12月2日(日)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館体験学習室
内 容	説明会 縄文土器の話 鈴木佑太郎 縄文時代後期から晩期の土器を学び、製作・乾燥を経て、野焼きを体験する。
参加者	15人

(コ) 発掘調査現地説明会等

遺跡名	期 間	場 所	来 場 者	内 容
唐堀遺跡	平成30年11月29日(木)	東吾妻町 唐堀遺跡	27人	唐堀遺跡調査の地元向け公開と説明
T007遺跡	平成30年12月16日(日)	富岡市 T007遺跡	63人	T007遺跡調査の地元向け公開と説明

(2)指導者の派遣

ア 学校へ体験学習の講師派遣

実施日	学 校	内 容	学 年	人 数
6月28日	伊勢崎市立北第二小学校	縄文土器作り	小学6年生	44人
7月3日	伊勢崎市立宮郷第二小学校	縄文土器作り	小学6年生	139人
7月5日	伊勢崎市立あずま南小学校	縄文土器作り	小学6年生	112人
8月7日	玉村町立中央小学校	勾玉作り	小学1～6年生	20人
11月7日	高山村立高山小学校	土器作り	小学6年生	72人
1月30日	県立赤城特別支援学校 小児医療センター校	カラー粘土勾玉作り	児童	19人
				計406名

イ その他

自治体や市民グループ、公民館、博物館・資料館等が主催する講演会・講座・講習会等や、学会・研究会等へ、依頼を受けて職員を講師として派遣した。その実績は下記のとおりである。

実施日	依 頼 者	内 容・演 題	派 遣	受 講 者
4月22日	渋川市郷土史研究会	総会記念講演会	杉山秀宏	30人
4月25日	総社歴史勉強会	定例会「復元建物を用いた焼失実験」	石守 晃	30人
4月27日	三郷文化財研究会総会	中世石造物	新倉明彦	30人
5月8日	総社歴史勉強会	定例会「群馬の旧石器時代」	小原俊行	30人
6月29日	文京地区生きがい塾	第38回文京地区生きがい塾講演会	新倉明彦	200人
7月6日	平成30年度吾妻町村連携講座	勾玉作り	新倉明彦 一場茂樹	70人
10月7日	地域おこしグループ・あざみの会	最新情報 上信道建設に伴う吾妻地方の発掘成果	関口博幸	70人
11月23日	昭和村文化祭	勾玉作り	新倉明彦	20人
12月21日	大胡至誠会こうふく園児童クラブ	勾玉作り	新倉明彦	40人
1月10日	伊香保公民館 成人学級	粉食文化の始まり	洞口正史	7人
2月21日	渋川ロータリークラブ2月第3例会	金井東裏遺跡等に関する話題	新倉明彦	64人
3月7日	塚沢地区長寿会教養講座	古墳時代の榛名山麓	新倉明彦	40人
				計631名

(3)情報誌等の刊行



事業概要

ア 『年報』37 平成30年12月21日発行

号	頁	内 容
37	1	I 事業団の概要 1 設立の趣旨 2 目的 3 沿革 4 組織・名簿 5 理事会及び評議員会等の開催状況 6 平成29年度主要行事 7 会計経理の状況
	7	II 事業概要 1 発掘調査事業概要 2 整理事業概要 3 普及事業概要
	17	III 研究活動概要 1 職員自主研究活動指定研究
	18	IV 各遺跡の調査概要
	66	V 付篇 1 平成29年度群馬県内発掘調査一覧 2 平成29年度群馬県内整理事業一覧 3 平成29年度群馬県内発掘調査報告書一覧(事業団分含む) 4 平成29年度群馬県内発掘調査現地説明会・関連行事等一覧
	表紙	火砕流で倒壊した平地建物(金井下新田遺跡 渋川市金井)

イ 『研究紀要』37 平成31年3月1日発行

号	頁	論 文 名	執 筆 者
37	1	群馬県内における縄文時代前期の異型式土器	谷藤保彦
	21	伊勢崎市下今井遺跡表採の硬玉製大珠―石笛使用の可能性を有する製品―	石守 晃
	33	群馬県北部吾妻川流域の後期弥生遺跡について	大木紳一郎
	53	やっぱり群馬に入植民はいなかった―交流と人の移動の観点から―	友廣哲也
	71	東北及び九州出土古代刻書紡輪の歴史的意義について	高島英之
	91	天正18年の上野国松井田城攻めと周辺陣場	飯森康広
	101	信州産陶磁器製繰糸鍋の基礎的検討―九千組と林工業を中心に―	大西雅広
	121	金井東裏遺跡出土遺物のX線CT画像解析―出土鉄製品に伴う紐等低密度の有機物痕跡の形状把握と可視化への試み	関 邦一

ウ 『埋文群馬』64 平成31年2月28日発行

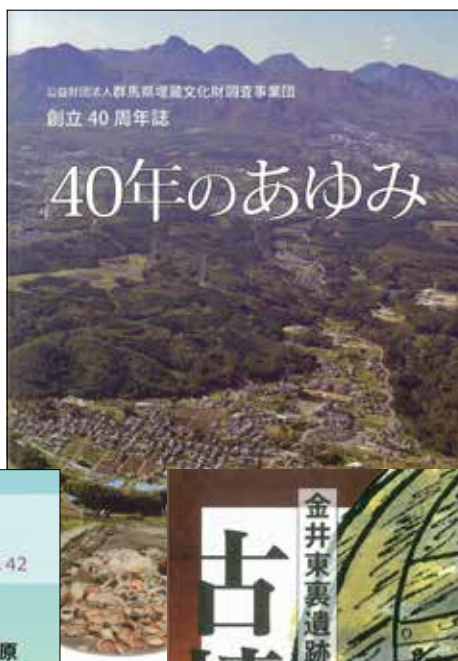
号	頁	内 容	編集スタッフ
64	表紙	甲を着た古墳人 群馬県立歴史博物館提供	杉山秀宏・都木直人 宮下 寛・板垣泰之 大木紳一郎・友廣哲也 小島敦子・関 邦一 桜岡正信・西田健彦 原 雅信・新井加寿恵
	2	40年のあゆみ	
	6	はじめに	
	7	「甲を着た古墳人」の発見	
	8	金井東裏遺跡の火山噴出物と火山災害を明らかにする調査	
	9	6世紀初めの金井東裏ムラ	
	10	馬の飼育と生産活動	
	11	金井東裏ムラのマツリ	
	12	金井東裏ムラの古墳	
	13	金井東裏ムラと朝鮮半島との関わり	
	14	「甲を着た古墳人」と3人の被災者	
	裏表紙	金井東裏遺跡の調査と関連諸科学	

エ 『遺跡に学ぶ』No.42 「特集 原始・古代の土器」 平成31年1月7日発行

号	頁	内 容	執筆者
42	表紙	国指定重要文化財 房谷戸遺跡 出土縄文土器10点	小川忠博
	2	房谷戸遺跡の縄文土器	山口逸弘
	4	縄文土器の機能・用途	鈴木佑太郎
	7	変化する文様と種類	石田 真
	11	コラム 亥 -出土遺物に見る、人とイノシシの関わり-	普及 課
	裏表紙	information	普及 課

オ 創立40周年記念誌 『40年のあゆみ』 平成30年7月14日発行

頁	内 容	執筆者・編集者
表紙	金井東裏遺跡航空写真 渋川市金井、3号祭祀遺構、甲を着た古墳人	
	ごあいさつ	理事長 中野三智男
1	事業団の概要と沿革	編集 木津博明 関根慎二 石守 晃 山口逸弘 小原俊行
2	40年のあゆみ	
15	役員・元役員が語る事業団40年	
21	回想この10年—平成20年度からの事業概要—	
26	あのころ、あのとき	
42	今後に向けて—埋蔵文化財は未来を語る—	事業局長 原 雅信
43	グラフで見る40年 組織の変遷／会長・役員名簿／平成30年度職員名簿／退職者名簿 発掘調査遺跡一覧／報告書一覧／刊行物一覧／現地説明会一覧 講演会一覧／展示会・公開普及デー等イベント一覧	
84	あとがき	常務理事 高草木方孝
裏表紙	表紙解説	



研究活動概要

カ 創立40周年記念出版 『古墳人、現る』 平成31年 3月28日発行

頁	内 容	編集者
表紙	イラスト 古墳人	40周年記念編集部会 小島敦子 大木紳一郎 谷藤保彦 桜岡正信 齊田智彦 石川真理子 イラスト原画 大木紳一郎 桜岡正信
1	座談会 1	
23	榛名山の噴火と金井遺跡群	
37	「甲を着た古墳人」とムラ人たち	
55	甲冑と武器にみる古墳人の威容	
81	古墳人たちの祈り	
93	古墳時代の金井東裏ムラ	
113	馬を飼育するムラ	
125	古墳時代の囲い状遺構	
155	座談会 2	
181	金井遺跡群の関連遺跡を歩く	
裏表紙	古墳人が出土した榛名山東麓	

キ ホームページの運営

当事業団ホームページでは、発掘情報館だよりを中心として、各種イベントの積極的な広報を行ってきた。発掘調査・整理遺跡の最新情報を毎月掲載して、情報発信に努めた。平成30年度には、ホームページのリニューアルを実施した。当事業団ホームページでは、発掘情報館だよりを中心として、各種イベントの積極的な広報を行ってきた。また、発掘調査・整理遺跡の最新情報を毎月掲載して、情報発信に努めた。

(4)資料の保存

保存処理の仕事

対象	作業項目	対象遺跡	数量
金属製品	金属製品クリーニング作業	9 遺跡	694点
	X線写真撮影	20遺跡	1,789点
木製品関係	木製品真空凍結乾燥処理	3 遺跡	596点
	樹種同定	1 遺跡	10点
現場対応	遺物取り上げ	2 遺跡	52点
特殊遺物	特殊遺物精査	4 遺跡	6 点
	脆弱遺物クリーニング	2 遺跡	2 点
遺物修復	金属製品修復	1 遺跡	1 点
	脆弱遺物強化処理	2 遺跡	2 点
市町村対応	金属製品クリーニング	0 遺跡	0 点
	X線撮影	1 遺跡	4 点
		計45遺跡	計3,156点



当事業団ホームページ トップ画面

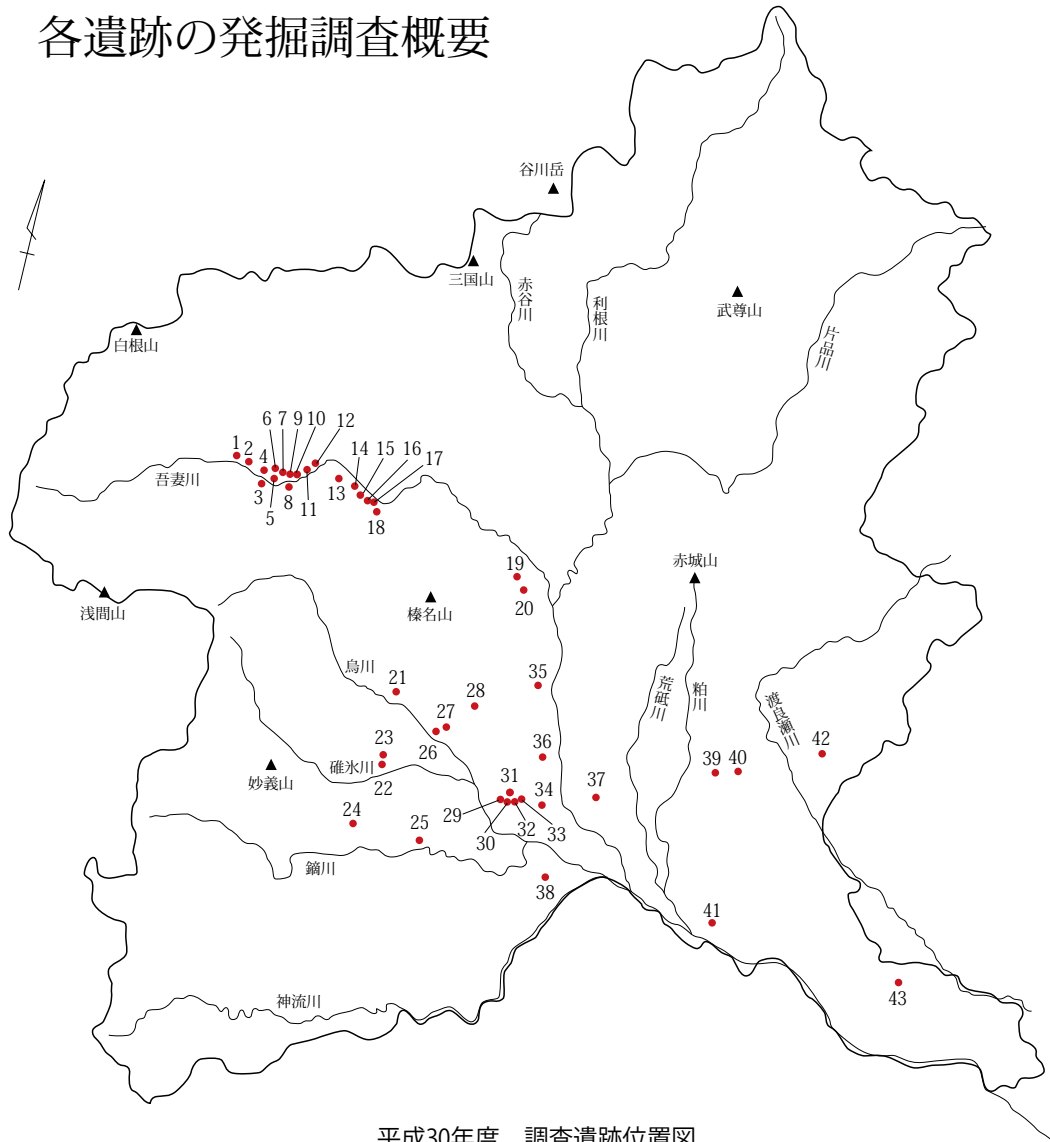
Ⅲ 研究活動概要

1 平成30年度職員自主研究活動指定研究

平成30年度の職員自主研究活動事業の指定は下記の9件であった。

No.	氏名	研究課題
1	高島英之	古代刻書紡錘車出土の意義と歴史的背景について
2	杉山秀宏	金井東裏遺跡出土遺物の研究(鉄素材を中心とする鉄器・石製模造品・鹿角製品他について)
3	友廣哲也	邪馬台国の時代と東国社会
4	谷藤保彦	群馬県内における縄文時代前期の異型式土器の研究
5	飯森康広	群馬県西部地域の城館の実態調査
6	洞口正史	大麻栽培圃・苧麻栽培圃からみた八ッ場ダム地域 天明泥流下畑の検討
7	大西雅広	信州産陶器製繰糸鍋 一千丸組と林工業を中心として
8	石守 晃	石笛としての使用の可能性のある翡翠製大珠の検討
9	小原俊行	関東地方・中部地方における瀬戸内技法荷担者の貫入が与えた影響について

IV 各遺跡の発掘調査概要



平成30年度 調査遺跡位置図

- | | | |
|----------|--------------|----------------------|
| 1 町遺跡 | 15 唐堀遺跡 | 29 双葉町2遺跡 |
| 2 尾坂遺跡 | 16 四戸遺跡 | 30 高崎競馬場遺跡 |
| 3 横壁中村遺跡 | 17 四戸の古墳群 | 31 岩押町遺跡 4 |
| 4 中棚Ⅱ遺跡 | 18 新井遺跡 | 32 上中居平塚遺跡 4 |
| 5 下田遺跡 | 19 金井東裏遺跡 | 33 上中居荒神遺跡 5 |
| 6 林中原Ⅰ遺跡 | 20 金井下新田遺跡 | 34 綿貫41遺跡 |
| 7 東原Ⅱ遺跡 | 21 中室田岩城遺跡 | 35 前橋市0107遺跡 |
| 8 石川原遺跡 | 22 安中市0334遺跡 | 36 前橋市0149遺跡 |
| 9 西宮遺跡 | 23 安中市0201遺跡 | 37 前橋市0635・前橋市0946遺跡 |
| 10 東宮遺跡 | 24 下高田白山遺跡 | 38 藤岡市27包蔵地 |
| 11 石畑Ⅰ岩陰 | 25 T007遺跡 | 39 柳田遺跡 |
| 12 三平Ⅰ遺跡 | 26 本郷鶴楽遺跡 | 40 阿左美遺跡 |
| 13 根小屋城跡 | 27 本郷満行原遺跡 | 41 条里制水田想定地 |
| 14 唐堀C遺跡 | 28 下芝内出畑遺跡 | 42 桐生新町水路跡 |
| | | 43 陣谷遺跡 |

1 町遺跡

所在地 長野原町長野原

担当者 関 俊明・梅村唯斗

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川と白砂川の合流点の北西約200m、吾妻川左岸の中位段丘面に位置している。北側背面には長野原城跡があり、遺跡の標高は約570mである。市街を通る国道145号の南側は、吾妻川への急崖が続いており、調査区周辺から西側に長野原市街地が広がっている。本年度の調査は、JR吾妻線長野原草津口駅から諏訪神社前を過ぎた市街地へ向かう国道145号線沿いで、林地区からおりてくるバイパスとの接合付近である。

調査の概要

本調査は、八ッ場ダム建設に伴う発掘調査であり、平成23・24年度に調査区北西部、平成25年度に諏訪神社の境内の一部の調査が実施された。天明泥流堆積物下から礎石・束・大引・根太・床板・床敷物が良好な状態で出土した大型建物や畑、石垣などが確認された。本年度の調査はそれらに続くものであり、調査面積は607㎡である。

近世 調査区中央から西寄りの天明泥流堆積物下から、東西方向に畝立てされた畑を確認した。この畑は過年度調査で確認されている畑と連続していると考えられる。

また、東西方向に伸びる溝状の痕跡を確認したが、これは天明泥流中の礫が流下した痕跡と考えられる。

(梅村唯斗)



国土地理院 5万分の1 地形図「草津」使用



遺跡遠景(南から)



近世の調査面全景(上空から、上が北)



近世の調査面の調査風景(西から)

2 おさか 尾坂遺跡

所在地 長野原町長野原

担当者 関 俊明・梅村唯斗

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川左岸の南に突き出た中位河岸段丘に位置し、南面する緩やかな斜面地にある。北は、水力発電用の導水路や旧国道145号を隔てて山地斜面が迫っている。今年度の調査地点の河床からの比高は約40mで、JR吾妻線長野原草津口駅から東に500mほどの地点で、標高は約590mである。

調査の概要

本調査は、八ッ場ダム建設工事に伴う発掘調査で、旧国道145号線の北斜面上の旧JR吾妻線線路敷部分が調査区である。本遺跡では、平成11年度以降発掘調査が行われている。本年度の調査区は、遺跡の北東端側に位置し、付近が天明泥流の到達範囲際と想定されている地点である。旧線路敷の橋架部分を隔て、東側を1区、西側を2区と設定して調査を実施した。線路敷の盛土が厚く、掘削深度に留意しながら調査を進めたが、調査範囲が狭小なため、トレンチ様の調査となった。

近世 2区5号トレンチからは、天明泥流堆積物が確認され、その下に厚さ1cmほどの被災直前に降下したAs-Aが直上に堆積する2～3段の石積と段差を確認した。石積により北側は基壇状に平坦な面があり、軽石はほぼ一様に堆積していた。東側は、削平されていたが、石積は最大で50cm程の礫が用いられ、5～20cm大の小礫で入念に裏込めが施されていた。付近では、天明泥流の際に、尾坂の地藏堂の宝篋印塔が被害を免れたとの伝承があり、天明泥流に被災した堂宇に関連する遺構である可能性も考えられるが、調査範囲が狭小なため、確認することができなかった。

(関 俊明)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



調査区全景(西から)



2区5号トレンチ全景(西から)



天明泥流堆積物下の石積(東から)

3 よこかべなかむら 横壁中村遺跡

所在地 長野原町横壁

担当者 関 俊明・梅村唯斗

遺跡の立地

吾妻川右岸に位置する本遺跡は、吾妻川の段丘礫層を基盤とし、その南に迫る山地からの崩落土が堆積する緩やかな北面傾斜地に立地している。遺構を包含する土層の下位には崖錐堆積物と考えられる不均質な土砂が顕著に認められた。本年度の調査区である8区は、山肌が緩斜面に切り替わる標高587～593mの斜面地である。この地点は遺跡範囲の最東端にあたる部分で、北流する東沢および町道により東端境界となっている。付近の吾妻川河床面はおよそ530mを測り、吾妻川とは段丘崖によって隔てられている。

調査の概要

ハツ場ダム建設に伴い発掘調査が進められてきた本遺跡は、これまでに平成8～18年度まで調査が進められている(14冊が既報告)。本年度の調査はそれらに続くもので、調査対象範囲は、27地区－8区に該当する。

中・近世 高台となる調査区東側でピットや土坑、主軸を東西方向にもつ2間×3間の規模の掘立柱建物が確認された。帰属する時期については不詳であるが、周囲から寛永通寶などの出土もあった。過年度調査が行われた20区などにおいても同様な規模と主軸方向の掘立柱建物が見つかっており、比較検討できる資料となるものと考えられる。

また、西半側は、大きく2段の段丘状の地形を呈し、上段では、削平なども顕著であった。下段との境界付近には、現況住宅を囲み墓地との段差を守るように石垣も一部残されていたが、その段差位置に対応する場所に、柵列やピットが検出された。

(関 俊明)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



遺跡遠景(北東から)



調査区全景(北東から)



中世以降の掘立柱建物全景(上が南)

4 ^{なかだなに} 中棚Ⅱ遺跡

所在地 長野原町林

担当者 関 俊明・佐藤賢一
武井 学・梅村唯斗

遺跡の立地

吾妻川がやや右から左に蛇行し川幅が広がり始める左岸の南に突出する下位段丘に位置しており、調査区の標高はおおむね565m～545mで、河床との比高は20mほどである。

調査の概要

本調査は、八ッ場ダム建設に伴う発掘調査であり、平成11～13年度及び平成28～29年度に1～13区まで調査が行われている。本年度は、平成29年度冬季調査を引き継ぐ形で、14区(国道下)の調査及び15区の調査を行った。調査面積は計4,911㎡である。

平安時代以前 14区から土坑61基(うち土壌墓2基・陥し穴1基)・掘立柱建物2棟・焼土2か所・ピット169基・竪穴建物1棟・埋甕1基を確認した。土壌墓の1基は、30cm大の礫を巡らせており、平成29年度下原遺跡の調査で確認された内容や特徴と類似している。

近世 14区の天明泥流堆積物直下では、畑のサクが舌状台地の傾斜に直行する東西方向に切られている畑が検出された。

15区では、径数十cmの礫を周囲に片付けて営まれた径10mほどの小さな畑が検出された。これは、天明泥流の3年前に発生した土砂災害である「子年の荒れ」の復興の最中に、再び天明泥流に埋没した畑と考えられる。畑周辺に集積された礫には、隙間なく寄せ集めた様子は見られなかった。ほぼ平坦な耕作土にAs-Aが均質な厚さで堆積していた。また、15区の東端付近では、天明泥流堆積物中の逆級化構造を示す堆積層や、当時栽培されていたサトイモの塊茎痕も確認された。

(梅村唯斗)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



遺跡遠景(西から)



縄文時代の竪穴建物全景(西から)



15区(近世)の全景(上が北)

5 ^{しもだ} 下田遺跡

所在地 長野原町林

担当者 関 俊明・梅村唯斗

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川左岸の中位河岸段丘上に位置し、吾妻川の蛇行により南に突き出た段丘地形となっている。標高は558m付近で、吾妻川河床との比高は約35mである。天明泥流堆積物により、調査区全域が覆われている地点の一部には、泥流によって当時の地表面が大きく削平されていた。

調査の概要

本調査は、八ッ場ダム建設に伴う発掘調査であり、平成25年度A・B区、26年度C区、28年度D～I区、29年度J～L区、本年度はM～P区の調査を行った。調査面積は14,841㎡である。

平安時代以前 N区から2棟、P区から1棟、古代の竪穴建物が見つかった。うち2棟は東側にカマドを持ち、1棟は北側にカマドが設けられていた。

近世 N区西寄りでは、天明泥流堆積物下の建物を計2棟と、それに付随する厠や道路、石垣などを確認した。うち1棟は厠(うまや)と考えられる範囲を建物内に含んでおり、推定14m×7mの規模である。また、その建物に付随する厠と思われる施設も確認できた。

N区中央部では、井戸と思われる遺構が検出された。井戸の一部には、天明泥流堆積物下の9号石垣を利用して積石を行っていた。これは、天明泥流被災後に造られたもので、深さ1.5m程まで掘り込まれ石が積まれていた。

M区・O区・P区についてはヤックラや畑が確認できたものの、泥流による削平が著しかった。

(梅村唯斗)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



遺跡遠景(東から)



N区(西・中央部)天明泥流堆積物下の全景(上が北)



天明泥流堆積物下の建物全景(上が北)

6 はやしなかはらいち 林中原 I 遺跡

所在地 長野原町林

担当者 佐藤賢一・武井 学

遺跡の立地

本遺跡は、白砂川が吾妻川と合流する地点の西側に位置する。調査地点は、吾妻川左岸の最上位段丘面にあり、標高は約615mである。

調査の概要

本調査は、八ッ場ダム建設工事に伴う調査で、調査面積は711㎡である。本遺跡は、平成16・19～21年に調査されており、本年度は、過年度調査した「中近世屋敷」の南端隣接地を調査した。

縄文時代～古代 土坑・ピット・陥し穴を確認した。陥し穴は、中央部分で狭くダンベル状になっているものを2基確認した。中央底部には、径30cm、深50cm程の逆茂木の穴を伴い、側面には、径5～10cm程の小穴を複数確認した。

中・近世 掘立柱建物・溝・ピット列・土坑・ピット・焼土を確認した。掘立柱建物は8棟確認でき、調査区北西で5棟、南東で3棟と2箇所集中していた。形状は、1間×3間の南北棟、1間×3間の南北棟、1間×3間の東西棟、1間×5間の南北棟、1間×5間で南に下屋をもつ南北棟、2間×5間の東西棟、1間×5間で東に下屋をもつ東西棟、2間×2間の正方形の8種類であった。溝は、調査区の東西端で南北に延びるものが1条ずつ確認された。東端の溝からは、近世陶器や角釘などが出土した。西端の溝は、過年度調査で確認された溝の続きで、長さ13.3m(過年度と合わせると約50m)、幅1.4m、深さ55cm程度であった。南端には、長径150cm、短径80cm、深さ60cm程の長方形の土坑を伴っていた。ピット列は、南北のものと東西のものが1条ずつ確認できた。南北のものは、西端の溝の東側にあり、溝に沿うように並んでいた。

(武井 学)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



縄文時代～古代の陥し穴(北東から)



調査区(中・近世)全景(上が北)



中・近世の掘立柱建物(南から)

7 ^{ひがしはらに} 東原Ⅱ遺跡

所在地 長野原町林

担当者 梅村唯斗

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川左岸の上位段丘面上に位置している。標高はおよそ620mに及び、南にゆるやかに下る傾斜地で、その先は吾妻川の方へ急崖となっている。北側には長野原町指定史跡となっている「御塚」がある。また、平成20年度の当事業団による調査では、縄文時代と平安時代を中心に、土坑、ピット、掘立柱建物、溝、削平面、焼土などの遺構が検出された。

調査の概要

本調査は、ハッ場ダム建設工事に伴う発掘調査であり、今年度は、調査区全体を70区と80区に区分けし、合計1,581㎡の範囲の調査を行った。

平安時代 ピット33基、土坑13基、焼土1か所を確認した。ピットの時代は覆土から古代が中心と推定される。土坑は合計13基確認した。その形状は多岐にわたり、比較的円形に近い楕円形状のものや、隅丸方形形状のものまで様々であった。土坑の深さは遺構確認面から平均しておよそ1.5mほどであったが、一番深いもので2m近いものまであった。これらの土坑はいずれも陥し穴と推定される。

調査区の南部には地割れ痕と思われる形跡を数か所確認することができた。地割れ痕は深さ2mほどで、東西方向に向かって伸びていた。また、調査区の南端では、複数の地割れ痕による地形の落ち込みを確認した。落ち込み部の落差は約10～20cmである。

(梅村唯斗)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



遺跡遠景(南から)



平安時代の調査面全景(上が北)



古代の土坑群全景(北から)

8 いしかわら 石川原遺跡

所在地 長野原町川原湯

担当者 須田正久・関 俊明・黒崎博樹
石田 真・梅村唯斗・鈴木佑太郎
齊藤利昭・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川右岸の河岸段丘上に位置する。遺跡標高は約540mを測り、吾妻川河床からの比高は、30～35mを測る。

調査の概要

本調査は、八ッ場ダム建設工事に伴い平成20年度に実施され、その後平成26年度から平成30年度にかけて継続的に実施している。調査は縄文時代から江戸時代にかけて5面(江戸2時期、中世、古代、縄文時代)に及ぶ。

縄文時代 縄文時代後期から晩期にかけての集落を調査し、竪穴建物、掘立柱建物、列石、配石、墓、水場、土坑など多様な遺構が確認された。出土遺物は、膨大な量の土器や石器とともに、土偶や岩版、石棒、石剣など祭祀に関わる道具、耳飾りや玉類などの装身具も数多く出土した。また水場やその周辺からは木材、トチ殻やクルミなどの堅果類といった有機質遺存体が多量に出土した。

古代 10棟の竪穴建物が確認され、うち3棟は、廃絶時に火付け廃棄行為の痕跡がみられた。

中世 谷部に谷地地形を利用した水田が確認された。

近世 建物4棟、畑、道などが天明泥流堆積物直下から確認され、建物2棟からは、多くの建築部材や生活用品が出土した。うち一部2階建ての倒壊建物下面からは、被災した3体の人骨が発見された。ほかにも今年度調査で、畑から1体が発見されており、川原湯村の被災記録にある死者14名のうちの4名と考えられる。

(鈴木佑太郎)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



縄文時代後期の配石墓群(西から)



縄文時代晩期のイノシシの頭部を表現した石剣の柄/柄頭



江戸時代の屋敷跡調査風景(北から)

9 ^{にしみや}西宮遺跡

所在地 長野原町川原畑

担当者 宮下 寛・関 明愛

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川左岸の山麓緩斜面にあり、JR吾妻線の旧川原湯温泉駅から西へ約1 km、旧国道145号および旧JR吾妻線沿いに位置する。遺跡の標高は、約535～545mである。

調査の概要

本調査は、ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査である。調査区は、旧国道145号、旧JR吾妻線、町道等によって区画し、本年度は8～10区を調査した。調査面積は9,282㎡である。調査面は近世2面、縄文時代以降2面の計4面である。

縄文時代以降 土坑、ピット、溝、埋甕などを確認した。10区では、長軸と短軸が約2 m以上、深さ約1.5m以上の大型の土坑が複数基検出された。形状や規模から陥し穴と推定され、同規模でほぼ等間隔に掘削されているものもあった。

近世 天明泥流直下の建物、石垣、道、水路、溝、天明泥流後の復旧坑などを確認した。9区の母屋建物は礎石建物で、柱や床板などの建築材は残存していなかったが、建物内部には囲炉裏や馬屋があった。蔵と推定される附属建物からは、周囲に幅約30～40cmの溝を掘り、底面に切り石を設置したような窪みが認められた。吾妻川まで延長すると想定される8区16号道からは、約1～2 m程に切断して人為的に置かれた樹皮が残る芯持丸木の小枝が大量に出土した。8区では、天明泥流以前の畑、暗渠、石列、溝、集石などを確認した。9区でも同時期の畑を確認し、下層からさらに古い時期の畑が見つかった。畑は山崩れや洪水などを起因とする土砂によって埋没しており、災害の発生の度に復旧が行われていた可能性がある。集石は4基確認し、1基からは人骨と銭が出土した。9区では柵田とみられる水田と水を引き込むための複数の溝を確認した。 (宮下 寛)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



陥し穴群調査風景(南西から)



近世の母屋建物と附属建物全景(上が北)



近世の道から出土した大量の小枝(南から)

10 ^{ひがしみや} 東宮遺跡

所在地 長野原町川原畑

担当者 新井 仁・山本直哉・小野和之

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川左岸の山麓緩斜面にあり、吾妻川とは比高30m程の崖線で接しており、JR吾妻線の旧川原湯温泉駅から西へ1 kmほどのところにある。遺跡の標高は530m前後となっている。

調査の概要

本調査は、ハッ場ダム建設工事に伴う発掘調査であり、5,921㎡を調査した。調査区は昨年度からの継続調査となった5区、および北西側の8区である。調査期間は平成30年4月～平成30年9月である。

縄文時代 昨年度の調査で、縄文時代後期の弧状に廻る列石4列と、これらに伴う竪穴建物、配石等を検出、列石はそれぞれ1 m弱の段差を有し、平坦面を形成する。配石はこれらの列石に付随して作られている。

竪穴建物は部分的に敷石を備える敷石建物が多く見られ、張り出し部は列石に接続するように作られたものが多い。今年度は、列石を取り除き、古い時期の遺構の調査を行い、後期および中期の竪穴建物等を検出、調査を行った。

今年度新たに検出した竪穴建物は後期と中期併せて28棟である。

8区の調査では、昨年度の確認調査で礫が集中した部分を広げて調査を行ったところ、5区の列石と一連と考えられる列石の一部と、付帯する敷石竪穴建物および配石遺構を検出した。列石は1 m程の段差を有し、木杭やトチの実なども出土している。

中・近世 5区では、泥流畑と溝、さらには暗渠を確認した。いずれも平成28年度調査で確認した遺構の続き部分である。

8区では2面において、土坑、焼土などを検出した。さらには、木杭と板材を四角に組んだ水場遺構を検出した。

(小野和之)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



縄文時代中期の竪穴建物遺物出土状況(東から)



縄文時代後期の列石と敷石竪穴建物(東から)



近世の水場遺構(北から)

11 いしはたいちいわかげ 石畑 I 岩陰

所在地 長野原町川原畑

担当者 黒崎博樹・石田 真・山本直哉

遺跡の立地

本遺跡は、長野原町と東吾妻町の町界から600mほど吾妻川をさかのぼった左岸に位置する。岩陰は南向きに開口し、岩陰と吾妻川の間には、旧JR線路と旧国道が吾妻川に沿って東西に走っていた。標高は岩陰部で約519m、国道部で約509mである。

調査の概要

本調査は、ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査であり、岩陰から南に20m程離れた旧国道下の調査区(A区北)と岩陰本体部分(B区北)の調査を実施した。

縄文～古墳時代 A区北では、縄文時代の遺物包含層を検出した。縄文時代前期を主体とし比較的幅広い時期の土器が出土した。B区北では、昨年度からの継続調査を含め、灰層4か所、土坑1基、溝1基を調査した。灰層は、土器や獣骨片を多く含み、土器では古墳時代から縄文時代晩期にかけての土器が出土している。土坑からは、弥生土器とともに鉄製品1点が出土した。溝は人為的なものではなく、雨水等によるものと考えられた。また、詳細な時期は不明だが落盤の間や下から大量の獣骨片が出土している。

古代 B区北で、昨年度からの継続調査の灰層1か所を調査した。獣骨と考えられる骨片が多く出土し、骨片には焼けているものと焼けていないものの両者があるが、いずれも細片となっていた。

近世以降 A区北では天明泥流堆積物下で畑および道をわずかに確認した。昨年度に調査したA区南の畑や道の続きが確認されたことになる。B区北では、昨年度調査区の北側を岩陰岩体際までトレンチで拡張して調査を実施した。その結果、天明泥流直下で2か所の灰層を検出し、岩陰岩体の至近にまで灰層が分布していることを確認した。(石田 真)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



投光器の下での調査状況(西から)



落盤下の獣骨の出土状況(南から)



近世の天明泥流下畑・道全景(南西から)

12 ^{さんだいらいち}三平 I 遺跡

所在地 長野原町川原畑

担当者 山本光明・千明 隼

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川左岸の最上位段丘上にある。調査区は、川に向かって南東方向へ張り出す舌状台地の突端部分にあり、南向きの緩斜面地である。標高580m前後で河床との比高が80m以上ある。

調査の概要

本調査は、八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査である。対象面積約7,802㎡を調査した。

縄文時代 調査区北部では、竪穴建物が3棟確認された。いずれの建物も西側の谷の侵食によって西半分が削られていた。2号竪穴建物からは、黒曜石の石鏃や碎片、縄文時代前期の土器片等が出土した。3号竪穴建物は、平面形態がゆがんだ楕円形をしていた。建物の中央やや西寄りの覆土中からは、焼土が混じる所があった。付近では、チャートの石器や碎片が集中して出土しており、縄文時代早期のものと推定される土器片も出土した。4号竪穴建物は、全体の形が不明瞭であった。黒曜石の碎片が集中して出土する箇所があり、ピットが円形に並んでいた。建物中心付近から焼土がまとまって出土しており、炉と推定された。

平安時代 調査区中央部やや南のAs-Kkが層状に堆積している箇所から竪穴建物が1棟確認された。東側にカマドの痕跡があり、床面付近から焼土と炭化物が多量に検出された。建物内北東部では、赤色顔料が検出された。

中・近世 台地の南部で近世以降のものと見られる掘立柱建物が確認された。その他、詳細は不明だが、土坑、ピット等が確認された。

(千明 隼)



地理院地図 5万分の1 地形図「草津」使用



遺跡全景(西から)



縄文時代の竪穴建物調査状況(南から)



平安時代の竪穴建物(西から)

13 ねごやじょうあと 根小屋城跡

所在地 東吾妻町三島

担当者 山本光明・千明 隼

遺跡の立地

本遺跡は、東吾妻町三島の根古屋地区にある中世の城跡である。この城は吾妻川右岸にあり、根古屋集落の西にある山の尾根上に築かれていた。根古屋城跡は、「鉄塚」と「斥候山」(城山)と呼ばれる二つからなる。今回調査対象となったのは「鉄塚」と呼ばれる部分で、城の東端部にある台地が該当する。上面は東西約130m、南北約20～40mの平坦地となっている。

北・東・南側の各方面は集落や畑を見下ろす40～50m程の急斜面で囲まれている。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻西バイパス建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査である。対象面積約8,808㎡を調査した。

縄文時代 平坦面の北部で縄文土器片が出土したが、縄文時代の遺構は確認できなかった。

中・近世 鉄塚の平坦面では、掘立柱建物が6棟確認された。そのうち東側の4棟は、他の2棟の建物より新しい時期のものであると考えられる。また平坦面の北縁と南東縁では、窪地を整形した跡が確認された。どちらの箇所も、腰曲輪状の小さな平坦地が張り出している場所である。本丸跡と想定される斥候山(城山)の尾根と接続する鉄塚の西側からは、堀切のような凹地があり、堀とみられる大型の溝が確認された。溝は鉄塚側の急斜面下に掘られており、幅が6～8m、深さは凹地の底から約1.5m、鉄塚側の急斜面上からは約4mであった。溝の上端付近の斜面は急傾斜であった。その他、周囲の斜面地のトレンチ調査では、道や通路、竪堀等の跡が検出された。

(千明 隼)



国土地理院5万分の1地形図「草津」「中之条」使用



遺跡全景(南東から)



平坦面北縁の掘立柱建物(南から)



堀とみられる大型の溝(南から)

14 からほりしー 唐堀C遺跡

所在地 東吾妻町三島

担当者 山本光明・佐藤賢一
武井 学・千明 隼

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川右岸の下位段丘面に立地する。西から東に向かって緩やかに傾斜しているが、ほぼ平坦な地形である。標高は約420mである。

調査の概要

本調査は、平成30年度上信自動車道吾妻西バイパス建設事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査である。調査面積は約9,677㎡である。

古墳～平安時代 竪穴建物、畠、土坑等を確認した。竪穴建物は全部で7棟あり、調査区南西に古墳時代のものが3棟、平安時代のものが3棟まとまって確認された。古墳時代後期の竪穴建物1棟は、3×2.5m程で深さが1m近くあった。東壁にカマドを付設しており、袖は粘土で構築されていた。煙道は、1m程石組みで作られており、側壁は3段に組まれている箇所もあった。天井には、径35cm程の扁平な円礫を使用し、煙出し近くまで積み重ねるようにして覆っていた。遺物は、土師器杯や須恵器甕片等が出土した。平安時代の竪穴建物1棟は4.7×4m程であり、灰釉陶器や須恵器・土師器等が出土した。畑は、As-Bで埋没したもの(125㎡)と、As-Kkで埋没したもの(580㎡)の2時期を確認した。As-Kk下の畠は畝幅30cm、畝高10cm、畝間40cm程度で若干湾曲しながら南北方向に延びていた。

中・近世 掘立柱建物、土坑等が確認された。掘立柱建物は5棟確認され、いずれの遺構もAs-Kk混土で埋没していた。大きなものは1間×5間の南北棟で、東西軸4m×南北軸5mであった。その他、2間×2間(3×3m)・2間×3間(3×6m)のもの等が確認された。土坑の多くは細長い隅丸長方形で、As-Kk混土で埋没していた。骨が出土した1基は、土坑の形状に沿って石が巡らせてあった。

(佐藤賢一)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



古墳時代の竪穴建物(西から)



As-Kk下の畑全景(上が南)



中・近世の掘立柱建物(南から)

15 ^{からほり} 唐堀遺跡

所在地 東吾妻町三島

担当者 関口博幸・坂本和之

遺跡の立地

本遺跡は、JR吾妻線矢倉駅の南方約400mに位置する。標高は概ね405m前後で、北側が吾妻川の急崖、南側が段丘崖に画された吾妻川右岸の下位段丘面に立地する。吾妻川を挟んだ北東方向に岩櫃山の断崖が聳え、頂上付近に弥生時代の再葬墓の鷹ノ巣遺跡、麓にはハート形土偶で有名な郷原遺跡がある。

調査の概要

本調査は、平成30年度上信自動車道吾妻西バイパス建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は3,168㎡である。本年度は、前年度からの継続で1・2・3区の第2面(近世)と第3面(縄文時代)の計2面を調査した。今回の調査により平成27年度から行ってきた調査はすべて終了した。

縄文時代 後期から晩期の遺物包含層1面、水場遺構1か所、遺物集中部2か所、竪穴1基、土坑28基、配石21基、集石7基、列石1基、埋甕5基、ピット2基を検出した。遺構は段丘礫層の上に形成され、遺構の上を遺物包含層が覆っていた。

遺物包含層は層厚約1mあり、大量の土器、石器、礫石器のほか、耳飾りや土偶、岩版、石棒、軽石製ミニチュア製品、獣骨等が多数出土した。また、土壌水洗選別により石鏃、石錐、玉類、耳飾り破片、焼骨片、剥片類等の微細遺物も大量に回収した。

水場遺構は3区段丘崖下で検出した。湧水点、トチノミやクルミを加工した石組み貯水場、作業場、石組み水路、大量の殻を捨てた廃棄場に至るまでの長さ約30mに及ぶ施設が一体となって確認された。

近世 天明泥流で埋没した水田を検出した。この水田は前年度調査した水田より1時期古い改修前のもので、中央部に北側へ傾斜する大畔と石組み水路をつくり、その両側に石垣で区画した棚田がつけられていた。

(関口博幸)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



遺跡全景(南西から、奥は岩櫃山)



縄文時代の水場遺構の調査(東から)



近世の天明泥流で埋没した水田(南から)

16 四戸^{しど}遺跡

所在地 東吾妻町三島

担当者 関口博幸・坂本和之

遺跡の立地

本遺跡はJR吾妻線郷原駅の南西約1kmに位置する。標高は約410m、吾妻川右岸の平坦な段丘面に立地する。東側に四戸の古墳群、西側に万木沢B遺跡があり、吾妻川を挟んで北側には岩櫃山の断崖絶壁が聳え、その頂上付近に弥生時代の再葬墓の鷹ノ巣遺跡、麓には縄文時代のハート形土偶で有名な郷原遺跡がある。

調査の概要

本調査は平成30年度上信自動車道吾妻西バイパス建設事業に伴う発掘調査で、点在していた未調査区4か所の計963㎡を調査した。四戸遺跡の調査は平成25年度から開始し、縄文・弥生・古代の竪穴建物を多数検出している。特に、奈良三彩短頸壺の出土が大きな話題となった。本調査をもって四戸遺跡の調査はすべて終了した。

旧石器時代 確認調査を行ったが、ロームの堆積は確認できず遺構・遺物も検出されなかった。

縄文時代 表土や遺構覆土から土器片がわずかに出土したが、遺構は検出されなかった。

弥生時代 後期の竪穴建物2棟を検出した。32号建物は地山の礫層を掘り込んで床面を構築していたが、柱穴や地床炉は確認できなかった。覆土から多数の土器とともに石鍬が出土した。また、炭化材も多数検出されたが焼土は確認できなかった。

古代 土坑1基、As-Kk下位の畠を検出した。土坑は円形・皿状で掘り込みが浅く、遺物も土器片がわずかに出土したのみであった。As-Kk下位の畠は攪乱が著しく残存状況は悪かったが、北東から南西方向と北西から南東方向の2方向のサクの痕跡を確認した。

(坂本和之)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



調査区全景(上空から)



調査区 遺構確認面全景(東から)



弥生時代の竪穴建物(南から)

17 四戸の古墳群

所在地 東吾妻町三島

担当者 黒田 晃・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川右岸段丘上に立地し、吾妻川・温川の合流地点の西に位置する。標高は遺跡西側で410m、東側で402mである。四戸の古墳群は昭和47年に吾妻町(現東吾妻町)の史跡に指定されている。

調査の概要

本調査は、平成30年度上信自動車道吾妻西バイパス建設事業に伴う発掘調査で、5,731㎡が調査対象であった。

縄文・弥生時代 縄文時代中期の集石遺構を9基、弥生時代後期の竪穴建物を10棟検出した。

古墳時代 3基の古墳を調査した。『上毛古墳総覧』に記載のある2基の古墳(『総覧』岩島村23・24号墳、『群馬県古墳総覧』東吾妻町47・48号墳)の横穴式石室を調査したが、天井石を失い開口していたため、副葬品はほとんど検出されなかった。新たに発見した横穴式石室からは、直刀及び鉄鎌が出土した。

いずれの古墳においても、石室は礫床であり、内部は玄室と前室が段差をもって分かれていた。また、石室の裏側には礫が充填してあり、裏込めとして用いられたと推測される。各石室の入口外側には礫が2列並べられており、羨道・墓道が形成されていた。

また、5・6世紀代の竪穴建物を6棟検出した。

平安時代 As-Bの混土層と調査区の一部でAs-Kkの堆積を認めた。これらの層の下から平安時代(9世紀)の竪穴建物を2棟検出した。

中・近世 表土の下にAs-Aを大量に含む耕作土層が存在しており、この層の下で中世から近世の遺構確認を行った。東側の1区から畑の畝間が確認され、他にはピット、土坑、溝の他、銭を副葬した墓が3基検出された。

(黒田 晃)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



弥生時代の竪穴建物遺物出土状況(北から)



調査された古墳及び竪穴建物(南から)



検出された古墳の石室(東から)

18 ^{あらい}新井遺跡

所在地 東吾妻町厚田

担当者 関口博幸・坂本和之

遺跡の立地

本遺跡は、JR吾妻線郷原駅の南方約400mに位置する。標高は約410mで、吾妻川右岸の平坦な段丘面に立地する。吾妻川を挟んで北側に岩櫃山の断崖が聳え、頂上付近に弥生時代の再埋葬の鷹ノ巣遺跡、麓にはハート形土偶で有名な郷原遺跡がある。

調査の概要

本調査は、平成30年度上信自動車道吾妻西バイパス建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は959㎡である。本年度は、過年度からの継続調査としてD区の第2面(弥生時代)と第3面(縄文時代)の計2面を調査した。今回の調査によって平成26年度から行ってきた調査はすべて終了した。

旧石器時代 トレンチで確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認できなかった。

縄文時代 前期から中期の竪穴建物2棟、土坑49基、ピット6基、配石5基を検出した。竪穴建物は2棟とも前期のものと考えられる。32号竪穴建物は長さ約6m・幅約4mの長方形を呈し、床面から土器片と磨石、凹石が出土した。土坑は前期から中期のもので、大部分が径1~1.5m・深さ約0.5m以下の筒状・皿状の土坑であったが、深さ1m程の袋状土坑も数基検出した。271号土坑や274号土坑からは大型の磨製石斧が出土した。配石は大型の偏平礫を数点配置したものである。

弥生時代 方形周溝墓1基、竪穴状遺構1基、土坑1基、ピット1基を検出した。4号方形周溝墓は一辺の長さ約12m・幅約2m・深さ約1.5mの断面V字状の周溝で区画されていた。過年度の調査で中心部から二つの埋葬施設を検出している。竪穴状遺構は長さ約3.5m・深さ約0.3mの底面が平坦な正方形の竪穴で、土器片がわずかに出土したが炉や柱穴は確認できなかった。
(関口博幸)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



遺跡全景(南から、奥は岩櫃山)



縄文時代の竪穴建物(北から)



弥生時代の方形周溝墓(北から)

19 かないひがしうら 金井東裏遺跡

所在地 渋川市金井

担当者 須田正久・佐藤賢一・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は渋川市中心街から北西3.3kmほどに位置し、榛名山の北東麓を流れる登沢川によって形成された扇状地末端部の標高230mほどの緩斜面に立地する。

調査の概要

本遺跡は国道353号金井バイパス(上信自動車道)建設に伴い平成24年9月から発掘調査が行われ、調査区の7区から日本で初めて古墳時代の「甲を着た古墳人」が見つかり、また、西側に隣接する9区からも馬具や赤玉、古墳、平地式の住居など数多くの古墳時代の貴重な遺構や遺物が見つかり、全国から注目を集めた遺跡である。今回の調査対象地(709㎡)・11区は、これらの北西側約30mに隣接する。この11区の調査で国道353号金井バイパス事業に伴う金井東裏遺跡の調査は終了となる。

縄文・弥生時代 縄文時代から弥生時代の遺跡は弥生時代後期の竪穴建物1棟、土坑11基、ピット10基を確認した。竪穴建物は半分が調査区外に入るため全容は確認できなかったが、弥生時代後期の「樽式土器たるしきどき」が出土していることから、弥生時代後期のものと考えられる。土坑やピットからは供伴する遺物が出土していないため明確な時期判断はできないが、堆積土などから縄文時代から弥生時代に帰属すると考えられる。遺構外から弥生時代後期の土器が小片ではあるが多数出土している。

古墳時代 Hr-FP下から馬蹄痕16個を確認し、Hr-FA(S₃)上面の調査からは、榛名山噴火に伴う線状衝撃痕を調査区全面に確認できた。

中・近世 土坑2基、畑、溝1条を確認した。これらは堆積土などから近世の遺構と考えられる。遺物は陶磁器片数点が出土している。

(須田正久)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」「沼田」使用



遺跡遠景(西から)



弥生時代の竪穴建物全景(南から)



古墳時代の榛名山噴火に伴う線状衝撃痕(東から)

20 かないしもしんでん 金井下新田遺跡

所在地 渋川市金井

担当者 新井 仁・須田正久・佐藤賢一
宮下 寛・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は渋川市中心街から北西3.3kmほどに位置し、榛名山の北東麓を流れる登沢川によって形成された扇状地末端部の標高230mほどの緩斜面に立地する。

調査の概要

本調査は、平成30年度一般国道17号(渋川西バイパス)建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は1,234㎡である。

縄文・弥生時代 竪穴建物1棟、土坑2基、ピット1基、溝1条を確認した。竪穴建物からは、扁平な敷石や礫で方形に組んだ施設や石囲炉が検出された。縄文時代中期後半から後期に帰属すると考えられる。弥生時代の遺構は確認されなかったが、遺構外から後期の樽式土器が出土している。

古墳時代 調査はHr-FP降下面、Hr-FA層中(S₉、S₇、S₃、S₂、S₁)、Hr-FA降下面ごとに行った。遺構は竪穴建物6棟、平地建物1棟、道、畠、土坑、ピット、焼土、遺物集中など多種多様の遺構を確認した。Hr-FP下面からは馬蹄痕や道、S₉、S₃面からは獣骨、S₂面からは人の足跡や馬蹄痕を確認した。馬蹄痕は、一定の範囲で北東方向へ歩行している様相が確認できた。この歩行列は、現道を挟んだ東側の5区で確認されている歩行列へと続くものと考えられる。S₁下からは、こぶ状の畝をもつ畠や、畠を区画したと考えられる溝状の掘り込みを確認した。さらにS₁下の黒色土中からは、竪穴建物6棟を確認した。これらの竪穴建物は、5世紀後半に帰属するものと考えられる。

平安時代 遺構は確認できなかったが、調査区西側、Hr-FP上面から多量の鉄滓が出土した。

中・近世 土坑37基、溝4条を確認した。遺物は遺構外から陶磁器片や銭が出土している。(須田正久)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」沼田」使用



縄文時代後期の竪穴建物検出作業(南から)



古墳時代(Hr-FA降下面)全景(東から)



古墳時代(5世紀後半)の竪穴建物全景(東から)

21 なかむろ だいわ き 中室田岩城遺跡

所在地 高崎市中室田町

担当者 黒田 晃・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は榛名山南麓の岩城川の左岸にあり、標高は328～334mで、地形は岩城川へ向かって西に傾斜している。

調査の概要

本調査は、平成30年度榛名南麓2期地区農山漁村地域整備事業に伴う発掘調査である。

調査区は縄文時代・中世・近世の散布地とされていたが、調査では縄文時代、弥生時代の遺構・遺物が発見されたに止まった。

縄文時代 縄文時代早期の土器を伴う土坑が1基、屋外炉が1基検出された。調査区東側の標高が高い地点からは、縄文時代中期後半～末葉の竪穴建物が3棟確認された。竪穴建物はいずれも石囲炉を伴っており、うち1棟は柄鏡型の敷石竪穴建物である。また、調査区の中央付近で旧河川の流路が検出された。

弥生時代 弥生時代前期の小型壺が完形で1点出土した。

その他 時期不明の柵1条、土坑29基、ピット22基を検出した。

(黒田 晃)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



縄文時代の竪穴建物(西から)



縄文時代の柄鏡型敷石竪穴建物(南から)



完形で出土した弥生土器(東から)

22 あんなかし ぜろさんさんよん 安中市0334遺跡

所在地 安中市安中

担当者 岩上千鶴・飯田陽一

遺跡の立地

本遺跡は、九十九川右岸の標高約160mの段丘上から、碓氷川と九十九川に挟まれた標高約170mの安中台地上に位置している。

調査の概要

本調査は、平成30年度西毛広域幹線道路整備事業に伴う発掘調査である。事業は、安中台地で北側の崖線を挟んで分かれており、段丘面の4,877㎡、台地上の4,700㎡を対象とした。

縄文時代 縄文土器を伴う遺構は土坑2基で、どちらも中期のものであった。土器片及び石製品、剥片類は調査区全域で出土した。

古墳時代 竪穴建物31棟、土坑1基、ピット2基を調査した。段丘面では前期から営まれる集落であったが、台地上は後期後半からの集落であった。

奈良・平安時代 本遺跡の中心的な時代である。竪穴建物194棟、土坑80基、ピット198基、溝9条、井戸1基を調査した。竪穴建物や土坑から、緑釉陶器、銅製鉞尾、石製巡方、石製硯、馬具等、寺院や官衙に関わる可能性が高い遺物が出土した。土器類は、須恵器の割合が比較的高く、近接する秋間古窯産のものが多かった。また、突帯付四耳壺など、他の地域との交流を窺わせるものもあった。竪穴建物の検出数から、台地上は奈良時代を中心とする集落、段丘面では平安時代後期までの集落が継続的に営まれていたと考えられる。

中・近世 屋敷1棟、土坑78基、ピット110基、溝7条、井戸6基、復旧坑3基を調査した。15号溝は、南北方向から東西方向に直角に曲がる北西の一部を確認し、方形の区画溝と推定した。復旧坑は、As-Aを廃棄するために長方形の土坑状に掘られたものが多かった。

(岩上千鶴)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」「富岡」使用



遺跡全景(北西から)



奈良時代の竪穴建物(西から)



平安時代の土坑(北から)

23 あんなかし ぜろにぜろいち 安中市0201遺跡

所在地 安中市下秋間

担当者 山本光明・鈴木佑太郎・山本直哉

遺跡の立地

本遺跡は、秋間丘陵南東部にあり、秋間川に鍛冶屋川が合流する付近に位置する。鍛冶屋川によって開析された谷底部から右岸舌状台地上にかけての標高150～200mの緩斜面地にある。周辺には秋間古窯跡群や数基の古墳があることが知られている。

調査の概要

本調査は、平成30年度西毛広域幹線道路整備に伴う事前の埋蔵文化財発掘調査で、5,651㎡を調査した。

縄文時代 剥片等の数点の黒曜石の石器が出土したが遺構等は確認されなかった。

古墳時代 古墳1基と竪穴建物2棟、ピット数基等が確認された。古墳は台地縁辺の地形を利用して築かれており、南―北を長軸とする石室が南に開口している。これまで確認されていなかった古墳で、石室の上部は攪乱を受けていた。竪穴建物のうち1棟は北壁中央やや東寄りにカマドの痕跡があった。もう1棟は東半分が攪乱を受けた状態で確認された。

平安時代 土坑9基、溝1条、ピット4基、焼土集中箇所1か所が確認されている。底面付近からこの時期の遺物が出土しているものもある。

中世 調査区中央～北部に確認された中世以前の谷地に耕作痕が広がっていた。上層は攪乱されているため詳細不明だが、水田耕作の痕跡と考えられる。

近世 調査区の南と北の斜面直下にAs-Aで覆われた狭小な畑が確認された。なお、時期不明の土坑やピット、溝等が確認されているが、土層等から多くは近世以降のものと考えられる。

(山本光明)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」「富岡」使用



遺跡全景と秋間丘陵(南西から)



古墳の石室(南西から)



古墳時代の竪穴建物(南東から)

24 ^{しもたか たはくさん} 下高田白山遺跡

所在地 富岡市妙義町

担当者 黒田 晃・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は、富岡市北端の高田川左岸にある横野台地の南斜面にあり、標高は197mほどで、南に向かって傾斜している。

調査の概要

本調査は、平成30年度社会資本総合整備(広域・新潟長野)事業(一)宇田磯部停車場線に伴う発掘調査で、6,446㎡を調査した。

縄文・弥生時代 縄文時代後期の竪穴建物を4棟、弥生時代中期の竪穴建物を1棟検出した。弥生時代の竪穴建物の床直上からは、下半分を欠損した大型の壺が出土した。

古墳～平安時代 古墳時代後期の竪穴建物を6棟と平安時代の竪穴建物を26棟検出した。竪穴建物の多くには、壁周溝が認められた。

これらの竪穴建物から検出されたカマドでは、上面あるいは焚口前面から、カマド内で使用していたと推定される甕などの破片が出土している。

近世 西向きの斜面を2段のテラス状に掘削して、テラスの下に道を作った痕跡を検出した。平坦面からはAs-Aで埋没した畑が検出された。また、As-Aを含んだ復旧坑が検出された。

(黒田 晃)



国土地理院5万分の1地形図「富岡」使用



竪穴建物の調査状況(北東から)



竪穴建物から出土した弥生時代の壺(西から)



平安時代の竪穴建物のカマド出土の土器(西から)

25 ^{ていぜろぜろなな} T007遺跡

所在地 富岡市後賀

担当者 新井 仁・宮下 寛
関 明愛・武井 学

遺跡の立地

本遺跡は、富岡市の後賀地内にあり、竈川の左岸に立地する。平成7年度に甘楽町教育委員会が対岸の西大山遺跡の古墳群の発掘調査を実施している。

調査の概要

平成30年度社会資本総合整備(広域・栃木長野)(一)下高尾小幡線事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査で、2,169㎡を調査した。

縄文時代 中期後半から後期の敷石建物3棟、竪穴建物1棟、配石遺構、列石、土坑、ピット等を検出した。敷石建物は柄鏡形で、張出部先端と基部に埋甕が検出されたものや、柄鏡部の敷石下から埋土に焼土を多量に含む土坑が検出されたものがある。

弥生時代 竪穴建物3棟等を検出した。建物はいずれも隅丸長方形で、多数の土器が出土している。時期は後期と考えられる。

古墳時代 前期では方形周溝墓4基、配石遺構、溝等を検出した。方形周溝墓の1基では、西溝の中央部に土坑があり、壺型土器等が出土した。

中～後期では、古墳6基を検出した。1・8号墳は横穴式石室を持つ円墳で、径は約23mと約17～18mである。いずれも玄室は側壁と奥壁の一部が残存し、凝灰岩の大形の切石を使用していた。遺物は、1号墳から大刀、金環、鉄鏃等が出土し、8号墳から鉄製小札、鉄製馬具、鉄鏃、耳環、刀装具等が出土している。7号墳は1辺約30mに及ぶ方墳で、墳丘上部は削平されており、石室は検出されなかった。全面に間隙なく葺石が施され、墳丘の各壁の中段には、葺石のない平坦面が認められた。1・8号墳以外の古墳では石室は確認できず、墳丘に葺石が確認されたが、大部分は崩落していた。

(新井 仁)



国土地理院5万分の1地形図「富岡」使用



縄文時代の敷石建物(南から)



弥生時代の竪穴建物(西から)



古墳の石室(南から)

26 本郷鶴楽遺跡

ほんごうかくら

所在地 高崎市本郷町

担当者 黒崎博樹・宮下 寛・山本光明
千明 隼・山本直哉・齊藤利昭

遺跡の立地

本遺跡は、烏川左岸の台地上に位置し、標高170 mほどの北西から南東方向に延びる丘陵上の緩やかな南斜面に広がる。丘陵の南縁は烏川により削られた落差約40mの崖面が続く。遺跡周辺の土地は、圃場整備が実施され、昭和45年以降水田となった。

調査の概要

平成30年度社会資本総合整備交付金事業西毛広域幹線道路高崎西工区(榛名)事業に伴う発掘調査で、対象面積は8,940㎡である。

旧石器時代 As-YP直下から剥片が2点出土した。

縄文時代 竪穴建物13棟・土坑50基・列石2条等を確認した。柄鏡形敷石竪穴建物は残存状態が良好で、舌部の壁面には石が立って組まれている様子も確認された。建物の規模は径4 m程で、柄の部分も含めると全長6 m程、深さは50~60cm程で、壁際に32基のピットを確認した。

古墳～平安時代 竪穴建物193棟・掘立柱建物12棟・土坑316基・溝12条等を確認した。ほとんどの竪穴建物が重複した状態であり、東壁にカマドが備えられるものが多い。時期は出土した遺物からみると10世紀以降が中心となる。カマドの構築材としては石が主体であるが、一部に瓦の破片を用いるカマドもあった。竪穴建物の中には一辺が5 mを超える古墳時代の建物も確認された。また竪穴建物内からは、古代の官人(役人)が装着した帯の帯飾り部品(蛇尾)が出土した。さらに、隣接する本郷満原遺跡の寺院跡との密接な関係が推定される小銅像と経筒の蓋等の遺物が出土した。

中世以降 As-Bで埋没した畠や溝、As-Aが覆土の復旧坑、溝状の土坑等を確認した。

(山本直哉)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



古墳時代～平安時代 遺跡全景(南から)



縄文時代の柄鏡形敷石竪穴建物(南から)



平安時代の竪穴建物遺物出土状況(北から)

27 ほんごうまんぎょうはら 本郷満行原遺跡

所在地 高崎市本郷町

担当者 新井 仁・梅村唯斗

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山南東麓に位置し、榛名山水系により南北に刻まれた谷地形が発達する烏川左岸の台地上に立地している。標高は170mほどである。隣接する本郷広神遺跡や本郷上ノ台遺跡、本郷鶴楽遺跡においても発掘調査が実施されている。

調査の概要

本調査は、平成30年度社会資本総合整備交付金事業西毛広域幹線道路(高崎西工区)事業に伴う発掘調査で、4,926㎡を調査した。調査区全体のうち、北側をC区、南側をD区として昨年度から継続して調査を行った。

古代 本遺跡所在地は以前より瓦散布地であることから、寺院の存在が推定されていたが、昨年度の調査において、8世紀初頭～前半、8世紀後半～9世紀初頭の瓦が多量に出土した。また、基壇建物と思われる箇所を3か所確認した。これらの結果から、今年度はこの基壇建物を寺院と想定して詳細な調査を進めた。

今年度の調査では、その3か所の基壇建物付近で、複数のピットが確認された。これらの遺構と建物の関係性は不明であった。また、基壇建物の構築方法の確認のためのトレンチを複数設定して調査した。3か所の建物のうち、最も東寄りに位置する礎石を伴った建物のトレンチからは、8～9世紀の瓦や、9世紀後半のものと想定される須恵器等が多量に出土した。これらのことから、建物は創建以後、建て替えられた可能性が示唆される。

(梅村唯斗)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



古代の建物(南から)



古代の建物の調査状況(東から)



古代の建物の基壇断面(北から)

28 しもしばうちでばた 下芝内出畑遺跡

所在地 高崎市箕郷町

担当者 須田正久・黒崎博樹
齊藤利昭・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は、白川左岸の「白川扇状地」上に立地する。東西に隣接する萬行遺跡と薬師遺跡については、平成26年度に当事業団が発掘調査を実施している。また、同遺跡内の隣接調査区については、平成29年度に当事業団が発掘調査を実施している。

調査の概要

平成30年度(主)前橋安中富岡線社会資本総合整備(活力・重点)に伴う発掘調査で、587㎡を調査した。

平安時代 調査区内から竪穴建物2棟、掘立柱建物3棟、製鉄炉5基、溝3条等を検出した。これらの遺構はHr-FPの混土層中から検出された。

竪穴建物からは須恵器、土師器、刀子等が出土した。カマド付近からは羽釜が検出されたことから、これらの竪穴建物は10世紀後半から11世紀前半のものと考えられる。

製鉄炉はいずれも自立式の竪形炉であった。炉体は円形・不定形を呈しており、排滓坑と推定される前庭部が付随していた。前庭部からは炉内滓、流動滓、炉壁、木炭、羽口等の鉄生産に関わる各種遺物が検出された。これらの製鉄炉は一定間隔をもって並列していた。製鉄炉のうちの1基は、一部が10世紀後半～11世紀前半の溝に削平されていたことから、10世紀代中頃～後半の時期の所産と推定される。

掘立柱建物のうちの1棟からは、鍛造剥片や羽口、椀形滓が多量に検出されたため、鍛冶遺構であると考えられる。

(須田正久)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



調査区全景(上が北)



平安時代の製鉄炉群(東から)



平安時代の鍛冶遺構(東から)

29 ^{ふたばちょうに}双葉町2遺跡

所在地 高崎市双葉町

担当者 平方篤行・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は、烏川と井野川に挟まれた高崎台地の微高地上に立地する。標高は92mほどである。高崎競馬場遺跡からは西に約1kmほど離れている。

調査の概要

本調査は平成30年度コンベンション施設整備事業等に伴う発掘調査である。調査面積は480㎡である。交通量の多い道路に面しており、安全を確保して調査を実施した。

遺跡地は駐車場や大型飲食店が建てられていた場所である。このため基礎工事が遺構面より深く及んでいる場所があり、遺構面の残存するところに調査区を設定し、発掘調査を実施した。

平安時代 畦の検出はなかったが、As-Bの堆積が検出された箇所がある。As-B下の土の様子などから、水田と考えられる。遺物の出土はない。

中世 ピットが3基検出された。覆土中にAs-A、As-Bともに混入しないことや、土層の観察から、中世の遺構と考えられる。狭い範囲の調査であり、これらのピットが掘立柱建物の一部になるかは、不明である。

(平方篤行)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」「富岡」使用



トレンチ掘削状況(西から)



平安時代の水田(東から)



中世のピット(西から)

30 たかさきけい ばじょう 高崎競馬場遺跡

所在地 高崎市岩押町

担当者 平方篤行・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は、烏川と井野川に挟まれた高崎台地の低湿地と微高地が交互に入り組んだ地形上に立地する。標高は91mほどである。

調査の概要

本調査は平成30年度コンベンション施設整備事業等に伴う発掘調査である。調査面積は9,670㎡である。調査区と工事実施場所を明確に区分し、安全を確保して、発掘調査を実施した。

弥生時代 調査区の北端と現道下で、弥生時代の環濠が検出された。覆土から弥生時代中期の土器片200点、木製品等が出土した。今年度検出された箇所が、環濠の北端と考えられる。この他、平安時代の水田の耕作土より下に溝が検出されたが、遺物の出土がなく遺構の時期は明確ではない。

平安時代 調査区の全域で、As-Bに覆われた水田が検出された。東西南北方向の畦畔が検出された。前年度までの発掘調査で検出された畦畔と方向や場所が一致し、同じ区画の水田と考えられる。

中・近世 中世の遺構としては溝が検出されている。また、遺物としては、宋銭、龍泉窯の青磁などが出土している。近世の遺構としては、As-Aが鋤きこまれた復旧坑が全面に及ぶ畑が検出された。復旧坑からは、18世紀後半ごろの肥前系磁器が出土した。

(平方篤行)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



弥生時代の環濠(南から)



平安時代の水田(東から)



中世の溝(北から)

31 ^{いわおしまち} 岩押町遺跡4

所在地 高崎市岩押町

担当者 平方篤行・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は、烏川と井野川に挟まれた高崎台地の低湿地と微高地が交互に入り組んだ地形上に立地する。標高は91mほどである。

調査の概要

本調査は平成30年度コンベンション施設整備事業等に伴う発掘調査である。調査面積は2,190㎡である。住宅地内にあるため、安全を確保して調査を実施した。

弥生～古墳時代 北西から南東に傾斜する溝が4条検出された。遺物の出土はなく、平安時代の水田の耕作土より下にあるが、遺構の時期は明確ではない。

平安時代 調査区の全域で、As-Bに覆われた水田が検出された。東西方向の畦畔が検出された。この水田は、平成29年度に行われた隣接地の発掘調査で確認された畦畔と方向が一致し、同一の区画内の水田と考えられる。

中・近世 火葬跡が検出された。覆土の状況から中世のものと考えられる。また、As-Aが鋤きこまれた復旧坑が全面に及ぶ畑が検出された。復旧坑からの遺物の出土はない。

(平方篤行)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



弥生～古墳時代の溝(北から)



平安時代の水田(南から)



中・近世の畑(東から)

32 ^{かみなか い ひらつか} 上中居平塚遺跡 4

所在地 高崎市上中居町

担当者 平方篤行・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は、烏川と井野川に挟まれた高崎台地の低湿地と微高地が交互に入り組んだ地形上に立地する。標高は90mほどである。高崎競馬場遺跡の東約1 kmにある。

調査の概要

本調査は平成30年度コンベンション施設整備事業等に伴う発掘調査である。群馬県教育委員会文化財保護課による試掘調査を経て、群馬県産業経済部コンベンション推進局と高崎土木事務所と当事業団が受委託契約を締結し、発掘調査を実施した。平成30年度事業として、平成30年5月から6月まで発掘調査を実施した。調査面積は1,180㎡である。

調査区は住宅地にあり、店舗の駐車場に面しており、住宅の基礎工事が深いので、平安時代の面を中心に発掘調査を実施した。

平安時代 全ての調査区で、As-Bが同じ状態で堆積しており、南北方向の畔が確認された。平安時代の水田と考えられる。隣接する上中居荒神遺跡5で確認された水田の畔と方向が一致し、同一の区画内の水田と考えられる。また、高崎競馬場遺跡のAs-B下の水田とも、畦の方向が一致するので、同じ計画に基づく水田と考えられる。

畔の検出できなかった調査区も、As-Bの堆積がほかの調査区と同様であり、耕作土の状況も同じなので、水田と考えられる。遺物は出土しなかった。

(平方篤行)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



平安時代の水田畔断ち割り(南から)



平安時代の水田の畔(南から)



平安時代の水田の耕作面(西から)

33 かみなか い こうじん 上中居荒神遺跡 5

所在地 高崎市上中居町

担当者 平方篤行・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は、烏川と井野川に挟まれた高崎台地の低湿地と微高地が交互に入り組んだ地形上に立地する。標高は90mほどである。高崎競馬場遺跡の東約1 kmにある。

調査の概要

本調査は平成30年度コンベンション施設整備事業等に伴う発掘調査である。調査面積は1,220㎡である。調査区は、市街地で住宅・商業地にあり、店舗や通学路に面しているため、安全を確保して調査を実施した。

平安時代

すべての調査区で、As-Bの堆積が確認された。東西方向、南北方向の畦畔が検出され、水田が検出された。畦畔の方向が平成29年度に行われた隣接地の発掘調査で確認された畦畔と一致し、同一の区画内の水田と考えられる。

また、高崎競馬場遺跡のAs-B下の水田とも、畦畔の方向が一致するので、競馬場内で検出された水田も、同じ計画に基づく水田と考えられる。遺物は出土しなかった。

(平方篤行)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



平安時代の水田畔断ち割り(南から)



平安時代の水田(西から)



平安時代の水田(東から)

34 わたぬきよんじゅういち 綿貫41遺跡

所在地 高崎市綿貫町・台新田町

担当者 平方篤行・関 俊明

黒崎博樹・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は、井野川の右岸の高崎台地上に立地し、標高はおよそ73mである。綿貫観音山古墳の西約100mに所在する。

調査の概要

平成30年度社会資本総合整備(活力・重点)(主)前橋長瀬線現道拡幅事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査である。群馬県教育委員会文化財保護課による試掘調査を経て、群馬県高崎土木事務所と当事業団が受委託契約を締結し、平成31年1月から3月に発掘調査を実施した。調査面積は6,869㎡である。

縄文時代 縄文時代の遺構は検出されなかったが、黒褐色土中から縄文時代後期の土器数点が出土している。

古墳時代 古墳1基を検出した。角閃石安山岩で古墳の横穴式石室は構築されていた。玄室に胴張が見られ、7世紀の古墳と考えられる。竪穴建物は古墳時代前期のものが、10棟ほど検出されている。竪穴建物には壁周溝が検出されたものがあった。

奈良・平安時代 東寄りにカマドがある竪穴建物が3棟検出されている。

中・近世 溝64条、火葬跡3基、井戸20基、ピット521基、水田3面等が検出されている。最大の規模の溝は、幅4.5m、深さ2mほどで、覆土の上位からAs-Aが検出されている。この他、天明以前の時期に、土地が造成された状況も確認された。五輪塔の一部や石臼等が出土している。この他、As-A直下と考えられる溝と水田が検出されている。

(平方篤行・関 俊明)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



古墳時代の竪穴建物(南から)



古墳の石室(南から)



中・近世の溝・井戸・ピット群(南から)

35 まえばし し ぜろいちぜろなな 前橋市0107遺跡

所在地 前橋市池端町

担当者 黒田 晃・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は榛名山東麓の相馬ヶ原扇状地上に位置し、標高は185～186mで、地形は西に向かって緩やかに高くなっている。遺跡の西側では、平成28年度に本事業団が同道路に伴う発掘調査を実施し、古墳時代後期から奈良・平安時代の竪穴建物が52棟確認された。

調査の概要

本調査は平成30年度(一)南新井前橋線二期工区道路改築事業(地方道・連携)に伴って行われた。調査面積は1,025㎡で、東西2か所に分れている。

古墳～平安時代 西の調査区から大規模な流路が検出された。流路は南北方向に伸びており、底部に砂や粘土が水平堆積していた。

流路の西側に、2か所の土器集中地点が検出された。検出された土器は古墳時代後期(6世紀代)と平安時代(9世紀代)のものが中心で、集中地点ごとに時代が異なり、分布域は明確に分かれていた。また、土器の表面や断面には水流による摩耗が認められなかったことから、各土器集中地点は二次堆積による集積ではなく、人為的な廃棄によって形成されたと推測される。

東の調査区からは須恵器、灰釉陶器皿が出土した。井戸が1基検出された。

中・近世 東の調査区から近世の井戸、土坑、ピット群が検出された。井戸は東の調査区でも特に湧水深度が浅い部分に集中して5基掘削され、陶磁器などが少量出土した。

ピット群は列をなしているが、掘立柱建物は認定できなかった。

(黒田 晃)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



古墳時代の土器集中地点測量状況(北から)



土器集中地点の古墳時代の土器(東から)



近世のピット群(東から)

36 まえばし し ぜろいちよんきゅう 前橋市0149遺跡

所在地 前橋市間屋町

担当者 武井 学

遺跡の立地

本遺跡は、群馬県庁から西へ約1.5kmの前橋市間屋町地内に所在する。標高は約116mで、榛名山南東麓に広がる相馬ヶ原扇状地の扇端が前橋台地に移行する付近に立地する。調査では、As-B混土層及びHr-FA洪水層、As-C層が確認された。

調査の概要

本調査は、平成30年度(都)中央大橋線街路事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査である。調査面積は、約409㎡である。

古墳～平安時代 畠、復旧坑群、溝1条、土坑4基を確認した。畠は、Hr-FA上面で南西から北東方向に伸びているものを11条、約40㎡確認した。Hr-FAを掘り抜いておらず、耕具痕のような窪みが確認できたため、上位面で耕作した際の痕跡と考えられる。復旧坑群は、南東から北西方向に伸びているものを20条程度、約44㎡確認した。Hr-FA上の畠とは方向が90度近く異なっている。当初は畠と想定されたが、Hr-FA上から直下の黒色土まで掘り抜いており、黒色土を掘り起こした可能性が有るため復旧坑とした。周囲には、Hr-FAを攪拌した層が確認された。土坑の1基は、須恵器杯を伴っており平安時代の遺構である。また、同様の覆土の土坑3基も平安時代と推定される。遺物は、他にも土師器甕・須恵器高台付杯等の破片が出土した。本遺跡はAs-C下水田が想定されたが、本調査では黒色粘質土の水平堆積が確認できたものの明確な畦畔は平断面ともに確認できなかった。

中・近世 溝2条、土坑8基、ピット10基を確認した。いずれも覆土はAs-B混土であるため時期の特定はできなかった。溝の2条は、調査区の東西両端で現道に沿うように確認されたが、確認できる部分が少ないため詳細は不明である。(武井 学)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



Hr-FA復旧坑群(南東から)



Hr-FA上の畑(南西から)



平安時代の土坑遺物出土状況(北から)

まえばし し ぜろろくさんご ・ まえばし し ぜろきゅうよんろく
37 前橋市0635・前橋市0946遺跡

所在地 前橋市下佐鳥町・朝倉町

担当者 佐藤賢一・武井 学

遺跡の立地

本遺跡は、前橋市南部、利根川左岸の前橋台地上に位置し、標高は約86mである。調査地は、前橋市0635遺跡(下佐鳥町)と、北方の前橋市946遺跡(朝倉町)の2か所である。大半は広瀬川水系の後背湿地上に立地するが、一部は微高地の端部に位置する。

調査の概要

本調査は、平成30年度(主)前橋玉村線バイパス社会資本総合整備(活力・一般)関連事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査である。総延長は300m程で、調査面積は1,711㎡である。

古墳～平安時代 掘立柱建物、竪穴建物、土坑、井戸、溝、As-Bに覆われた水田、ピットを確認した。竪穴建物は、前橋市0635遺跡で古墳時代前期1棟、前橋市0946遺跡で奈良・平安時代9棟を確認した。いずれも残存状態は不良で、明確な炉及びカマドは確認できなかった。前橋市0635遺跡の竪穴建物からは、S字甕が出土し、近くの土坑からはパレススタイルの広口壺が出土した。前橋市0946遺跡の竪穴建物1棟からは、炭化物と共に椀形滓や砥石が出土した。また、近くには深さ3m程の井戸があり、底から墨書土器片が出土した。井戸は前橋市0635遺跡でも2基確認したが、うち1基は、底面から出土した土師器杯により、7世紀代の遺構と考えられる。As-Bに覆われた水田は、前橋市0946遺跡の方が良好に残存し、南北方向に1条、東西方向に3条の畔を確認した。

中・近世 溝16条を確認した。前橋市0635遺跡南端で確認した溝は東西方向に走行する薬研堀で、幅3.5mで、表土からの深さ1.2m程を測る。覆土等の状況から中世の屋敷を区画する溝と考えられる。

(佐藤賢一)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



古墳時代前期の竪穴建物遺物出土状況(西から)



古代の遺構面全景(上が南)



中世の屋敷溝調査風景(南西から)

38 藤岡市27包蔵地

ふじおか し にじゅうなほうぞう ち

所在地 藤岡市下栗須

担当者 須田正久・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は、藤岡市北部に所在し、藤岡台地の北縁部付近に位置し、北は沖積低地になる。標高は80m前後を測る。

調査の概要

本調査は平成30年度単独道路改築(一)下栗須馬庭停車場線(下栗須工区)事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査である。藤岡市27包蔵地の調査は、平成28年度に1次調査が実施されており、古墳時代から古代にかけての遺構が確認されている。

今回の対象地は藤岡本庄線の中栗須交差点から東側に延びる県道下栗須馬庭線両脇約500m、面積約1,246㎡の範囲である。

本調査は、平成28年度に実施された1区から4区の引き続きの調査であったため、JR八高線から東側を5区から7区、西側を8区、9区と区割りをして調査を開始した。また、一部の調査範囲が藤岡市22包蔵地に入り、平成29年度調査の引き続きであるため、7区と呼称し調査をおこなった。

縄文時代 縄文時代の遺構は確認できなかった。ローム漸移層からロームにかけての遺構確認中に数点の縄文土器小片が出土している。

古墳～平安時代 古墳時代前期から古代にかけての竪穴建物17棟、土坑33基(藤岡市22包蔵地の7区1基)、ピット170基、溝2条を確認した。

遺構確認面は調査地点によって大きく異なり、表土下約20cm～150cmである。調査区は調査範囲が狭小であったため、竪穴建物のうちカマドを確認できたものは2棟だけである。

中・近世 この時期と考えられる遺構は確認できなかった。陶磁器片数点が表採された。

(須田正久)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



遺跡遠景(東から)



古墳～平安時代の竪穴建物と土坑・ピット群全景(東から)



古墳時代(6世紀)の竪穴建物全景(南西から)

39 やなぎだ 柳田遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀今井町
担当者 黒崎博樹・佐藤賢一
千明 隼・齊藤利昭

遺跡の立地

本遺跡は、多田山丘陵東側の低地に挟まれた標高110m前後の低台地上に位置する。低台地は東西幅約110mを測り、北から南に緩やかに傾斜している。遺跡周辺は、昭和54年度から3年計画の圃場整備が実施され、遺構の残存状態は悪かった。

調査の概要

平成30年度一般国道50号(前笠道路)建設に伴う発掘調査で、対象面積5,800㎡である。

旧石器時代 旧石器確認トレンチ14か所を設定し、2か所で石器が出土した。No.5トレンチではAs-BPGroup層下の暗色帯上部で47点の石器が出土した。

縄文時代 縄文土器小破片を伴う土坑1基を検出した。この土坑の埋没土と同様な埋没土を持つ土坑3基を検出した。

古墳～平安時代 検出遺構は、竪穴建物36棟・掘立柱建物4棟・土坑52基、ピット等を確認した。竪穴建物は2棟から3棟の重複が多い。規模は一辺が7～8mほどの大型のものが数棟確認できたが、多くは一辺が5m前後であった。炉を持つ古墳時代前期と思われる竪穴建物は2棟あり、他の竪穴建物は灰白粘土を用いたカマドが設置されていた。また、5棟の竪穴建物から建築部材と思われる炭化材が出土し、炭化材樹種同定分析を行った結果、コナラ属であった。その他に、竪穴建物の掘方調査により、コーナー部を起点に対角線方向に拡張されている竪穴建物も3棟確認できた。出土遺物は土師器の甕類・杯類等が主である。77号と88号竪穴建物からは玉などの装飾品が出土した。

中世以降 埋没土中にAs-B混土が含まれる土坑、井戸を確認した。
(齊藤利昭)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



遺跡全景(北から)



旧石器時代の遺物出土状況(北から)



古墳時代の竪穴建物貯蔵穴(西から)

40 ^{あざみ}阿左美遺跡

所在地 みどり市笠懸町

担当者 関 明愛・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は阿左美沼の南約1km、荒神山山頂から北東方向約800mに位置しており、県道68号線を挟み、東武桐生線阿左美駅の向かい側にある。標高は120mほどである。

調査の概要

本調査は、平成30年度社会資本総合整備(活力・重点)道路改良事業に伴う発掘調査で、調査対象面積は2,392㎡である。

縄文時代 1区で竪穴建物を3棟検出した。1棟からは土器埋設炉が検出された。他の2棟は後の時代の遺構に大きく攪乱された状態であった。1区と2区からは直径約1.2～2m、深さ約1.2～2mの土坑の底面に直径50cm、深さ約20cmのピットがある二重構造の土坑が7基検出された。1区中央部から西部および2区にかけて、確認面上層に厚さ約30cmの縄文土器包含層が広がっており、3区に縄文時代の埋甕2基、4区遺構確認面上に縄文土器が出土したため、周辺に縄文時代の集落があったことが予想される。

古代 1区南東隅に方形の竪穴建物を検出した。遺構のほとんどが調査区外となるため、全体像を把握することはできなかったが、調査区壁沿いに溝が検出され、須恵器が2点出土した。

中・近世 3区、4区を中心に多数の土坑、ピットが検出された。3区は直径約2m、約5mのそれぞれ井戸とみられる土坑もあり、中世以降のものともみられるが、深さが2mを超えるため完掘はできなかった。4区は集中してピットが集中する箇所があったが規則性がなく、建物を組むことができなかった。いずれも遺物がほぼなく、正確な時代の特定はできなかった。

(関 明愛)



国土地理院5万分の1地形図「桐生及び足利」使用



遺跡遠景(西から)



縄文時代の竪穴建物(南から)



縄文時代の底面にピットがある土坑(北東から)

41 条里制水田想定地

じょうり せいすいでんそうてい ち

所在地 太田市藤阿久町

担当者 間庭 稔

遺跡の立地

調査地は、太田市街中心部から南西に1.5km程のところに位置する。北から南に蛇行しながら流れ下る蛇川右岸に立地し、調査地の県立太田高等特別支援学校と隣接する老人福祉センターや清掃センターの敷地に所在する広大な遺跡の一部である。標高は約41mである。

調査の概要

本調査は、県立太田高等特別学校普通科棟(重複障害)増築整備事業に伴う発掘調査で、建物の施工範囲である505㎡が調査対象であった。校庭と調査区を区切り安全を確保し、既存の水道等を避け調査を実施した。

旧石器時代 トレンチ調査を2か所行った。湧水が激しく、遺構遺物は確認できなかった。

古墳時代 遺物等が出土する黒褐色土は確認したが遺構は認められなかった。

平安時代 東側でAs-Bを含む地層下から竪穴建物を1棟検出した。カマドは東側の調査区外に付随すると思われる、貼床と思われる固くしまった部分が一部あったが、確認面からの掘り込みが5cmほどしかなく残存状態は良くなかった。出土遺物として、直径が2.6cmで、中央部に0.4cmの穴が開いた厚さ0.8～1cmの滑石製の紡錘車が1点出土した。土師器の小破片が多く、器形を復元できるようなものはなかった。

竪穴建物と覆土が類似する土坑6基、井戸2基を検出した。遺物は土師器小破片が数点であった。

中・近世 中央部で北東から南西に流れる浅い1号溝は、覆土にビニール片が含まれ最も新しいと思われた。北側で検出された3条の溝は、東壁でAs-Bを含む地層を切っているのを確認した。

(間庭 稔)



国土地理院5万分の1地形図「深谷」使用



調査区(平安時代)全景(南から)



平安時代の竪穴建物(南から)



平安時代の土坑(南から)

42 きりゆうしんまちすいろ あと 桐生新町水路跡

所在地 桐生市本町

担当者 石田 真・梅村唯斗

遺跡の立地

本遺跡はJR両毛線桐生駅から1 kmほど北東の桐生市本町の重要伝統的建造物群保存地区内に所在している。

南側に東流する渡良瀬川に向かって緩く傾斜する平坦部に立地しており、遺跡の標高は114m前後である。基盤は砂礫層であり、ローム層の堆積はみられない。

調査の概要

本調査は、平成30年度主要地方道桐生田沼線電線共同溝事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査で、調査面積は30㎡である。

水路跡は、昭和40年代までは通水されていたとみられており、その後水路跡の石積みを残して埋設され、上部に歩道が造られている。

今年度調査対象範囲である7区から20区までの全ての調査区で、2段から3段積まれた水路跡東側の石積みを確認した。しかし、度重なる改修を受けたせいか、水路の様相は調査区ごとに異なっていた。水路の石積みは基本的に下段ほど用いられる石が大きくなる傾向があり、石積みを構築する際の裏込め石も、ほぼすべての調査区で確認された。しかし、水路の改修の際に、自然石のみでなく御影石の切石を使用している場所もあった。

残存状況のよい調査区においては、水路造成のために石積みの最下段の礫の下に胴木と呼ばれる木材を敷設し、その胴木を支えるための木杭や枕木を使用していることが判明した。これらは水路の造成方法を知るためののりがかりとして期待される。

水路内砂層からは昭和40年代の硬貨やガラス瓶、江戸期まで遡り得る陶器等、様々な時代の遺物が出土した。

(梅村唯斗)



国土地理院5万分の1地形図「桐生及び足利」使用



水路遺構の石積(西から)



水路遺構の御影石検出状況(東から)



水路遺構の石積下胴木・木杭検出状況(西から)

43 陣谷遺跡

所在地 館林市楠町

担当者 関口博幸・坂本和之

遺跡の立地

本遺跡は、東北自動車道館林インターの北方約2km、利根川と渡良瀬川に挟まれた邑楽・館林台地の北端部に位置し、城沼の北東部の微高地から低地にかけて立地する。標高は約17m、北側に当郷遺跡、東側に羽附陣屋跡が隣接する。

調査の概要

本調査は、平成30年度(一)山王赤生田線バイパス社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は2,818㎡である。本年度は3区を調査した。3区は砂、シルト、粘土が厚く堆積した低地とシルト、粘土を基盤とする微高地で構成される。表土下のシルト層中にAs-Bが一次堆積していたものの、As-B下水田は確認できなかった。

縄文時代 遺物包含層や3号溝土器散布層から中後期の土器・石器が多数出土した。遺構は確認できなかったが、近くに集落跡がある可能性が高い。

古墳時代～古代 As-B下位から遺物包含層1面、遺物集中部2か所、土坑4基、盛土状遺構2か所、溝1条を検出した。遺物集中部はシルト層から古墳時代の杯、甕、壺がまとまって出土した。遺物包含層は低地で検出され、馬鍬2点のほか鋤、杵、柱材等の木製品と土器が多数出土した。1号馬鍬はほぼ完形の大型品で、幅約1.5mの台木に長さ約45cmの木製歯13本(1本は欠損)と長さ約50cmの柄2本が装着され、両端には引き棒を差し込む穴が穿孔されていた。3号溝は幅6～8m、深さ1.5～3mの東西方向に掘削された大溝で、底面の上には硬化面と土器散布層があり、道として利用された可能性がある。盛土状遺構は谷を埋めるように、シルト層の上にロームと黒色土を版築し盛土していた。

中近世以降 東西方向に延びる溝と土坑を多数検出した。(関口博幸)



国土地理院5万分の1地形図「古河」使用



古墳時代の遺物集中部(南から)



古代の馬鍬(東から)



古代の大溝(東から)

V 付 篇：群馬県内の埋蔵文化財関連事業

1 平成30年度群馬県内発掘調査一覧

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
1	群馬県教育委員会 文化財保護課 県内遺跡	群馬県内	県教委 桜井美枝 松原孝志 黒澤照弘 笹澤泰史 田村 博 川口 亮	平成30年度 群馬県内公共開 発に伴う県内 遺跡発掘調査	平30.4.1 ～平31.3.31	試掘・確認調査
2	2 2 包蔵地	藤岡市中栗須	県教委 笹澤泰史	道路建設・155	平30.6.13、 平30.7.2 ～平30.7.4	竪穴建物3
3	上野国分寺跡	高崎市東国分 町・引間町、 前橋市元総社 町	県教委 橋本 淳	史跡整備・88	平30.6.7 ～平30.7.25	南大門・東大門の確認調査
1	前橋市 上野国府跡	前橋市元総社 町	市教委 阿久沢智和 村越純子	範囲内容確認調 査・736	平30.5.14 ～平30.12.27	古墳～平安竪穴建物跡16、古代掘立柱建 物跡多数、古代道路跡10・古代溝跡3・ 上野国分尼寺の南限溝・古代井戸跡1、 中世溝跡2、近世建物跡2・近世井戸跡 11、土坑、ピット
2	上細井中西部遺跡群 No.1	前橋市上細井 町	市教委 小峰 篤 松村輝利	上細井中西部地 区土地改良事業・ 7,266	平30.5.14 ～平30.10.31	縄文住居跡1、古墳～平安住居跡111・掘 立柱建物跡1、古代溝跡4、集積遺構1、粘 土溝3、竪穴状遺構2、井戸跡1、土坑、 ピット
3	上細井中西部遺跡群 No.2	前橋市上細井 町	市教委 小峰 篤 松村輝利	上細井中西部地 区土地改良事業・ 3,334	平30.11.1 ～平31.2.28	縄文住居跡5、古墳～平安住居跡16・掘 立柱建物跡3・土坑・ピット
4	元総社蒼海遺跡群 (127)	前橋市元総社 町	山下工業 永井智教	区画整理・406	平30.8.8 ～平30.10.22	竪穴建物跡16、掘立柱建物跡1、基壇建物 跡1、溝跡9、井戸跡5、性格不明遺構2、 土坑
5	元総社蒼海遺跡群 (128)	前橋市元総社 町	技研コンサル 岡野 茂	区画整理・648	平30.9.10 ～平30.10.31	古墳～平安住居跡1・水田跡1・畠跡3・ 溝跡6・土坑・ピット
6	元総社蒼海遺跡群 (129)	前橋市元総社 町	技研コンサル 土井道昭	区画整理・259	平30.10.2 ～平30.11.5	竪穴状遺構1、溝・堀跡7、井戸4、不明遺 構2、土坑、ピット
7	元総社蒼海遺跡群 (130)	前橋市元総社 町	技研コンサル 佐野良平	区画整理・505	平30.9.10 ～平30.10.31	平安住居跡4・土壇墓2・溝・堀跡3
8	元総社蒼海遺跡群 (131)	前橋市元総社 町	技研コンサル 佐野良平	区画整理・160	平30.12.14 ～平31.1.7	古墳～平安住居跡5・溝・堀跡3・井戸 跡1・土坑・ピット
9	元総社蒼海遺跡群 (132)	前橋市元総社 町	市教委 並木史一	区画整理・597	平30.8.7 ～平31.2.4	古墳～平安住居跡10・溝跡8・方形周溝 墓1、土坑・ピット
10	天神風呂M地点遺跡	前橋市茂木町	山下工業 青木利文	道路築造・177	平30.12.14 ～平30.12.27	古墳～奈良竪穴建物3・掘立柱建物1・ 竪穴遺構1・ピット
11	南橋東原遺跡No.2	前橋市日輪寺 町	技研コンサル 佐野良平	公民館改築・350	平30.8.1 ～平30.8.28	古墳住居1・畠跡1・土坑・ピット
12	遠見山遺跡	前橋市総社町 総社	市教委 小川卓也	範囲内容確認調 査・250	平30.10.2 ～平31.1.25	古墳1、井戸跡1
13	中内常光遺跡	前橋市中内町	市教委 並木史一	貯水槽建築・96	平30.12.7 ～平30.12.26	平安住居跡2、土坑
1	高崎市 元島名中子遺跡	高崎市元島名 町	ノガミ 秋山真好	荷捌き所及び事 務所建設・3,176	平30.3.30 ～平30.5.31	中世掘立柱建物跡1・溝9・土坑22・ ピット100

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
2	綿貫遺跡群・ 下滝遺跡群	高崎市綿貫町・ 下滝町	市教委 大野義人 齊藤 聡 原 佳子 外所光明 櫻井 衛 伊藤 肇 深澤みどり 須永 忍 村井田雅明 秋元恵里子	産業団地造成・ 18,337	平30.4.1 ～平31.3.31	古墳～古代竪穴建物跡470・溝多数、古代 基壇状遺構1
3	棟高遺跡群第18次	高崎市棟高町	市教委 神戸聖語	中央第二区画整 理・1,831	平30.4.2 ～平31.3.31	古墳竪穴建物跡2、古代竪穴建物跡26、溝 1
4	井出遺跡群	高崎市井出町	市教委 南雲博文 山本ジェームズ 田村 孝 小島麻紗子	浜川運動公園拡 張整備・3,000	平30.4.1 ～平30.9.30	古墳水田跡、古代水田跡、中世館跡
5	日高村主遺跡	高崎市日高町	測研 高林真人	事務所建設・192	平30.4.9 ～平30.5.31	弥生竪穴建物跡9、古墳方形周溝墓1・ 溝1・土坑5、古代土坑2
6	浜川御布呂遺跡4	高崎市浜川町	市教委 田辺芳昭 金子智一	浜川運動公園通 り線(仮称)改良 工事・200	平30.4.11 ～平30.5.18	中世掘立柱建物跡複数・溝4・土坑6・ 井戸1
7	剣崎東村遺跡	高崎市剣崎町	毛野考研 志村 哲 春里桃子 田村貴広	分譲住宅造成・ 226	平30.4.14 ～平30.5.11	中世竪穴建物跡1・掘立柱建物跡1・井 戸1・溝1・土坑4・ピット6
8	中泉十王堂遺跡3	高崎市中泉町	技研コンサル 中村岳彦	宅地造成・ 182.95	平30.4.18 ～平30.5.22	古墳溝2・畠2・土坑1・ピット13、古 代溝2、中世溝2
9	中大類新井西遺跡	高崎市中大類 町	スナガ環測 板垣 宏	大学校舎建設・ 700	平30.4.20 ～平30.5.12	古代水田跡、中世溝10・土坑2・ピット 4
10	下之城遺跡群7次	高崎市下之城 町	市教委 小根澤雪絵 茂木由行 綿貫鋭次郎	高崎操車場跡地 周辺土地区画整 理・1,710	平30.5.7 ～平30.12.27	古代水田跡、中世城館
11	倉賀野上樋越遺跡 第5次	高崎市倉賀野 町	市教委 小根澤雪絵 茂木由行 綿貫鋭次郎	倉賀野駅北土地 区画整理・585	平30.5.7 ～平30.10.17	古代堀跡2・溝10
12	宿横手樋口遺跡	高崎市宿横手 町	市教委 村井田雅明 秋元恵里子	都市計画道路築 造・928	平30.6.1 ～平30.9.30	古墳溝3・水田跡、古代竪穴建物跡4・ 溝4・土坑2
13	八幡後観音遺跡・ 八幡毘沙門遺跡	高崎市八幡 町・若田町	市教委 神戸聖語	下水道敷設工事・ 380	平30.7.2 ～平31.3.29	観音塚古墳周堀・平塚古墳集堀
14	足門石田遺跡2	高崎市足門町	市教委 飯島克巳	足門工業団地拡 張整備・5,240	平30.7.2 ～平31.3.28	古墳石室・周堀、中世溝9、畠1
15	上中居荒神遺跡5	高崎市上中居 町	測研 櫻井和哉	店舗建設・290	平30.7.11 ～平30.8.1	古代水田跡
16	上佐野船橋遺跡6	高崎市上佐野 町	技研コンサル 小林一弘	宅地造成・38.64	平30.9.5 ～平30.9.25	古代水田跡、溝2
17	飯塚煎屋敷遺跡	高崎市飯塚町	毛野考研 常深尚	道路築造・260	平30.9.18 ～平30.9.28	古代水田跡、溝1
18	若田金堀塚遺跡2	高崎市八幡町	市教委 南雲博文 田村 孝	若田浄水場ろ 過池更新工事・ 1,200	平30.10.1 ～平31.3.31	古墳竪穴建物跡2・礫床墓1、古代竪穴 建物跡19・溝1
19	上野国分尼寺跡 (第3次)	高崎市東国分 町	市教委 田辺芳昭 金子智一	重要遺跡範囲確 認および内容確 認・400	平30.10.1 ～平31.3.8	古代尼坊規模確定、伽藍北辺確定、講堂跡 礎石発見
20	本郷久保田遺跡	高崎市吉井町	高澤考研 澤田福宏	工場建設・690	平30.10.18 ～平30.11.15	古代水田跡、近世溝2・土坑
21	菅谷高畑遺跡2	高崎市菅谷町	毛野考研 志村 哲 春里桃子	道路築造・60	平30.10.22 ～平30.11.1	古代竪穴建物跡3・土坑2

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
22	菅谷村前遺跡	高崎市菅谷町	毛野考研 宮本久子 春里桃子	宅地造成・60	平30.10.22 ～平30.11.9	古代竪穴建物跡4・溝1・土坑1
23	棟高西新堀遺跡	高崎市棟高町	技研コンサル 小林一弘	長屋住宅建設・ 153	平30.11.12 ～平30.11.30	古代竪穴建物跡2
24	宮原町遺跡3	高崎市宮原町	技研コンサル 山田誠司	工場建設・ 2,605.9	平30.12.4 ～平30.12.27	古代水田跡、中世溝5
25	下里見宮谷戸遺跡	高崎山下里見町	毛野考研 有山径代	幼稚園舎建設・ 579.59	平31.1.7 ～平31.2.22	弥生竪穴建物跡4、古墳溝1、古代竪穴建物跡2・配石遺構1・溝6・土坑16・ピット17
26	棟高西弥三郎街道遺跡	高崎市棟高町	測研 大塚昌彦	分譲造成・493	平31.1.28 ～平31.3.8	縄文竪穴建物跡2・土坑100、古墳竪穴建物跡6、古代竪穴建物跡3、中近世溝1・井戸3
27	菅谷堀之内遺跡	高崎市菅谷町	毛野考研 土井道昭	道路築造・88.37	平31.2.1 ～平31.2.13	古墳～古代溝3・土坑3・ピット4
28	中泉源十内遺跡	高崎市中泉町	山下工業 青木利文	宅地造成・455	平31.2.22 ～平31.3.27	古代竪穴住居跡3・掘立柱建物跡1、中世掘立柱建物跡1
1	桐生市三島台遺跡	桐生市川内町	市教委 新井雅幸	車庫・0.49	平30.4.7	なし
2	赤城神社前遺跡	桐生市広沢町	市教委 新井雅幸	店舗・245.25	平30.5.16 ～平30.6.4	縄文陥し穴1、時期不明溝状遺構2・井戸跡1
3	萱野遺跡	黒保根町下田沢	市教委 新井雅幸	携帯電話基地局・ 1	平30.6.12	なし
4	神明遺跡	桐生市広沢町	市教委 新井雅幸	個人住宅・10	平30.6.19	なし
5	伊勢原遺跡	桐生市広沢町	市教委 新井雅幸	個人住宅・8	平30.7.3 ～平30.7.4	縄文ピット2
6	舟場通遺跡	桐生市相生町	市教委 新井雅幸	個人住宅・2	平30.7.12	なし
7	東宿遺跡	桐生市川内町	市教委 新井雅幸	個人住宅・1.5	平30.7.19	なし
8	水沼上野遺跡	黒保根町水沼	市教委 新井雅幸	水道・4	平30.8.1	なし
9	武井-5遺跡	新里村武井	市教委 加部二生	個人住宅・203	平30.6.11 ～平30.8.31	古代竪穴建物跡8、土塁状高まり(近現代の盛土)
10	岡ノ上遺跡	桐生市広沢町	市教委 新井雅幸	個人住宅・0.5	平30.9.25	なし
11	桐生新町水路跡	桐生市本町	市教委 新井雅幸	水道・6.6	平30.8.20 ～平30.9.26	近代水路跡
12	大門遺跡	桐生市菱町	市教委 新井雅幸	個人住宅・1.5	平30.10.12	なし
13	三島台遺跡	桐生市川内町	市教委 新井雅幸	下水道・10.67	平30.10.23 ～平30.10.29	縄文土坑1・縄文中期包含層
14	新屋敷前遺跡	桐生市川内町	市教委 新井雅幸	個人住宅・5	平30.11.5 ～平30.11.8	縄文竪穴建物跡1・坑1・ピット2
15	愛宕山遺跡	桐生市広沢町	市教委 新井雅幸	建売住宅・3	平30.11.9	なし
16	三島台遺跡	桐生市川内町	市教委 新井雅幸	個人住宅・1	平30.11.19	なし
17	細川内膳屋敷遺跡	桐生市菱町	市教委 新井雅幸	個人住宅・1	平30.11.27	なし
18	舟場通遺跡	桐生市相生町	市教委 新井雅幸	建売住宅・2	平30.12.17 ～平30.12.20	なし
19	桐生新町水路跡	桐生市本町	市教委 新井雅幸	水道・4.18	平30.11.4 ～平31.1.9	近代水路跡
20	大雄院前遺跡	桐生市広沢町	市教委 新井雅幸	集合住宅・8	平31.2.12 ～平31.2.18	古代住居跡1・ピット2

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
21	おかのうえいせき 岡ノ上遺跡	桐生市広沢町	市教委 新井雅幸	個人住宅・1	平31.3.1	なし
22	しみずにしいせき 清水西遺跡	桐生市相生町	市教委 新井雅幸	個人住宅・4	平31.3.27	なし
23	たけいみおえいせき 武井峯M遺跡	新里町武井	市教委 加部二生	個人住宅・ 537.97	平30.10.10 ～平31.3.26	古代竪穴建物跡12・縄文前期竪穴建物跡 1・土坑18・風倒木痕1・古代地割れ多 数
1	いせさきし 伊勢崎市 伊勢崎城	伊勢崎市大手 町	スナガ環測 権田友寿	区画整理・514	平30.5.14 ～平30.8.31	中世溝5、近代建物跡2・防空壕2
2	みなみはら いせき 南原遺跡14	伊勢崎市赤堀 今井町	市教委 出浦 崇 横澤真一	共同住宅・96	平30.8.1 ～平30.8.10	古代竪穴建物1、縄文陥し穴1
3	ようかやくしこふん 八日薬師古墳	伊勢崎市波志 江町	市教委 出浦 崇 横澤真一	駐車場造成・89	平30.10.22 ～平30.11.8	古墳墳丘断面1
4	さんげん や いせき 三軒屋遺跡	伊勢崎市上植 木本町	市教委 出浦 崇 横澤真一	内容確認・200	平30.10.31 ～平31.1.17	古代池状遺構・土取り穴1・区画溝1
5	ほずみ まるやまがしに いせき 保泉・丸山東2遺跡	伊勢崎市境保 泉	山下工業 永井智教	道路築造・184	平30.11.10 ～平30.12.4	古墳溝1、土坑1、旧流路
6	たじまやへいせき 田島弥平旧宅	伊勢崎市境島 村	市教委 和久美緒 川道 亨 女屋慎介	内容確認・44	平31.1.7 ～平31.2.27	近世～近代建物跡2
1	おおたし 太田市 反丸遺跡	太田市吉沢町	市教委 遠坂純伸 上野優真	産業団地・ 13,000	平30.4.2 ～平31.3.29	古墳住居139・溝19・土坑347・ ピット1,850
2	にしたじまいせき 西田島遺跡	太田市下田島 町	市教委 長谷川幸男	土地区画整理・ 360	平30.5.16 ～平30.6.12	古墳3・溝2・土坑4
3	いちようだ ほりのうちいせき 一町田・堀之内遺跡、 いしづか古墳 石塚古墳	太田市新田赤 堀町	市教委 長谷川幸男	土地改良・16	平30.7.18	古墳周堀2・溝2
4	とうぶちく いせきぐん 東部地区遺跡群	太田市堀口 町・岩松町	市教委 岩松大輔	土地区画整理・ 753	平30.7.11 ～平30.9.20	古代住居17・掘立柱建物1・土坑墓1・ 溝5・土坑12・ピット26
5	とうぶちく いせきぐん 東部地区遺跡群	太田市堀口町	市教委 岩松大輔	土地区画整理・ 157	平31.1.29 ～平31.2.18	掘立柱建物2・竪穴状遺構1・土坑16・ ピット35
1	ぬまたし 沼田市 日影平遺跡	沼田市戸鹿野 町字日向平	市教委 宮下昌文 向出博之	公共下水道埋設 工事・107.9	平30.8.1 ～平30.8.8	縄文及び弥生土坑5
1	たてやし 館林市 大袋5遺跡	館林市花山町	市教委 宮田圭祐	その他建物・73	平30.4.21 ～平30.5.3	性格不明遺構2
2	まきはらいせき 笹原遺跡	館林市堀工町	市教委 宮田圭祐	その他開発・63	平30.6.5 ～平30.6.19	—
3	にほんまついせき 二本松遺跡	館林市大谷町	市教委 宮田圭祐	個人住宅・52	平30.9.19 ～平30.10.2	—
4	しんじくにとちようめいせき 新宿二丁目遺跡	館林市新宿二 丁目町	市教委 宮田圭祐	その他建物・145	平30.10.16 ～平30.10.23	溝1、水路跡
5	ひなたしんでんいせき 日向新田遺跡	館林市日向町	市教委 宮田圭祐	個人住宅・28	平30.10.24 ～平30.11.1	古墳住居3
6	あおやまやしき 青山屋敷	館林市花山町	市教委 宮田圭祐	個人住宅・39	平30.10.26 ～平30.11.2	溝1、土坑5
7	あおやまやしき 青山屋敷	館林市花山町	市教委 宮田圭祐	個人住宅・40	平30.10.26 ～平30.11.2	土坑1
8	おかの やしきまえ 岡野・屋敷前・ 岡遺跡	館林市岡野町	市教委 宮田圭祐	その他開発・45	平31.1.16 ～平31.1.23	溝3、土坑2
9	あおやまやしき 青山屋敷	館林市花山町	市教委 宮田圭祐	個人住宅・23	平31.1.29 ～平31.2.1	溝1、土坑2
1	しぶかわし 渋川市 谷津遺跡	渋川市北橋町 八崎字南元宿	市教委 浅海莉絵	店舗建設工事・ 2,605.07	平30.10.9 ～平30.10.26	古代土坑43・ピット16・溝2・土師器・ 須恵器・羽口・鉄製品・鉄滓
2	はんだはんじょういせき 半田剣城遺跡	渋川市半田字 剣城	市教委 平石冬馬	宅地造成工事・ 2,006	平31.2.4 ～平31.2.20	古代竪穴建物4棟・ピット10基・土坑4 基・溝3条・土師器・須恵器・石製品

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
1	藤岡市 笹川沿岸地区遺跡群	藤岡市本郷	市教委 針谷友規 毛野考研 高橋清文 李スルチヨロン 有山径世	農業基盤整備事業・3,100	平30.4.13 ～平31.3.29	古墳9・小石塚1・竪穴住居跡124、中・近世溝状遺構7、道路状遺構1・土坑・ピット多数
2	牛田・ 川除地区遺跡群	藤岡市牛田・ 川除	市教委 文挾健太郎 毛野考研 山本千春	農業基盤整備事業・7,260	平30.4.13 ～平31.3.25	竪穴住居跡140、古代寺院3
3	大林E遺跡	藤岡市中栗須	市教委 文挾健太郎 毛野考研 日沖剛史 山本杏子 田村貴広	北部環状線街路事業・3,336	平30.7.24 ～平31.1.31	竪穴住居跡11、掘立柱建物5、溝状遺構11、土坑・ピット995
4	三ツ木東原C遺跡	藤岡市三ツ木	市教委 井上 勉 毛野考研 高橋清文 小此木真理 山本千春 春里桃子	毛野国白石丘陵公園園路建設2,331	平30.7.18 ～平31.3.25	竪穴住居跡18、小鍛冶遺構1、竪穴状遺構1、溝状遺構3、土坑・ピット265、井戸1、隧道状遺構1、石器集中区4、碎石集中区1
5	上落合七輿遺跡	藤岡市上落合	市教委 井上 勉 毛野考研 山本千春 小此木真理	毛野国白石丘陵公園園路建設・1,820	平30.7.18 ～平31.3.12	竪穴住居跡4、溝状遺構2、水田址、土坑・ピット150
6	三ツ木東原B遺跡	藤岡市三ツ木	早稲田大学 長崎潤一	学術調査・100	平31.2.26 ～平31.3.17	遺構なし
1	富岡市 史跡旧富岡製糸場	富岡市富岡	市教委 水田雅美 津澤吉茂	学術調査・200	平30.5.7 ～平31.3.25	近現代コンクリート土間1・溝1・礎石1
2	宇田恵下原・ 宇田中寺田遺跡	富岡市富岡	市教委 横田大輔	土地改良・2,000	平30.5.30 ～平30.8.30	縄文住居1・土坑4、古代水田跡1・溝2
3	原田篠遺跡	富岡市富岡	市教委 横田大輔	工場・1,000	平30.9.6 ～平30.10.17	古代住居2・竪穴状遺構1・掘立柱2・柵列2・溝5・土坑5
4	富岡陣屋跡	富岡市富岡	市教委 片野雄介	確認・350	平30.7.3 ～平31.2.5	近現代建物1(葦塚製糸場跡)
1	みどり市 阿左美遺跡	みどり市笠懸 町阿左美	市教委 萩谷千明	個人専用住宅建築・6	平30.4.16 ～平30.4.23	既調査済み縄文土坑1(昭和58年調査)
2	銅山道東A遺跡	みどり市大 間々町桐原	市教委 萩谷千明	店舗建築・30	平30.6.12	遺構なし
3	おほたいせきだいに 大畑遺跡第2地点	みどり市大 間々町浅原	市教委 萩谷千明	太陽光発電施設 建築・90	平30.7.12 ～平30.7.17	遺構なし
4	とらくばえー 寅久保A遺跡	みどり市大 間々町浅原	市教委 萩谷千明	太陽光発電施設 建築・32	平30.9.7 ～平30.9.14	遺構なし
5	いぬめいせき 犬目遺跡	みどり市東町 花輪	市教委 萩谷千明	太陽光発電施設 建築・66	平30.9.28 ～平30.10.10	縄文住居2、柱穴状遺構2
6	もとやしきいせきだいに 元屋敷遺跡第13地点	みどり市笠懸 町阿左美	市教委 萩谷千明	個人専用住宅建築・44	平30.10.26 ～平30.11.1	中近世柱穴状遺構64、長方形土坑1、竪穴状遺構の一部1
7	いなりやまごいせき 稲荷山V遺跡 第4地点	みどり市笠懸 町鹿	市教委 萩谷千明	個人専用住宅建築・22	平30.11.14 ～平30.11.19	遺構なし
8	さいしかだ 西鹿田グリーンパーク 第1工区	みどり市笠懸 町西鹿田	市教委 萩谷千明	西鹿田グリーンパーク造成工事・91	平30.12.3 ～平30.12.12	遺構なし
9	かかわいせきだいに 鹿の川遺跡第5地点	みどり市笠懸 町鹿	市教委 萩谷千明	宅地造成・48	平30.12.17 ～平30.12.21	遺構なし
10	さいしかだ 西鹿田グリーンパーク 第2工区 (清水北口遺跡第3地点、 向山遺跡第8地点 を含む)	みどり市笠懸 町西鹿田	市教委 萩谷千明	西鹿田グリーンパーク造成工事・584	平31.1.15 ～平31.2.26	清水北口遺跡第3地点 縄文住居1・土坑3、向山遺跡第8地点縄文住居5・土坑100以上、周知された遺跡外の2か所遺構なし

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
11	吉ノ入遺跡	みどり市大間々町浅原	市教委 萩谷千明	太陽光発電施設 建築・138	平31.2.22 ～平31.2.25	遺構なし
1	吉岡町 なつかい七 日市遺跡	吉岡町大字大久保字七日市	町教委 白石光男	地域関連道路事業 駒寄スマートIC関連・426.3	平30.10.9 ～平30.12.10	古代住居4、古代鍛冶炉2、古代集石1、近代溝13、
1	下仁田町 よしぎいせき 吉崎遺跡	下仁田町大字吉崎字宮畑	下仁田町歴史館長 秋池 武	その他開発・ 160.0	平30.4.27	遺構検出されず
2	あらふねふうけつせんしゆちよどうしよ 荒船風穴壺種貯蔵所 跡	下仁田町大字南野牧字屋敷	下仁田町歴史館長 秋池 武	史跡保存整備・ 10.0	平30.6.22 ～平30.12.20	番舎池の詳細調査と石積み修復
3	まやまこふんぐん 馬山古墳群	下仁田町大字馬山字杣瀬	下仁田町歴史館長 秋池 武	その他開発・ 42.0	平30.8.27	遺構検出されず
4	まやまこふんぐん 馬山古墳群	下仁田町大字馬山字山際	下仁田町歴史館長 秋池 武	その他開発・ 79.0	平30.8.28 ～平30.8.29	住居跡5(古代1、中世1)
5	もとじやくいせき 本宿遺跡	下仁田町大字本宿字細ヶ糸	下仁田町歴史館長 秋池 武	その他開発・ 368.4	平30.9.26 ～平30.10.4	住居跡5、土坑10、ピット6、溝2
6	まやまこふんぐん 馬山古墳群	下仁田町大字馬山字下之平	下仁田町歴史館長 秋池 武	道路改良・24.0	平31.1.16	遺構検出されず
7	こんごうざいせき 金剛堂遺跡	下仁田町	金剛堂遺跡研究会 麻生敏隆	学術調査・4.0	平30.4.28 ～平30.4.30、 平30.10.28	石器25点
1	ながの ほんらまち 長野原町 たつしし いせき 立石遺跡	長野原町大字大津字立石	町教委 細川剛史	個人住宅・67.5	平30.4.6 ～平30.4.20	縄文土坑3
2	うまの いち いせき 上野 I 遺跡	長野原町大字横壁字上野	町教委 富田孝彦	土地改良・5,000	平30.5.10 ～平30.10.12	縄文土坑8、古代住居5、陥し穴36
3	よこがわかつめさん いせき 横壁勝沼Ⅲ遺跡	長野原町大字横壁字勝沼	町教委 富田孝彦	土地改良・2,000	平30.5.10 ～平30.8.28	古代住居1、近世～近現代水田1・石垣4
4	よこがわかつめさん いせき 横壁勝沼Ⅱ遺跡	長野原町大字横壁字勝沼	町教委 富田孝彦	土地改良・3,000	平30.5.16 ～平30.8.30	古代陥し穴12
5	うまの に いせき 上野Ⅱ遺跡	長野原町大字横壁字上野	町教委 富田孝彦	土地改良・ 11,000	平30.7.11 ～平30.12.28	縄文住居2・土坑6、弥生土坑1、古代住居5・陥し穴97・畑1
6	い や いわかげぐん 居家以岩陰群	長野原町大字長野原字居家以	國學院大學 谷口康浩	学術調査・30	平30.8.23 ～平30.9.21	縄文土坑
7	やまね いせき 山根Ⅲ遺跡	長野原町大字横壁字山根	町教委 富田孝彦	土地改良・ 12,000	平30.8.29 ～平30.12.18	縄文土坑3、時期不明陥し穴5
8	やまね いせき 山根Ⅴ遺跡	長野原町大字横壁字山根	町教委 富田孝彦	土地改良・96	平30.9.10 ～平30.9.26	縄文水場遺構1
9	あかばね いせき 赤羽根遺跡	長野原町大字大津字赤羽根	町教委 富田孝彦	太陽光発電所・ 11,644	平30.10.2 ～平30.12.27	古代住居1、近世道路2
10	ながうね に いせき 長畝Ⅱ遺跡	長野原町大字与喜屋字長畝	町教委 細川剛史	駐車場・54.4	平30.10.15	遺構・遺物なし
11	はらなかほら いせき 林中原Ⅰ遺跡	長野原町大字林字中原	町教委 細川剛史	町営住宅・150	平30.12.3 ～平30.12.6	縄文土坑3
1	みなかみ町 しのだ いせき 後田遺跡	みなかみ町師	早稲田大学 長崎潤一	学術研究・48	平30.10.4 ～平30.10.10	旧石器集中、古墳～平安住居
1	おおいずみまち 大泉町 よしぎいせき 吉田遺跡	大泉町吉田	町教委 関本寿雄 久間田一樹	集合住宅2棟・ 753	平30.9.12	溝1、耕作痕3
3	おおいずみまちあいのほら 大泉町間之原・ かたまち いせき 柳町遺跡	大泉町城之内	町教委 関本寿雄 久間田一樹	都市計画道路 上小泉古海線・ 2,120	平30.8.1 ～平30.8.2	間之原：小泉城土塁 柳町：一部工作機の痕、溝、不成形広がり、ピット確認

※群馬県埋蔵文化財調査事業団の発掘調査は「Ⅱ事業概要1 発掘調査事業概要」参照

2 平成30年度群馬県内整理事業一覧

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	群馬県教育委員会 文化財保護課 上野国分寺跡	県教委 橋本 淳	平30.7.26 ～平31.3.31	平30.6.7 ～平31.7.25	古代寺院・南大門・東辺外郭溝
1	前橋市 上野国府跡	市教委 阿久沢智和 村越純子	平31.1.7 ～平31.3.29	平30.5.14 ～平30.12.27	古墳～平安住居跡16、古代掘立柱建物跡多数、古代道路跡10・古代溝跡3・国分尼寺の南限溝・古代井戸跡1、中世溝跡2、近世建物跡2・近世井戸跡11、土坑・ピット
2	元総社蒼海遺跡群(116) (123)	技研コンサル 前田和昭	平30.3.22 ～平31.2.28	平28.4.11 ～平28.10.6 (116) 平28.10.11 ～平29.3.3 (123)	縄文住居跡16、古墳～平安住居跡100・溝・堀跡12・井戸跡1・土坑・ピット
3	元総社蒼海遺跡群(127)	山下工業 永井智教	平30.10.23 ～平31.2.22	平30.8.8 ～平30.10.22	竪穴建物跡16、掘立柱建物跡1、基壇建物跡1、溝跡9、井戸5、性格不明遺構2、土坑
4	元総社蒼海遺跡群(128)	技研コンサル 岡野 茂	平30.11.1 ～平31.3.12	平30.9.10 ～平30.10.31	古墳～平安住居跡1・水田跡1・畠跡3・溝跡6・土坑・ピット
5	元総社蒼海遺跡群(129)	技研コンサル 土井道昭	平30.11.6 ～平31.3.12	平30.10.2 ～平30.11.5	竪穴遺構1、溝・堀7、井戸4、不明遺構2、土坑、ピット
6	元総社蒼海遺跡群(130)	技研コンサル 佐野良平	平30.11.6 ～平31.3.5	平30.9.10 ～平30.10.31	平安住居跡4・土坑墓2・溝・堀跡3
7	元総社蒼海遺跡群(131)	技研コンサル 佐野良平	平31.1.8 ～平31.3.27	平30.12.14 ～平31.1.7	古墳～平安住居跡5・溝・堀跡3・井戸跡1・土坑・ピット
8	天神風呂M地点遺跡	山下工業 青木利文	平30.12.28 ～平31.3.15	平30.12.14 ～平30.12.27	古墳～奈良竪穴建物3・掘立柱建物1・竪穴遺構1・ピット
9	南橋東原遺跡No.2	技研コンサル 佐野良平	平30.9.1 ～平31.3.20	平30.8.1 ～平30.8.28	古墳住居1・畠跡1・土坑・ピット
10	遠見山古墳	市教委 小川卓也	平31.1.26 ～平31.3.22	平30.10.2 ～平31.1.25	古墳1、井戸跡1
1	高崎市 榎高村北遺跡	歴史まほら 山崎芳春	平29.10.26 ～平30.3.30	平29.9.4 ～平29.10.25	古代竪穴建物8・土坑8・ピット21
2	上大類薬師遺跡2	毛野考研 日沖剛史	平29.11.8 ～平31.5.31	平29.10.16 ～平29.11.7	古代竪穴建物5、中世溝3
3	小八木薬研寺遺跡	毛野考研 伊藤順一	平29.11.16 ～平30.5.31	平29.10.23 ～平29.11.15	相馬ヶ原扇状地堆積物(上部)泥炭層、小動物生体痕
4	榎高南八幡街遺跡3	山下工業 青木利文	平30.1.11 ～平30.12.25	平29.11.13 ～平30.1.10	古代竪穴建物21・掘立柱建物2、中世堀2
5	飯塚村内遺跡	毛野考研 山本杏子	平30.3.30 ～平30.7.19	平30.2.24 ～平30.3.19	古墳島、古代竪穴建物2、中世～近世溝5
6	浜尻村西遺跡	市教委 飯島克巳	平30.4.1 ～平31.3.31	平10.4.1 ～平27.3.30	古墳～古代竪穴建物27・水田跡
7	高浜日輪遺跡2	市教委 飯島克巳	平30.4.1 ～平31.3.31	平29.10.23 ～平30.2.19	古墳～古代竪穴建物10・掘立柱建物1・溝1
8	下滝沢向遺跡	市教委 小根澤雪絵 茂木由行	平30.4.1 ～平31.3.27	平29.5.15 ～平29.6.12	古代～近世溝4
9	中泉十王堂遺跡3	技研コンサル 中村岳彦	平30.5.28 ～平30.8.30	平30.4.18 ～平30.5.22	古墳島・溝1、古代溝2、中世溝2
10	元島名中子遺跡	ノガミ 秋山真好 高尾将矢	平30.6.1 ～平30.9.20	平30.4.2 ～平30.5.31	中世掘立柱建物跡・溝9・土坑22
11	日高村主遺跡	測研 高林真人	平30.6.1 ～平30.11.30	平30.4.9 ～平30.5.31	弥生～古墳竪穴建物9・方形周溝墓1
12	剣崎東村遺跡	毛野考研 志村 哲 春里桃子	平30.6.1 ～平31.1.31	平30.4.16 ～平30.5.31	中世竪穴建物跡1、中世～近代掘立柱建物跡1・井戸1・溝1

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
13	かみなかいこうじんいせきご 上中居荒神遺跡 5	測研 櫻井和哉	平30.8.2 ～平30.12.20	平30.7.11 ～平30.8.1	古代水田跡
14	くらがのせんげんやまごふん 倉賀野浅間山古墳	市教委 矢島 浩 飯塚 誠	平30.9.5 ～平31.3.27	平30.7.11 ～平30.7.28 平30.9.3 ～平30.9.4	古墳中堤・外堀
15	かみさのふなぼしいせきろく 上佐野船橋遺跡 6	技研コンサル 小林一弘	平30.9.20 ～平30.12.21	平30.9.5 ～平30.9.25	古代水田跡
16	いづかおずみやしきいせき 飯塚葺屋敷遺跡	毛野考研 常深 尚	平30.9.29 ～平31.3.25	平30.9.18 ～平30.9.28	古代水田跡、中世溝1・ピット2
17	すがやたかほたいいせきに 菅谷高畑遺跡 2	毛野考研 春里桃子 宮本久子	平30.11.2 ～平31.4.30	平30.10.22 ～平30.11.1	古代竪穴建物3・土坑2
18	むらだかにしにいぼりいせき 棟高西新堀遺跡	技研コンサル 小林一弘	平30.12.1 ～平31.3.29	平30.11.12 ～平30.11.30	古代竪穴建物2
1	きりゆうし 桐生市 たけいしやうきんいせき 武井城Ⅲ遺跡	市教委 加部二生	平30.7.20 ～平31.3.28	平29.7.20 ～平29.10.31	古代竪穴建物跡7・掘立柱建物跡・土坑12
2	ふじみけヶ丘2遺跡	市教委 新井雅幸	平30.4.1 ～平31.3.20	平29.10.5 ～平29.10.18	縄文竪穴住居跡1・竪穴遺構1・土坑1、 時期不明溝状遺構1
3	みしまだいいせき 三島台遺跡	市教委 新井雅幸	平30.4.1 ～平31.3.20	平30.2.7 ～平30.2.16	縄文竪穴住居跡1・土坑1
4	どうじはらいせき 童子原遺跡	市教委 新井雅幸	平30.4.1 ～平31.3.20	平30.3.5 ～平30.3.7	縄文竪穴住居跡1
5	あらやしきまゐいせき 新屋敷前遺跡	市教委 新井雅幸	平30.4.1 ～平31.3.20	平30.2.19～ 平30.3.16	中世～近世堀状遺構1
1	いせき 伊勢崎市 にしのみわじんじやかいせき 西野諏訪神社丘遺跡	市教委 横澤真一	平30.4.22 ～平31.3.28	平28.5.9 ～平28.6.21	縄文土坑13、平安炭窯1
2	いせき 伊勢崎城跡	スナガ環測 権田友寿	平30.11.6 ～平31.3.15	平30.5.14 ～平30.8.31	中世溝5、近代建物跡2・防空壕2
3	しもむろこふんぐん 下茂呂古墳群	山下工業 永井智教	平30.11.13 ～平31.3.15	平29.12.14 ～平30.3.28	古墳1・古墳竪穴建物3
4	ほづみ まるやまのしにいせき 保泉・丸山東2遺跡	山下工業 永井智教	平30.12.5 ～平31.3.15	平30.11.10 ～平30.12.4	古墳溝1、土坑1、旧流路
1	おおたし 太田市 しんめいづかこふん 神明塚古墳	毛野考研 土生朗治 賀来孝代	平30.1.20 ～平30.7.31	平29.12.7 ～平30.1.20	古墳
2	こまがたじんじやはわかまあと 駒形神社埴輪窯跡	市教委 遠坂伸純 岩松大輔	平30.4.2 ～平31.3.29	昭62.4.5 ～昭62.7.8	古墳埴輪窯跡
3	いわまつせんざいにいせき 岩松千歳2遺跡	市教委 遠坂伸純 岩松大輔	平30.4.2 ～平31.3.29	平17.2.14 ～平17.12.12	平安集落
4	おおたし 太田市内遺跡	市教委 長谷川幸男 遠坂伸純 岩松大輔 静野勝信	平30.4.2 ～平31.3.29	平29.4.3 ～平30.3.30	
5	かみやまじょうあと 金山城跡	市教委 宮田 毅 石原由香	平30.4.2 ～平31.3.29	平18年度 ～平29年度	戦国山城
6	にったうけあと 新田郡家跡 (天長七堂同遺跡内)	市教委 島田孝雄 中村 涉 小宮俊久	平30.4.2 ～平31.3.29	平24年度 ～平28年度	飛鳥～平安 郡家
1	ぬまたし 沼田市 ぬまたじょうあと 沼田城跡	市教委 向出博之	平30.4.1 ～平31.3.31	平27.8.24 ～平27.9.18 平28.7.20 ～平28.9.29	近世城郭
1	たてぼやし 館林市 しんじやくにちようめいせき 新宿二丁目遺跡	市教委 宮田圭祐	平30.5.29 ～平31.2.29	平30.2.20 ～平30.2.26	—
2	さきはらいせき 笹原遺跡	市教委 宮田圭祐	平30.5.29 ～平31.2.29	平30.3.2 ～平30.2.26	古墳住居2

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
3	おおふくろごいせき 大袋5遺跡	市教委 宮田圭祐	平30.5.29 ～平31.2.29	平30.4.21 ～平30.5.3	性格不明遺構2
4	さきはらいせき 笹原遺跡	市教委 宮田圭祐	平30.6.27 ～平31.2.29	平30.6.5 ～平30.6.19	—
5	にほんまついせき 二本松遺跡	市教委 宮田圭祐	平30.12.3 ～平31.2.29	平30.9.19 ～平30.10.2	—
6	しんじゅくにちようめいせき 新宿二丁目遺跡	市教委 宮田圭祐	平30.12.3 ～平31.2.29	平30.10.16 ～平30.10.23	溝1、水路跡
7	あおやまやしき 青山屋敷	市教委 宮田圭祐	平30.12.3 ～平31.2.29	平30.10.26 ～平30.11.2	溝1、土坑5
8	あおやまやしき 青山屋敷	市教委 宮田圭祐	平30.12.3 ～平31.2.29	平30.10.26 ～平30.11.2	土坑1
1	しづかわし 澁川市 高源地東遺跡3	市教委 萩原俊樹	平30.4.1 ～平31.3.31	平25.5.1 ～平25.5.24	古代竪穴建物2・竪穴遺構1
2	からさわいせきだいじゅうじ 空沢遺跡第16次	市教委 萩原俊樹	平30.4.1 ～平31.3.20	平29.1.10 ～平29.3.2	縄文中期敷石住居1・土坑多数、古代竪穴建物1
3	あきやいぬこづかいせきに 吹屋犬子塚遺跡2	市教委 萩原俊樹	平30.4.1 ～平31.3.31	平26.5.27 ～平26.7.31	古墳放牧地
4	はつさきにしのむらいせき 八崎西ノ平遺跡	市教委 萩原俊樹	平30.4.1 ～平31.3.31	平27.8.3 ～平27.9.18	古代竪穴建物4・掘立柱建物跡5・土坑6・ピット多数・縄文土坑1
5	はちまんじんじやいせきに 八幡神社遺跡2	市教委 萩原俊樹	平30.4.1 ～平31.3.31	平29.5.30 ～平29.6.24	古墳(Hr-FP直下)平地式建物1・平地式構造物1・畠跡・道跡・馬蹄痕
1	ふじおかし 藤岡市 さまかわえんがんちくいせきぐん 笹川沿岸地区遺跡群	市教委 針谷友規	平30.4.13 ～平31.3.29	平26.6.2 ～平29.3.24	竪穴住居跡864、溝58、土坑・ピット多数
2	しろいしきたはらいせき 白石北原遺跡	市教委 文挾健太郎	平17.4.1 ～平31.3.31	平12.9.1 ～平13.2.27	縄文中期末～後期初頭環状集落
3	なかくりすこうみょういせき 中栗須光明遺跡	毛野研 伊藤順一 李スルチョロン 松田政基	平29.10.14 ～平30.7.10	平29.9.25 ～平29.10.13	古代の大型竪穴住居跡および掘立柱建物跡、土坑・ピット31
4	やちふいせき 谷地F遺跡	パリノ・サーヴェイ 高野和弘	平30.6.29 ～平31.3.15	平29.10.10 ～平29.12.13	縄文後期の竪穴状遺構1、配石遺構1、近世の溝および畝間
1	とみおかし 富岡市 おびょうしなかにらいせき 大牛中原遺跡	市教委 清水 司	平30.4.1 ～平31.3.31	平25.5.1 ～平25.10.7、 平25.12.10 ～平26.3.14、 平26.4.17 ～平25.9.30、 平26.12.15 ～平27.3.25	縄文住居95・土坑400・竪穴状遺構1、弥生住居8・竪穴状遺構2、古代住居12・道路状遺構2・溝跡1・土坑4・木棺墓1・木炭窯1
2	しせきせうとみおかせいしじょう 史跡旧富岡製糸場	市教委 水谷貴之 津金澤吉茂	平30.4.1 ～平31.3.31	平25.1.21 ～平25.3.25、 平25.10.9 ～平26.1.24、 平26.7.22 ～平26.11.27、 平27.5.7 ～平28.3.24、 平28.6.14 ～平29.3.24 29.5.8 ～平30.3.27	近現代 西置繭所周囲・旧研究所跡・水溜跡・工女寄宿舎跡・病室跡・候門所跡・煉瓦造排水溝・土管・溝跡・便所15 周囲便槽外部・診療所北建物跡・囲炉裏跡・煉瓦組燃焼施設・煉瓦組便槽・コンクリート便槽・乾燥場・繭扱場・レール・軌道跡・廃棄土坑
1	あんなかし 安中市 にしよこのせいぶちくいせきぐん 西横野西部地区遺跡群	市教委 井上慎也	平30.4.20 ～平31.3.22	平25 ～平29年度	縄文中期集落、古代溝(牧区画)、近世妙義道等
2	かいりゆうじにいせき 海竜寺II遺跡	毛野考研 伊藤順一	平30.4.2 ～平31.3.22	平29.11.13 ～平30.2.9	縄文包含層、古墳住居10、古代住居3、中世掘立柱建物・溝・地下式坑・土坑等

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
3	くらんどじょうあと 蔵入城跡	測研 高林真人	平29.5.22 ～平30.5.31	平29.4.4 ～平29.5.19	中世山城
1	みどり市 あぞみいせき 阿左美遺跡	市教委 萩谷千明	平30.4.24 ～平31.3.31	平30.4.16 ～平30.4.23	既調査済み縄文土坑1 (昭和58年調査)
2	どうざんのちのびしえーいせき 銅山道東A遺跡	市教委 萩谷千明	平30.6.13 ～平31.3.31	平30.6.12	遺構なし
3	おおほたいいせきだいにちてん 大畑遺跡第2地点	市教委 萩谷千明	平30.7.18 ～平31.3.31	平30.7.12 ～平30.7.17	遺構なし
4	とらくぼえーいせき 寅久保A遺跡	市教委 萩谷千明	平30.9.18 ～平31.3.31	平30.9.7 ～平30.9.14	遺構なし
5	いぬめいせき 犬目遺跡	市教委 萩谷千明	平30.10.11 ～平31.3.31	平30.9.28 ～平30.10.10	縄文住居2、柱穴遺構2
6	もとやしきいせきだいにちてん 元屋敷遺跡第13地点	市教委 萩谷千明	平30.11.2 ～平31.3.31	平30.10.26 ～平30.11.1	中近世柱穴遺構64、長方形土坑、竪穴 遺構の一部
7	いなりやまごいせきだいにちてん 稲荷山V遺跡第4地点	市教委 萩谷千明	平30.11.20 ～平31.3.31	平30.11.14 ～平30.11.19	遺構なし
8	さいしかだ 西鹿田グリーンパーク第1工区	市教委 萩谷千明	平30.12.13 ～平31.3.31	平30.12.3 ～平30.12.12	遺構なし
9	かかわいせきだいにちてん 鹿の川遺跡第5地点	市教委 萩谷千明	平30.12.25 ～平31.3.31	平30.12.17 ～平30.12.21	遺構なし
10	さいしかだ 西鹿田グリーンパーク第II工区 (清水北口遺跡第3地点、 むこうやまいせきだいにちてん 向山遺跡第8地点を含む)	市教委 萩谷千明	平31.2.27 ～平31.3.31	平31.1.15 ～平31.2.26	清水北口遺跡第3地点 縄文住居1・土 坑3、 向山遺跡第8地点 縄文住居5・土坑 100以上、 周知された遺跡外の2か所 遺構なし
11	よしのいりいせき 吉ノ入遺跡	市教委 萩谷千明	平31.2.26 ～平31.3.31	平31.2.22 ～平31.2.25	遺構なし
1	よしおかまち 吉岡町 なつかいせき 七日市遺跡	町教委 白石光男	平30.12.10 ～平31.3.20	平30.10.9 ～平31.3.20	古代住居4、古代鍛冶炉2、古代集石1、 近代溝13、
1	しもたたまち 下仁田町 よしざきいせき 吉崎遺跡	下仁田町歴史館長 秋池 武	平30.4.27	平30.4.27	遺構検出されず
2	あらかうほうつさんしゆちよぞうしよあと 荒船風穴蚕種貯蔵所跡	下仁田町歴史館長 秋池 武	平30.6.22 ～平30.12.20	平30.6.22 ～平30.12.20	番舎池の詳細調査と石積み修復
3	まやまこふんぐん 馬山古墳群	下仁田町歴史館長 秋池 武	平30.8.27	平30.8.27	遺構検出されず
4	まやまこふんぐん 馬山古墳群	下仁田町歴史館長 秋池 武	平30.8.28 ～平30.8.29	平30.8.28 ～平30.8.29	住居跡5(古代1、中世1)
5	もとむくいせき 本宿遺跡	下仁田町歴史館長 秋池 武	平30.9.26 ～平30.10.4	平30.9.26 ～平30.10.4	住居跡5、土坑10、ピット6、溝2
6	まやまこふんぐん 馬山古墳群	下仁田町歴史館長 秋池 武	平31.1.16	平31.1.16	遺構検出されず
1	ながのほらまち 長野原町 まちいせき 町遺跡	町教委 富田孝彦	平30.4.2 ～平31.3.29	平25.9.24 ～平25.11.12	近世天明畑1・屋敷跡1・道1・溝6・ 炉跡1
2	まちいせき さんじ 町遺跡(3次)	町教委 富田孝彦	平30.4.2 ～平31.3.29	平28.12.13 ～平29.3.30	近世屋敷跡1・溝7・井1
3	はしなかはらいちいせきじゆうじ 林中原I遺跡(12次)	町教委 富田孝彦	平30.4.2 ～平31.3.29	平19.4.11 ～平19.6.28	縄文住居3・配石遺構10
4	はしなかはらいちいせきじゆうじ 林中原I遺跡(16次)	町教委 富田孝彦	平30.4.2 ～平31.3.29	平19.10.8 ～平19.12.24	縄文土坑11
5	たつしいせき 立石遺跡	町教委 細川剛史	平30.4.23 ～平30.4.27	平30.4.6 ～平30.4.20	縄文土坑3
6	うえのいちいせき 上野I遺跡	町教委 富田孝彦	平31.1.8 ～平31.3.26	平30.5.10 ～平30.10.12	縄文土坑8、古代住居5、陥し穴36
7	よこべつかわつめさんいせき 横勝沼III遺跡	町教委 富田孝彦	平31.1.8 ～平31.3.26	平30.5.10 ～平30.8.28	古代住居1、近世～近現代水田1・石垣 4

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
8	よこがべかつぬまに いせき 横壁勝沼Ⅱ遺跡	町教委 富田孝彦	平31.1.8 ～平31.3.26	平30.5.16 ～平30.8.30	古代陥し穴12
9	うまの に いせき 上野Ⅱ遺跡	町教委 富田孝彦	平31.1.8 ～平31.3.26	平30.7.11 ～平30.12.28	縄文住居2・土坑6、弥生土坑1、古代住居5・陥し穴97・畑1
10	やまねさん いせき 山根Ⅲ遺跡	町教委 富田孝彦	平31.1.8 ～平31.3.26	平30.8.29 ～平30.12.18	縄文土坑3、時期不明陥し穴5
11	やまねご いせき 山根Ⅴ遺跡	町教委 富田孝彦	平31.1.8 ～平31.3.26	平30.9.10 ～平30.9.26	縄文水場遺構1
12	あかぼね いせき 赤羽根遺跡	町教委 富田孝彦	平31.1.8 ～平31.3.26	平30.10.2 ～平30.12.27	古代住居1、近世道路2
13	はやしなかはらいちいせきじゆうじ 林中原Ⅰ遺跡(18次)	町教委 細川剛史	平30.12.10 ～平30.12.21	平30.12.3 ～平30.12.6	縄文土坑3
1	しょうわむら 昭和村 いとみやのまえ いせき 糸井宮ノ前遺跡	村教委 石北直樹	平30.4.1 ～平31.3.30	平7.4.1 ～平7.30、 平8.1 ～平9.30、 平9.8.11 ～平9.12.20	縄文住居5・土坑82、古墳住居35、奈良・平安住居33、小鍛冶1
1	おおいずみ 大泉町 せんごくせんこうじふきん いせき 仙石専光寺付近遺跡	町教委 関本寿雄 渡辺智文	平30.10.1 ～平31.3.31	昭62.8 ～平3.3	住居址、土坑、古墳、溝、井戸址、小竪穴検出

※群馬県埋蔵文化財調査事業団の整理事業は「Ⅱ事業概要2 整理事業概要」参照

3 平成30年度群馬県内報告書一覧

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
1	群馬県教育委員会文化財保護課 群馬県内公共開発に伴う平成29年度 県内遺跡発掘調査報告書	安中334遺跡・下高田白山 遺跡・綿貫41遺跡など	試掘・確認調査	平31.3.31
1	群馬県埋蔵文化財調査事業団 林中原Ⅱ遺跡(3)	林中原Ⅱ遺跡	縄文土器・土偶・石器、弥生土器・石器、中世～近・ 近現代陶磁器・金属器・銭貨・石製品、弥生住居2・ 竪穴状遺構2・埋設土器1・土坑3・ベンガラ集中 遺構2・弥生集中遺構2、中世～近世・近現代掘立 柱建物3・礎石建物3・石垣遺構2・道状遺構1・ 井戸2・土坑107・溝2・土坑墓1・集石2・焼土 15・土坑115	平31.2.15
2	中棚Ⅰ遺跡	同左	縄文土器・石器、平安竪穴建物5、中近世掘立柱建 物4・柵1・溝1・集石3・土坑53・小穴218・焼 土4・土器・陶磁器・銭、中近世墓坑・陶磁器・金属 器、近世陶磁器	平31.2.15
3	下原遺跡(3)	下原遺跡	縄文竪穴建物2・土坑12・埋甕3・土器・石器、平 安竪穴建物1・土器・石器、中近世掘立柱建物6・ 礎石建物1・土坑19・墓3・ピット87・畑1・焼土 遺構7・土器・陶磁器・人骨・古銭・金属器・石製品、 近世水田4・畑10・道13・溝4・暗渠3・ヤックラ 5・炭化物集中部5・土器・石製品・古銭・金属器	平31.2.15
4	西ノ上遺跡(2)	西ノ上遺跡	縄文掘立柱建物2・土坑82・ピット23・土器・石器、 弥生土器・石器、近世畑33・復旧坑236・平坦面12・ヤッ クラ12・道12・溝1・溝状遺構1・石垣3・炭窯2・ 焼土遺構8・陶磁器・金属器・石製品	平31.2.15
5	西久保Ⅰ遺跡(2)・西久保Ⅴ遺跡	西久保Ⅰ遺跡/同左	西久保Ⅰ遺跡 平安土師器・江戸時代陶器 西久保Ⅴ遺跡 縄文・弥生遺物集中分布、近世以前 土坑1、近世水田跡	平31.3.14
6	下瀨名遺跡	同左	古代竪穴建物2・土器・石製品、中世ピット1・銅銭、 時期不明溝1・土坑15・ピット26・土器・陶磁器・ 石製品・金属製品・銅銭	平30.10.4
7	武井峯岸Ⅴ遺跡	同左	旧石器石器集中部2・石器・礫、縄文Ⅰ竪穴建物1・ 土器・石器、古墳方形周溝墓・土器、時期不明溝1・ 土坑1	平31.2.28
8	前畑Ⅰ遺跡	同左	縄文土器・石器、縄文竪穴建物・竪穴状遺構5、古 墳竪穴建物15、土坑105、近世溝1・ピット150・陶 磁器	平31.3.20
9	金井東裏遺跡(古墳時代編)	金井東裏遺跡	古墳竪穴建物33・平地建物10・掘立柱建物1・竪穴 状遺構2・古墳2・祭祀遺構5・方形周溝遺構1・ 畠14・道19・集石12・焼土11・土坑41・ピット35・ 畦状遺構6・ヒト足跡852・馬蹄跡952・人骨4体・ 小札甲2・衝角付冑・鹿角製小札50・銀・鹿角併用 装鉢、鹿角装鉢25、祭祀遺構土器約900・祭具(玉類 約80・ガラス玉約200・石製模造品約150・鉄器約 180・白玉約9,900)	平31.3.15
10	厚田中村遺跡	同左	古墳時代後期水田1・溝1、平安時代後期水田・畠・ 溝14・柱穴列4・ピット4、近世水田・畑・溝7	平30.10.16
11	宮貝戸遺跡	同左	縄文土器、古代竪穴建物1・竪穴状遺構1・土坑3・ 谷3・土器、古代～中世土坑6・ピット12・溝1、 中世竪穴状遺構3・掘立柱建物3・柵1・土坑17・ピッ ト17・溝1、中世～近世土坑33・溝1・耕作痕1・ 陶磁器、近世耕作痕2、近世～近代溝1・耕作痕9	平30.11.21
12	台遺跡	同左	古墳竪穴建物5・平地建物1・土坑1、中近世掘立 柱建物2・火葬土坑1・溝19・井戸4・土坑108・ピッ ト122	平31.3.20

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
13	なのかいちじんやいせき 七日市陣屋遺跡 なのかいちこまんとん 七日市古墳群 こばら遺跡 かみきとりみょうじんまえいせき 上佐鳥明神前遺跡 (前橋市0934遺跡)	同左	七日市陣屋遺跡・七日市古墳群 縄文土器・石器、古墳周溝1・中・近世掘立柱建物2・土坑40・墓3・柵列1・ピット134・井戸2・溝1・耕作溝17 小原遺跡 近代陶器、近世～近代溝4、時期不明土坑10・ピット26 上佐鳥明神前遺跡(前橋市0934遺跡)弥生土器、古墳土器、平安水田1、中世溝2	平31.3.20
1	まえばし 前橋市 すいでいこうざつこくふ 推定上野国府～平成29年度調査報告～	上野国府	古墳住居1、古代住居28・掘立柱建物2・溝12・道路跡1・落ち込み1・土坑・ピット、中近世溝3・井戸1・土坑・ピット等	平31.3.22
2	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(116) (123)	同左	縄文住居跡16、古墳～平安住居跡100・溝・堀12・井戸跡1・土坑・ピット	平31.2.28
3	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(127)	同左	竪穴建物跡16、掘立柱建物跡1、基壇建物跡1、古代道路跡1、溝跡9、井戸5、性格不明遺構2、土坑	平31.3.22
4	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(128)	同左	古墳～平安住居跡1・水田跡1・畠跡3・溝跡6・土坑・ピット	平31.3.12
5	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(129)	同左	竪穴状遺構1、溝・堀跡7、井戸4、不明遺構2、土坑、ピット	平31.3.5
6	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(130)	同左	平安住居跡4・土壌墓・溝・堀跡3	平31.3.21
7	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(131)	同左	古墳～平安住居跡5・溝・堀跡3・井戸跡1・土坑・ピット	平31.3.27
8	てんじんぶろえむちでんいせき 天神風呂M地点遺跡	同左	古墳～奈良竪穴建物3・掘立柱建物1・竪穴遺構1・ピット	平31.3.27
9	なんきつひらばらいせきぐん 南橋東原遺跡No.2	同左	古墳住居1・畠跡1・土坑・ピット	平31.3.20
1	たかさし 高崎市 むなだかむらきたいせき 棟高村北遺跡	同左	古代竪穴建物8・土坑8・ピット21	平30.4.27
2	かみおおるいやくしいせき 上大類薬師遺跡2	同左	古代竪穴建物5、中世溝3	平30.5.31
3	こやぎやげんじいせき 小八木薬研寺遺跡	同左	相馬ヶ原扇状地堆積物(上部)泥炭層、小動物生体痕	平30.5.31
4	いづかむらうちいせき 飯塚村内遺跡	同左	古墳島、古代竪穴建物2、中世～近世溝5	平30.7.31
5	なかいほみじゅうどういせきぐん 中泉十王堂遺跡3	同左	古墳島・溝1、古代溝2、中世溝2	平30.8.30
6	もとじま ななかごいせき 元島名中子遺跡	同左	中世掘立柱建物跡・溝9・土坑22	平30.9.10
7	かみなかいこうじんいせき 上中居荒神遺跡5	同左	古代水田跡	平30.12.20
8	ひだかむらぬしいせき 日高村主遺跡	同左	弥生～古墳竪穴建物9・方形周溝墓1	平30.12.21
9	かみさのふねばしいせき 上佐野船橋遺跡6	同左	古代水田跡	平30.12.21
10	けんざきむらいらいせき 剣崎東村遺跡	同左	中世竪穴建物跡1・掘立柱建物跡1・井戸1・溝1	平31.1.31
11	むなだかみなみはちまんかいどういせきぐん 棟高南八幡街道遺跡3	同左	古代竪穴建物21・掘立柱建物2・中世堀2	平31.2.19
12	しなにいせき 市内遺跡	同左	市内確認・試掘調査、工事立会	平31.3.20
13	いづかむらみやしいせき 飯塚単屋敷遺跡	同左	古代水田跡、中世溝1・ピット2	平31.3.25
14	しもたきざわむらいらいせき 下滝沢向遺跡	同左	古代～近世溝4	平31.3.27
15	くらがのせんげんやまこ古墳 倉賀野浅間山古墳	同左	古墳中堤・外堀	平31.3.27
16	むなだかにしにいぼりいせき 棟高西新堀遺跡	同左	古代竪穴建物跡2	平31.3.29
17	たごくんとしやうせうと 多胡郡正倉跡	同左	古代総柱礎石建物・正倉院外周区画溝・土橋	平31.3.29

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
18	はまじりむらにし いせき 浜尻村西遺跡	同左	古墳～古代竪穴建物27・水田跡	平31.3.31
19	たかはまにっばい いせき 高浜日輪遺跡2	同左	古墳～古代竪穴建物10・掘立柱建物1・溝1	平31.3.31
1	いせきし 伊勢崎市 平成28年度 市内遺跡確認調査報告書	西太田遺跡他53遺跡	確認調査等	平31.3.15
2	いせきじょうあといち 伊勢崎城跡1	伊勢崎城跡	中世溝5、近代建物跡2・防空壕2	平31.3.15
3	ほすみ まるやまびがしに いせきに 保泉・丸山東2遺跡2	保泉・丸山東2遺跡	古墳溝1、土坑1、旧流路	平31.3.15
4	にし の す わ じんじやうかい いせき 西野諏訪神社丘遺跡	同左	縄文土坑13、平安炭窯1	平31.3.28
1	おおたし 太田市 神明塚古墳	同左	工場建設に伴う発掘調査	平30.7.31
2	しな い いせき 市内遺跡14	同左	平成29年度の市内遺跡確認調査	平31.3.20
3	しせきこうげのくににたつたぐうけあと 史跡上野国新田郡家跡	新田郡家跡 (天良七堂同遺跡内)	平成24年度～平成28年度に実施した確認調査と総括	平31.3.29
4	いわまつせんざいに いせき 岩松千歳2遺跡	同左	尾島親水公園造成工事に伴う発掘調査	平31.3.29
1	たてばやし 館林市 第56集 館林市内遺跡発掘調査報告書	新宿二丁目遺跡 笹原遺跡	土坑8、性格不明遺構1 土坑2	平31.3.1 平31.3.1
1	しばかわし 渋川市 渋川市内遺跡12	久保貝道東遺跡 K0045遺跡 K0076遺跡 諏訪ノ木遺跡群 半田薬師遺跡群Q地点 八木原沖田遺跡 城山遺跡 金井遺跡群 石原西浦遺跡 中組遺跡 北牧大境遺跡 小室高田遺跡 上三原田日向遺跡 半田薬師遺跡群R地点 真壁諏訪遺跡 有馬条里跡 谷津遺跡 金井諏訪古墳群 有馬寺畑遺跡2 金井鳥頭平遺跡	平成29年度市内遺跡範囲確認調査報告 平成26年度市内遺跡範囲確認調査報告 平成28年度本発掘調査	平31.3.20
2	からさわい いせきだいにじゅうじくしゅうき 空沢遺跡第16次調査	空沢遺跡第16次VI地点	縄文敷石建物1・平安竪穴建物2等	平31.3.20
1	ふじおかし 藤岡市 C59 中栗須光明遺跡	中栗須光明遺跡	群馬ヤクルト販売店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	平30.7.10
2	しな い いせき 市内遺跡25		平成30年度市内開発に伴う試掘確認調査	平31.3.15

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
3	群馬県藤岡市 谷地F遺跡	谷地F遺跡	公立藤岡総合病院導入路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	平31.3.29
1	富岡市 平成28・29年度 富岡市内遺跡確認調査報告書	七日市小沢西遺跡 T255遺跡 T93遺跡 T273遺跡 上高田鵞越遺跡 T76遺跡 七日市陣屋跡 富岡坪之内遺跡 下高田本村遺跡群高鳥井遺跡 富岡小舟遺跡 下高田押出遺跡 上高瀬境谷戸遺跡 宇田・一ノ宮遺跡群一ノ宮東丹生森遺跡 T27遺跡 中高瀬毛穴中遺跡 七日市古墳群 一ノ宮本宿・郷土遺跡 宇田・一ノ宮遺跡群宇田中寺田遺跡・宇田恵下原遺跡 桐湖古墳群、小野広畑遺跡	縄文住居2・土坑2、古墳住居27・溝3・土坑3・古墳1、古代住居90・溝4・土坑223・水田跡1、中世溝3・水田跡2、近現代土坑1	平31.3.25
2	富岡清水遺跡2	富岡清水遺跡	古代住居4・畠跡1	平31.1.31
3	富岡坪之内遺跡Ⅱ	富岡坪之内遺跡	古代住居5・溝3・土坑4・ピット2、中世掘立25・柵列3・溝27・井戸1・土坑46・ピット443・畑跡1	平30.12.14
4	大牛中原遺跡(松義西部地区遺跡群Ⅱ)	大牛中原遺跡	縄文住居92・掘立4・土坑530・列石1、弥生住居8、古墳1、古代住居12・溝1・土坑5・木棺墓1	平31.3.22
5	史跡旧富岡製糸場内容確認調査報告書3	史跡旧富岡製糸場	近現代貯水池1・水門1・溝1・甘楽用水富岡南支線施設1・下水竇1級研究施設関連建物2・燃焼施設関連煉瓦組施設1・配水関連煉瓦施設1・便所1	平31.3.22
1	安中市 蔵人城跡	同左	中世山城	平31.5.31
2	海電寺Ⅱ遺跡	同左	縄文包含層、古墳住居10、古代住居3、中世掘立柱建物・溝・地下式坑・土坑等	平31.3.22
1	みどり市 みどり市内遺跡8	稲荷山第2地点 高松A遺跡第18地点 山西遺跡第2地点 西鹿田中島遺跡第5地点	遺構なし 縄文住居1・土坑・柱穴状遺構4 遺構なし 古代住居2・土坑4・近世溝	平31.3.25
1	吉岡町 七日市Ⅲ遺跡	七日市遺跡	古代住居4、古代鍛冶炉2、古代集石1、近代溝13、	平31.3.20
1	下仁田町 荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書8	荒船風穴蚕種貯蔵所跡	番倉池の詳細調査と石積み修復、支障木の伐採、整備工事実施設計、観測結果、見学者広場整備	平31.3.29

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
2	こんごうがゆいせき せいせつきぶんか 金剛萱遺跡の旧石器文化4-2017・2018	金剛萱遺跡	金剛萱遺跡研究会が実施した旧石器時代の遺跡調査に関わる報告書。石器集中部が検出。	平31.3.31
1	ひしあがつままち 東吾妻町 ひしあがつままち いせきぶんぶちず 東吾妻町遺跡分布地図 ちやうない いせきしやうざいぶんぶちやうさほうこくしよ 一町内遺跡詳細分布調査報告書		町内遺跡の分布地図	平31.3.25
1	ながのほらまち 長野原町 ちやうない いせきしやうざいぶんぶちやうさほうこくしよ 町内遺跡Ⅺ	山根Ⅲ遺跡 山根Ⅳ遺跡 上野Ⅱ遺跡 上野Ⅰ遺跡 壁勝沼Ⅱ遺跡 壁勝沼Ⅲ遺跡 坪井遺跡 林中原Ⅱ遺跡 小林家屋敷跡	平成29年度緊急発掘調査報告書	平31.2.28
2	ながのほらちく いせきぐん 長野原地区遺跡群	町遺跡	水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	平31.3.28
3	ながのほらちく いせきぐん 長野原地区遺跡群(2)	長野原城跡、東貝瀬Ⅲ遺跡、嶋木Ⅰ遺跡	水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	平31.3.28

4 平成30年度群馬県内県内現地説明会・関連行事一覧

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	群馬県教育委員会文化財保護課 歴史講演会	高崎市国府公民館	平30.10.21	県教委	「なぜ、この地に国分寺がつけられたのか-上野国分寺をとりまく歴史的環境-」	38
1	前橋市 「大室古墳(つか)の語り部」による古墳案内	大室公園・大室古墳群	平30.4.26ほか12回	市教委	市民ボランティア解説員による大室古墳群案内	277
2	大室古墳群公開・普及イベント2018	大室公園	平30.6.10	前橋市・市教委	『古墳、体験』のタイトルで古代体験やスタンプラリー	1,762
3	上細井中西部遺跡No.1 現地説明会	上細井地内発掘現場プレハブ事務所、発掘現場	平30.9.23	市教委	発掘された遺物の展示と解説。発掘現場の見学	65
4	新出土文化財展2018	総社歴史資料館2階展示室	平30.11.6～平30.11.18	市教委	平成29年度発掘調査における出土品の展示	621
5	前橋・高崎連携事業文化財展(前橋会場)	前橋プラザ元気21	平31.1.19～平31.1.28	前橋市・市教委	『災害を乗り越えた先人たち-考古学から見た災害と復旧の歴史-』のタイトルで出土品や遺物を展示	2,467
6	遠見山古墳現地説明会	遠見山古墳	平31.1.20	市教委	発掘現場の見学	91
1	高崎市 漆山古墳現地説明会	高崎市下佐野町	平30.9.2	市教委 専修大学	古墳時代・古墳	43
2	綿貫遺跡群現地説明会	高崎市綿貫町	平30.11.23	市教委	古墳時代・竪穴建物等	189
3	埋蔵文化財展	高崎市高松町	平31.1.19～平31.1.28	市教委・前橋市教委	平成30年度テーマ『災害を乗り越えた先人たち-考古学から見た災害と復興の歴史-』	1,150
4	上野国分寺現地説明会	高崎市東国分町	平31.3.3	市教委	尼坊規模確定等	260
1	伊勢崎市 パネル展-宮柴前遺跡-	市清掃りサイクルセンター 21	平30.4.1～平31.3.31	市教委	天明3年の浅間山大噴火により埋没した水田、畑、水路、人の足跡等の写真パネルを展示	
2	よみがえる古代の役所～復元!!八角形倉庫～	スマーク伊勢崎スマークホール	平30.9.22～平30.9.24	市教委	上野国佐位郡正倉跡八角形倉庫の復元模型を中心に出土遺物や周辺地域の官衙関連遺跡をパネルで展示	1,379
3	埋蔵文化財パネル展「伊勢崎市の遺跡・古代寺院篇」	赤堀歴史民俗資料館	平30.10.6～平30.11.9	市教委	上植木廃寺、十三宝塚遺跡のパネルを展示	560
4	埋蔵文化財パネル展「伊勢崎市の遺跡・古代寺院篇」	市民サービスセンター宮子	平30.11.19～平30.12.24	市教委	上植木廃寺、十三宝塚遺跡のパネルを展示	3,978
5	埋蔵文化財パネル展「伊勢崎市の遺跡・古代寺院篇」	市役所東館1F市民ホール	平31.1.7～平31.1.18	市教委	上植木廃寺、十三宝塚遺跡のパネルを展示	960
1	太田市 出前考古学教室	太田市立南小学校	平30.6.15	市教委	「歴史再発見～日本とつながる太田市～」をテーマとした講話	84
2	出前考古学教室	太田市立太田中学校	平30.6.22～平30.6.26	市教委	「古代の太田市」をテーマとした講話(6.25)と出土遺物の展示(6.22～6.26)	305
3	埋蔵文化財最新情報展	史跡金山城跡ガイダンス施設	平30.11.17～平31.1.27	市教委	「内ヶ島地域の古代のムラ」をテーマとして、川向・中西田遺跡の出土資料を展示	4,382
1	渋川市 榛名山の噴火痕跡を探る山巡りツアー第1回目	榛名山二ツ岳周辺	平30.6.2	市教委	榛名山二ツ岳の噴火痕跡巡り	30

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
2	榛名山の噴火痕跡を探る山巡りツアー第2回目	榛名山二ツ岳周辺	平30.11.11	市教委	榛名山二ツ岳の噴火痕跡巡り	17
3	榛名山の噴火痕跡を探る山巡りツアー第3回目	榛名山二ツ岳周辺	平30.11.23	市教委	榛名山二ツ岳の噴火痕跡巡り	11
4	金井遺跡群見学会・シンポジウム「古墳人からなにが見えるか」	金島ふれあいセンター	平30.8.19	市教委	○見学会：大木紳一郎氏・杉山秀宏氏(群馬県埋蔵文化財調査事業団職員)による群馬県埋蔵文化財調査事業団企画展の解説、金井東裏遺跡の現地説明 ○右島和夫氏(群馬県立歴史博物館館長)・舟橋京子氏(九州大学大学院比較社会文化研究院講師)・早田勉氏(火山灰考古学研究所所長)・内山敏行(とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター整理課副主幹)による金井遺跡群に関するシンポジウムとパネルディスカッション	見学会 45 シンポジウム 161
5	第18回縄文まつり	北橋歴史資料館	平30.10.13	第18回縄文まつり実行委員会	火おこし体験、石皿・磨石で粉ひき体験、鹿狩り体験、勾玉作り他	509
6	古代米づくり体験教室	半田早尾神社西端の水田、古巻公民館	平30.7.7・11.11・12.1	古代米作り体験教室実施委員会	古代米の田植え、稲刈り、収穫祭	209
1	藤岡市 夏季企画展「カイコの學び舎、そのつながりとまじわりとー高山社・競進社を中心にー」	藤岡歴史館	平30.7.21 ～平30.9.2	市教委	高山社・競進社を中心に、質・量ともに優れた糸を得るため研究をかさねた指導者たちのつながりを紹介	1,345
2	講演会 「高山社と競進社の競争と協調」	藤岡歴史館	平30.8.11	市教委	関口覚氏(郷土農業史研究者)による高山社と競進社のつながりに関する講演	35
3	秋季企画展 「神流川左岸の古墳」	藤岡歴史館	平30.10.6 ～平30.11.25	市教委	藤岡市の東縁・南縁を流れる神流川の左岸に位置する古墳群について遺物やパネルをもとに展示	2,968
4	現地見学会 「川除屋敷裏遺跡B地点 牛田廃寺」	藤岡市牛田・川除	平30.11.11	市教委	調査中である川除屋敷裏遺跡および牛田廃寺についての現地説明会	160
5	冬季企画展 「ふじおかの祭り」	藤岡歴史館	平31.1.19 ～平31.3.3	市教委	藤岡で受け継がれ、時代とともに変化してきた様々な祭りを紹介する展示	1,072
6	体験学習 「しの笛を作ろう」	藤岡歴史館	平31.2.16	市教委	冬季企画展の体験学習として、篠笛の製作体験を実施	7
7	体験学習 「三味線(長唄)の鑑賞」	藤岡歴史館	平31.2.16・24	市教委	冬季企画展の体験学習として、三味線による長唄の鑑賞会を実施	21
8	春季企画展 「平井地区1号古墳とその時代2」	藤岡歴史館	平31.3.23 ～平31.5.12	市教委	開館15周年を記念して、重要文化財である金銅装束鳳環頭大刀などを展示	2,176
1	富岡市 富岡市内出土品展	市立美術博物館	平31.2.8 ～2.17	市教委	平成30年度の市内の発掘調査及び整理作業の速報展、遺跡説明会・体験コーナーの併設	1,136
2	出土品でわかる富岡製糸場	富岡製糸場 首長館	平30.10.12 ～11.4	市教委	富岡製糸場発掘調査出土品・調査写真パネル・説明パネルの展示、展示説明会	21,888
3	戦国時代のくらし展	旧茂木家住宅	平30.4.24 ～5.27	市教委	「一ノ宮本宿・郷土遺跡」の中世遺物を展示し、茂木家住宅がつくられた時代の暮らしを紹介。4月30日の「旧茂木家つつじ祭り」において、展示説明会を実施	350

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	<small>あんなかし</small> 安中市 <small>やなせ せんだいごころん</small> 築瀬二子塚古墳現地説明会	安中市築瀬	平30.6.30	市教委	国指定史跡の答申を記念した古墳の現地説明会	286
1	<small>みどり市</small> 春期展示『みどり市の歴史と文化財』	岩宿博物館企画展示室	平30.4.28 ～平30.7.16	みどり市教委 (岩宿博)	市内の旧石器から近現代に至る文化財を展示	4,810
2	第67回企画展示 『石槍 時代を変えた石器のライフヒストリー』	岩宿博物館企画展示室	平30.10.6 ～平30.11.25	みどり市教委 (岩宿博)	石槍の出現から衰退までのライフヒストリーをとりあげた	3,244
3	岩宿収穫ムラまつり	岩宿遺跡・西鹿田中島遺跡	平30.11.11	みどり市教委 (岩宿博)	史跡岩宿遺跡と西鹿田中島遺跡の連携を図るとともに、遺跡が使用されていた当時の生活(弓矢、古代料理等)を体験する	1,202
4	第68回企画展示 『地中からのメッセージ-遺跡から読み解く"みどり市"の歴史-』	岩宿博物館企画展示室	平31.2.2 ～平31.3.17	みどり市教委 (岩宿博)	みどり市の歴史を、市内で確認される旧石器から近代までの遺跡から読み解く	1,315
1	<small>ながの はらまち</small> 長野原町 居家以岩陰群・現地説明会	長野原町大字長野原字居家以	平30.9.2	國學院大學・長野原町教育委員会	現地説明会	50
2	横壁地区遺跡群・町文化祭	長野原町大字長野原字与喜屋	平30.11.3	長野原町・株式会社歴史の杜	本年度調査遺跡の遺物展示・解説	129
3	上野Ⅰ・上野Ⅱ・現地説明会	長野原町大字横壁字上野	平30.11.17	長野原町・株式会社歴史の杜	現地説明会	30
1	<small>ひしがらつ ままぢ</small> 東吾妻町 <small>いわがの じょうぶと</small> 岩櫃城跡・第3回岩櫃城フォーラム	東吾妻町コンベンションホール	平31.2.24	東吾妻町・東吾妻町教育委員会	岩櫃城の城下町と主に武田氏領国内の城館・城下町を中心としたフォーラム	254
1	<small>しょうわむら</small> 昭和村 第60回昭和村文化祭	昭和村公民館	平30.11.22 ～平30.11.23	昭和村文化協会・昭和村公民館	昭和村の原始・古代	362
1	<small>たまむらまち</small> 玉村町 埴輪作り教室	玉村町文化センター	平30.7.27	町教委 (玉村町歴史資料館)	小学生対象(7.27)作品制作(8.16～8.19)作品展示	32
2	勾玉作り	玉村町文化センター	平30.8.8	町教委 (玉村町歴史資料館)	小学生対象勾玉作り	40
3	アンギン編み教室	玉村町文化センター	平30.8.22	町教委 (玉村町歴史資料館)	小学生対象アンギン編み教室	14
4	火おこし体験	玉村町文化センター	平30.12.27	町教委 (玉村町歴史資料館)	歴史資料館ミニ企画展「昔の道具展」関連行事	6
5	歴史講座	玉村町文化センター	①平31.2.23 ②平31.3.2 ③平31.3.9	町教委 (玉村町歴史資料館)	①江戸時代の著名人と玉村 ②東日本の古代鉄生産 ③上野の戦国地侍	302
6	玉村ふるさとわくわくスタンプラリー	玉村町内	平30.7.7 ～平31.2.24	町教委 (玉村町歴史資料館)	玉村町内郷土芸能と歴史資料館・道の駅玉村宿をめぐるスタンプラリー	約2,000
1	<small>おおいずみまち</small> 大泉町 「第9回大泉かるた原画展」	大泉町役場	平31.1.22 ～平31.1.26	町教委	町の歴史・文化等を詠んだ「大泉かるた」の原画展を開催し、郷土の歴史・文化の周知及び、町発足60周年記念で作成した大泉町ウォーキングマップの周知を図るとともに、町内の各種文化財保護への意識高揚を図った。	324

※群馬県埋蔵文化財調査事業団については「Ⅱ事業概要 普及事業概要」参照

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 年報38

令和元(2019)年12月26日 発行
編集・発行/公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
〒377-8555 渋川市北橘町下箱田784番地2
電話 0279-52-2511 (代表)
URL <http://www.gunmaibun.org/>
